

2026 年 月

**TG/44/11 Rev.3** 2011-10-20+2013-03-20+2018-10-30+2019-10-29 に準拠

# トマト種

Tomato

(*Solanum lycopersicum* L.)

(案)

## トマト種審査基準

### I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ナス科 (Solanaceae) ナス属 (*Solanum* L.) のトマト種 (*S. lycopersicum* L.) の全ての品種に適用する。

### II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 種子又は発根苗 (ポット苗)
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 1,000 粒  
栄養繁殖性品種の場合 25 個体  
種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。  
栄養繁殖性品種において、病害抵抗性試験を実施する場合は別途提出種苗を追加する。
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 20 個体(2 反復以上に分割)(病害抵抗性はそれぞれの説明に従う。)
- iii) 栽培期間 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法  
調査個体数 特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。  
均一性は供試した全ての個体で判定する。  
病害抵抗性形質を調査する場合は、特に指示がない限り、少なくとも 20 個体を調査する。  
調査時期等 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された部位等で行う。
  - (a) 無限伸育型品種の場合は、植物体、茎、葉の観察は、少なくとも 5 つの果房が結実した後、第 2 果房が完熟する前に行う。有限伸育型品種の場合は、植物体、葉の観察は、第 2 果房が結実した後に行う。葉の観察は、劣化する前のものについて行う。
  - (b) 幼果の観察は、第 2 果房が完熟する前の植物体で行う。
  - (c) 果実の観察は、第 2~3 果房において完熟した果実 (当該果房で最初と最後に完熟した果実を除く。) について行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

#### IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び自家受粉品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

#### V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 草姿 (形質 2)
- ii) 葉型 (形質 10)
- iii) 果柄の離層 (形質 19)
- iv) 幼果の果肩部の緑色の有無 (形質 21)
- v) 果実の大きさ (形質 26)
- vi) 果実の縦断面の形 (形質 28)
- vii) 果実の子室数 (形質 36)
- viii) 果実の色 (形質 37)
- ix) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性 (形質 50)
- x) 半身萎凋病抵抗性 (形質 51)
- xi) 萎凋病レース 1 抵抗性 (形質 52)
- xii) 萎凋病レース 2 抵抗性 (形質 53)
- xiii) トマトモザイクウイルス系統 0 抵抗性 (形質 57)

#### VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(\*) : 品種記載の国際調和のための調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

## 状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL (+)	胚軸のアントシアニンの着色 (種子繁殖性品種に限る。)	<u>Seed-propagated varieties only</u> : Seedling: anthocyanin coloration of hypocotyl	子葉の完全展開時 (子葉が十分に展開し、本葉が見え始めた時期) における胚軸のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎、 フルーツ	
2	2	QL (*) (+) G	草姿	Plant: growth type	開花期における心止まりの有無	観察 VG	1 2	有限伸育型 無限伸育型	determinate indeterminate	ハウス桃太郎、 フルーツ	
3	6	QN (+)	草丈 (無限伸育型品種に限る。)	<u>Only varieties with plant growth type indeterminate</u> : Plant: height	第5花房開花後の草丈	測定/ 観察 cm MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ハウス桃太郎	
4	3	QN	主茎の花房の多少 (有限伸育型品種に限る。)	<u>Only varieties with plant growth type determinate</u> : Plant: number of inflorescences on main stem (side shoots to be removed)	主茎が心止まりしたときの花房の多少	測定/ 観察 MS/ VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	4	QN (+)	茎のアントシアニンの着色	Stem: anthocyanin coloration	主茎の上部（1/3 以上）のアントシアニン着色の程度	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ハウス桃太郎、フルーツ	
6	5	QN (+)	節間長（無限伸育型品種に限る。）	<u>Only varieties with plant growth type indeterminate:</u> Stem: length of internode	第1果房直下の節から第4果房直下の節までの平均節間長	測定/ 観察 cm MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ハウス桃太郎、フルーツ	
7	7	QN (*) (+)	葉の着生角度	Leaf: attitude	主茎の中央 1/3 における主茎と葉（葉柄の中央 1/3）の間の角度	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	極直立 直立 水平 下垂 極下垂	erect semi-erect horizontal semi-drooping drooping	ハウス桃太郎	
8	8	QN (+)	葉の長さ	Leaf: length	主茎の中央 1/3 における最大葉の長さ	測定/ 観察 cm MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	QN (+)	葉の幅	Leaf: width	主茎の中央 1/3 における最大葉の最大幅	測定/ 観察 cm MS/ VG (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	フルーツ	
10	10	QL (*) (+) G	葉型	Leaf: type of blade	葉の型	観察 VG (a)	1 2	羽状複葉 2 回羽状複葉	pinnate bipinnate	フルーツ	
11	11	QN (+)	小葉の大きさ	Leaf: size of leaflets	最大葉の中間部の小葉の大きさ	観察 VG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、 フルーツ	
12	12	QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color	葉の緑色の濃淡	観察 VG (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	フルーツ	
13	13	QN (+)	葉の光沢の強弱	Leaf: glossiness	植物体中央部の葉の光沢の強弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	フルーツ	
14	14	QN (+)	葉の膨らみ	Leaf: blistering	植物体中央部の葉の上面から見た膨らみ	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ハウス桃太郎、 フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	QN (+)	小葉の着生角度	Leaf: attitude of petiole of leaflet in relation to main axis	植物体中央部の葉の葉軸に対する小葉柄の着生角度	観察 VG (a)	3 5 7	直立 水平 下垂	semi-erect horizontal semi-drooping	ハウス桃太郎、 フルーツ	
16	16	QN (+)	花房の形	Inflorescence: type	花房の形	観察 MS/ VG	1 2 3	単一 混合 分岐	mainly uniparous equally uniparous and multiparous mainly multiparous	ハウス桃太郎、 フルーツ	
17	17	QL (*)	花の色	Flower: color	花房の開花期における開やく時の花の色	観察 VG	1 2	黄 橙	yellow orange	ハウス桃太郎、 フルーツ	
18	18	QL (+)	花柱の毛	Flower: pubescence of style	花柱の毛の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎	
19	19	QL (*) (+) G	果柄の離層	Peduncle: abscission layer	果柄の離層の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎、 フルーツ	
20	20	QN (*) (+)	小果柄の長さ（果柄の離層が有の品種に限る。）	<u>Only varieties with peduncle abscission layer present:</u> Pedicel: length	小果柄の長さ	測定/ 観察 mm MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	フルーツ	



形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	QL (*) (+) G	幼果の果肩部の緑色の有無	Fruit: green shoulder (before maturity)	幼果の果肩部の緑色の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎、フルーツ	
22	22	QN (+)	幼果の果肩部の緑色部の大きさ	Fruit: extent of green shoulder (before maturity)	幼果の果肩部の緑色部の大きさ	観察 VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、フルーツ	
23	23	QN (+)	幼果の果肩部の緑色の濃淡	Fruit: intensity of green color of shoulder (before maturity)	幼果の果肩部の緑色の濃淡	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ハウス桃太郎、フルーツ	
24	24	QN (*) (+)	幼果の地色の緑色の濃淡	Fruit: intensity of green color excluding shoulder (before maturity)	幼果の果肩部を除いた果実の地色の緑色の濃淡	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ハウス桃太郎	
25	25	QL (+)	幼果の緑色の縞模様	Fruit: green stripes (before maturity)	幼果の果肩部分を除いた果実の緑色縞模様の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎	
26	26	QN (*) G	果実の大きさ	Fruit: size	果実の大きさ	測定/ 観察 g MS/ VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／最大直径 の比	測定/ 観察 比 MS/ VG (c)	3  5  7	小  中  大	moderately compressed  medium  moderately elongated	ハウス桃太郎	
28	28	PQ (*) (+) G	果実の縦断面の形	Fruit: shape in longitudinal section	果実の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	扁平形 扁円形 円形 長方形 長円形 橢円形 心臓形 卵形 倒卵形 洋なし形 倒心臓形	flattened oblate circular oblong cylindric elliptic cordate ovate obovate pyriform obcordate		
29	29	QN (*) (+)	果肩部のひだの強 弱	Fruit: ribbing at peduncle end	果肩部のひだの強弱の 程度	観察 VG (c)	1 3 5  7 9	無又は極弱 弱 中  強 極強	absent or very weak weak medium  strong, very strong	ハウス桃太郎、 フルーツ	

形質番号	U P O V No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	QN (+)	こうあ部のくぼみ	Fruit: depression at peduncle end	果実の長さに対するこ うあ部のくぼみの深さ の強弱の程度	観察 VG (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ハウス桃太郎、 フルーツ	
31	31	QN (+)	へた落ちの大きさ	Fruit: size of peduncle scar	へた落ちの大小	測定/ 観察 mm MS/ VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フルーツ	
32	32	QN (+)	花落ちの大きさ	Fruit: size of blossom scar	花柱痕（花落ち）の大 小	測定/ 観察 MS/ VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎 フルーツ	
33	33	QN (+)	果頂部の形	Fruit: shape at blossom end	果頂部の形	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	くぼむ 僅かにくぼむ 平滑 僅かに突出 突出	indented indented to flat flat flat to pointed pointed	フルーツ	

形質番号	U P O V No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34	QN (+)	果実に対する芯の 大きさ	Fruit: diameter of core in cross section in relation to total diameter	果実の直径に対する芯 の大きさ	測定/ 観察 比 MS/ VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、 フルーツ	
35	35	QN (+)	果肉の厚さ	Fruit: thickness of pericarp	果肉の厚さ	測定/ 観察 mm MS/ VG (c)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	ハウス桃太郎、 フルーツ	
36	36	QN (*) (+) G	果実の子室数	Fruit: number of locules	果実の平均子室数	測定/ 観察 MS/ VG (c)	1 2 3 4 5	2 のみ 2 又は 3 3 又は 4 4, 5 又は 6 7 以上	only two two and three three and four four, five or six more than six		
37	37	PQ (*) (+) G	果実の色	Fruit: color (at maturity)	果実の色	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7	黄白 黄 橙 桃 赤 茶 緑	cream yellow orange pink red brown green		

形質番号	U P O V No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38	PQ (*) (+)	果肉の色	Fruit: color of flesh (at maturity)	果肉の色	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7	黄白 黄 橙 桃 赤 茶 緑	cream yellow orange pink red brown green	ハウス桃太郎	
39	39	QN	果実の表皮の光沢	Fruit: glossiness of skin	果実の表皮の光沢の強弱	観察 VG (c)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong	ハウス桃太郎、フルーツ	
40	40	QL (+)	果実の表皮の色	Fruit: color of epidermis	果実から剥離した時の表皮の色	観察 VG (c)	1 2	無色 黄色	colorless yellow	ハウス桃太郎、フルーツ	
41	41	QN (*) (+)	果実の硬さ	Fruit: firmness	果実の硬さ	観察 VG (c)	3 5 7	軟 中 硬	soft medium firm	フルーツ ハウス桃太郎	
42	42	QN (+)	果実の棚持ちの長さ	Fruit: shelf-life	果実の棚持ちの長短	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	フルーツ ハウス桃太郎	
43	43	QN (+)	開花期	Time of flowering	定植日から第2花房の第3花が開花するまでの早晩	測定 日 MG/ MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	QN (*) (+)	完熟期	Time of maturity	定植日から第2果房の 第1果が完熟するまでの 早晩	測定 日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ハウス桃太郎、 フルーツ	
45		QN (*) (+)	糖度(可溶性固形物 含量)	Fruit: soluble solids content	果実の Brix 値	測定 度 MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	ハウス桃太郎、 フルーツ	
46		QN (+)	酸度	Fruit: titratable acidity	果実のクエン酸含量率	測定 % MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	ハウス桃太郎、 フルーツ	
47		QL (+)	スクロース含有	Fruit: sucrose content	果実のスクロース含有 の有無	測定 MG	1 9	無 有	absent present		選 択 形 質
48		QN (+)	リコペン含有量	Fruit: lycopene content	果実のリコペン含有量	測定 mg /100g MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	フルーツ	選 択 形 質
49		QN (+)	GABA含有量	Fruit: Gamma-Amino Butyric Acid content	果実のγ-アミノ酪酸 (GABA)含有量	測定 mg/ 100g MG	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	シシリアンルージュ	選 択 形 質

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	46	QN (*) (+) G	サツマイモネコブ センチュウ抵抗性	Resistance to <i>Meloidogyne incognita</i> (Mi)	サツマイモネコブセン チュウに対する抵抗性	観察 VG	1 2 3	罹病性 中度抵抗性 高度抵抗性	susceptible moderately resistant highly resistant	強力米寿、大型福寿  Anahu、TTM011	選 択 形 質
51	47	QL (*) (+) G	半身萎凋病抵抗性	Resistance to <i>Verticillium</i> sp. (Va and Vd) Race 1	<i>Verticillium</i> sp. (Va and Vd) Race 1 による半身 萎凋病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	Tropic	選 択 形 質
52	48. 1	QL (*) (+) G	萎凋病レース1抵抗 性	Resistance to <i>Fusarium</i> <i>oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> Race 0 EU/1US	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> Race 0 EU/1US による萎凋病 に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ポンデローザ 興津3号、TTM020	選 択 形 質
53	48. 2	QL (*) (+) G	萎凋病レース2抵抗 性	Resistance to <i>Fusarium</i> <i>oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> Race 1EU/2US	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> Race 1EU/2US による萎凋病 に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ポンデローザ 影武者、Walter	選 択 形 質
54	48. 3	QL (+)	萎凋病レース3抵抗 性	Resistance to <i>Fusarium</i> <i>oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> Race 2 EU/3US	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> Race 2 EU/3US による萎凋病 に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ポンデローザ ブロック	選 択 形 質
55	49	QL (+)	根腐萎凋病抵抗性	Resistance to <i>Fusarium</i> <i>oxysporum</i> f. sp. <i>radicis-lycopersici</i> (Forl)	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>radicis-lycopersici</i> による根腐萎凋病に対 する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	強力米寿 IRB301-30、桃太 郎ファイト、桃太 郎ヨーク	選 択 形 質

形質番号	U P O V No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	50.1	QL (+)	葉かび病レース0抵抗性	Resistance to <i>Fulvia fulva</i> (Ff) (ex. <i>Cladosporium fulvum</i> ) Race 0	<i>Fulvia fulva</i> (Ff) (ex. <i>Cladosporium fulvum</i> ) Race 0 による葉かび病に対する抵抗性	観察 VG	19	無有	absent present	ポンデローザ タキイミディ 195	選択形質
57	51.1	QL (+) G	トマトモザイクウイルス系統0抵抗性	Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)-Strain 0	トマトモザイクウイルス(ToMV)-Strain 0 に対する抵抗性	観察 VG	19	無有	absent present	GCR237	選択形質
58	51.2	QL (+)	トマトモザイクウイルス系統1抵抗性	Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)-Strain 1	トマトモザイクウイルス(ToMV)-Strain 1 に対する抵抗性	観察 VG	19	無有	absent present		選択形質
59	51.3	QL (+)	トマトモザイクウイルス系統2抵抗性	Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)-Strain 2	トマトモザイクウイルス(ToMV)-Strain 2 に対する抵抗性	観察 VG	19	無有	absent present		選択形質
60	52	QL (+)	疫病抵抗性	Resistance to <i>Phytophthora infestans</i> (Pi)	<i>Phytophthora infestans</i> (Pi)による疫病に対する抵抗性	観察 VG	19	無有	absent present	フルーツ	選択形質
61	54	QL (+)	斑点病抵抗性	Resistance to <i>Stemphylium</i> spp. (Ss)	<i>Stemphylium</i> spp. (Ss)による斑点病に対する抵抗性	観察 VG	19	無有	absent present	福寿 2 号	選択形質



形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
62	56	QL (+)	青枯病抵抗性	Resistance to <i>Ralstonia solanacearum</i> (Rs) Race 1	<i>Ralstonia solanacearum</i> (Rs) Race 1 による青枯病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	大型福寿 レシーブ、Bバリア、影武者	選 択 形 質
63	57	QL (+)	トマト黄化葉巻ウイルス抵抗性(イスラエル系統)	Resistance to Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) (Israel)	トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)-イスラエル系統に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	大型福寿	選 択 形 質

## VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 胚軸のアントシアニンの着色 (種子繁殖性品種に限る。)

Char. 1 Seed-propagated varieties only: Seedling: anthocyanin coloration of hypocotyl



1  
無  
absent



9  
有  
present

形質 2 草姿 Char. 2 Plant: growth type

階級 1 有限伸育型:

このタイプは、茎ごとに形成される果房数が固定される。果房数は品種により異なる (注: 栽培環境条件によって影響を受ける可能性がある)。果房間の葉数あるいは節間の数は、一つの株においても不規則であり、1~3 である。茎は頂果房を形成し、側枝は形成されない。

このタイプには、果房間の葉数あるいは節間の数が必ずしも 3 ではないが、例えば、第 9 果房で心止まりとなる *Prisca* タイプや第 20 果房より上位で心止まりとなる *Early Pack* タイプのように半心止まりの生育を示す、いわゆる「半心止まり」品種が含まれる。

Determinate (1):

This type produces a fix number of trusses on each stem. The number of trusses is different among varieties (Note: can be influenced by agro climatic conditions). In this type, the number of leaves or internodes between inflorescence is irregular within a plant and varies from one to three. The stem ends with an inflorescence and no lateral shoots are produced.

This type also includes some so-called “semi-determinate” varieties which do not have consistently three leaves or internodes between inflorescences, and show semi-determinate growth, for example, with the termination of the stem with the 9th inflorescence (e.g. ‘*Prisca*’ type) or higher than the 20th inflorescence (e.g. *Early Pack* type).

## 階級 2 無限伸育型：

このタイプは一般に果房間の葉数あるいは節間の数が3である。3葉ごとに3つの芽が分化する。頂芽は果房になり、二つの側芽のうち一つは茎の延長として伸長し始める。このタイプは、このような生育パターンを繰り返す。

「Daniela」由来の品種などのように、無限伸育型のあるグループの品種群では、果房間の葉数あるいは節間の数が2のみである場合があることに留意すべきである。これらの品種は、それでも無限伸育型である。

「Marmande」や「Costoluto Fiorentino」は、有限伸育と無限伸育の中間的なタイプであるが、果房間の葉数あるいは節間の数が常に3であることから無限伸育型に含まれる。

### Indeterminate (2):

In this type, as a rule, three leaves or internodes are observed between inflorescences. After every group of three leaves, the plant produces three buds: the terminal bud is transformed into an inflorescence and one of the two lateral buds starts the prolongation of stem. Plants of this type grow with the continuous repetition of this growth pattern.

It should be noted that sometimes only two leaves or internodes might be observed between inflorescences in some parts of plants in a certain group of indeterminate variety types (e.g. varieties originating from 'Daniela'). These varieties nevertheless are indeterminate.

This type includes 'Marmande' and 'Costoluto Fiorentino' types which might be considered to be categorized into an intermediate class between indeterminate and determinate, but they always have three leaves or internodes between inflorescences. They should therefore be categorized into the indeterminate type.

## 形質 3 草丈（無限伸育型品種に限る。）

### Char. 3 Only varieties with growth type indeterminate: Plant: height

草丈は、ある一定の時期、例えば、は種後60日、第5節の着果後、最初の品種が温室のワイヤー又は支柱の最上部に達したときなどに調査されるべきである。

The height of the plant should be measured at one time for the whole trial, e.g. 60 days after planting, or after a fruit set on approximately 5 nodes, or when the first variety in the trial has reached the wire in the green house or the top of the stake.

## 形質 5 茎のアントシアニンの着色 Char. 5 Stem: anthocyanin coloration

大部分の品種は階級値1～5に分布する。アントシアニンの発現は日中の気温に影響され、温室栽培では着色の変異はかなり低い。

Most of the varieties are classed 1 to 5. Expression of anthocyanin is influenced by day temperature. Under greenhouse conditions, the variation is rather low.

形質 6 節間長（無限伸育型品種に限る。）

Char. 6 Only varieties with plant growth type indeterminate: Stem: length of internode

節間長は、ある一定の時期、例えば、第 5 節の着果後に調査する。第 1 果房と第 4 果房の間の茎の長さを測定し、その間の節間の数で割ることで節間長を求める。

The length of the internode should be observed/measured at one time for the whole trial, e.g after a fruit set on approximately 5 nodes. The total length of the stem should be observed/measured between the 1st and 4th trusses. When this observation/measure is divided by the number of internodes in between, an indication of the length of the internode is given.

形質 7 葉の着生角度 Char. 7 Leaf: attitude

主茎と葉の中央部の間の角度を観察する。写真の線は主茎と葉（葉柄の中央 3 分の 1）の間の角度を示す。

The attitude of the middle third part of the leaves in respect to the main stem should be observed. The line in the picture indicates the angle between the stem and leaf (middle third of petiole).



3  
直立  
semi-erect



5  
水平  
horizontal



7  
下垂  
semi-drooping

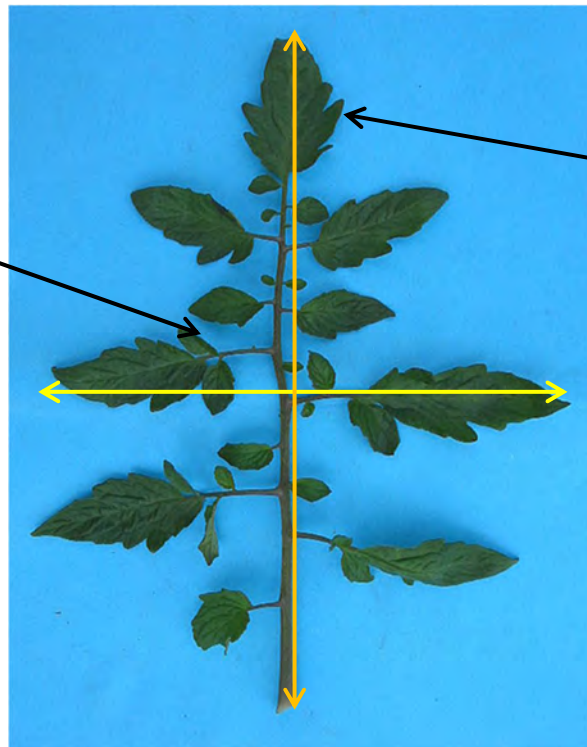


9  
極下垂  
drooping

形質 8 葉の長さ Char. 8 Leaf: length

形質 9 葉の幅 Char. 9 Leaf: width

小葉の付き方が水平でないものは水平に伸ばして計測する。



まっすぐな葉は少ないので、伸ばして計測する。

形質 10 葉型 Char. 10 Leaf: type of blade

羽状複葉：一次小葉が二次小葉を持たない。

2 回羽状複葉：一次小葉が再び羽状化するため、二次小葉を持つ。

Pinnate leaf: primary leaflets do not bear secondary leaflets

Bipinnate leaf: primary leaflets again are pinnate, so they bear secondary leaflets



1

羽状複葉  
pinnate



2

2 回羽状複葉  
bipinnate

形質 11 小葉の大きさ Char. 11 Leaf: size of leaflets

小葉の大きさは最大葉の中間部の小葉で観察する。

The size of leaflet should be observed in the middle of the leaf.

形質 13 葉の光沢の強弱 Char. 13 Leaf: glossiness

葉の光沢は株の中央部で観察する。

The glossiness of the leaf should be observed in the middle of the plant.

形質 14 葉の膨らみ Char. 14 Leaf: blistering

葉の膨らみとしわを混同しないように注意する。

葉の膨らみは葉脈間において表面の高さに差が生じている。しわは葉脈とは無関係である。葉の膨らみは植物体の中央部 3 分の 1 で観察する。

Caution is required for confusion between blistering and creasing.

Blistering is the difference in height of the surface of the leaf between the veins. Creasing is independent from the veins. The blistering should be observed in the middle third of the plant.



葉の膨らみ  
blistering

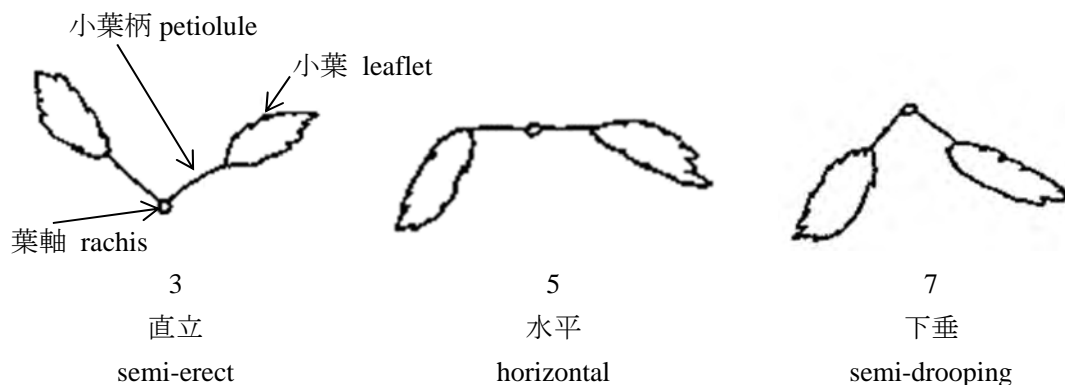


葉のしわ  
Creasing



形質 15 小葉の着生角度 Char. 15 Leaf: attitude of petiole of leaflet in relation to main axis  
 角度は植物体の中央部 3 分の 1 で観察する。

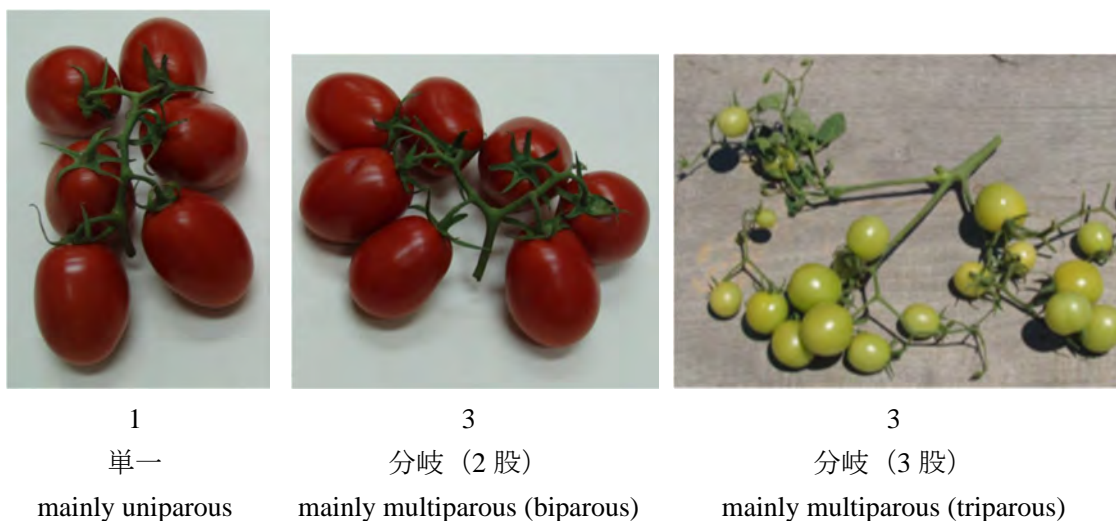
The attitude should be observed in the middle third of the plant.



形質 16 花房の形 Char. 16 Inflorescence: type

10 株の第 2 花房と第 3 花房について単一と分岐の花房数を数え、分岐に対する単一の比率が 40-60% のときは、その特性は「2 混合」に相当する。

The number of uniparous and multiparous trusses on the second and third truss of 10 plants should be counted. When the ratio of uniparous to multiparous is 40-60 percent, the expression of the characteristic should correspond to note “2” .

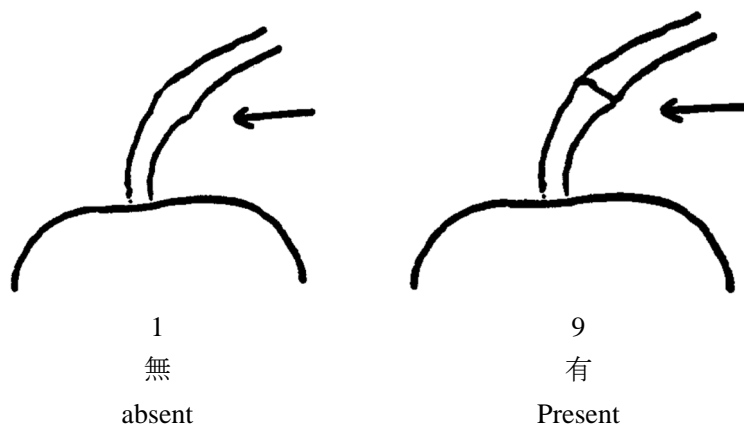


形質 18 花柱の毛 Char. 18 Flower: pubescence of style

まれに花柱の基部に小さい毛をもつだけの品種も「9 有」とする。

Some varieties with pubescence of style “present” may have only rare and small hairs at the base of the style.

形質 19 果柄の離層 Char. 19 Peduncle: abscission layer

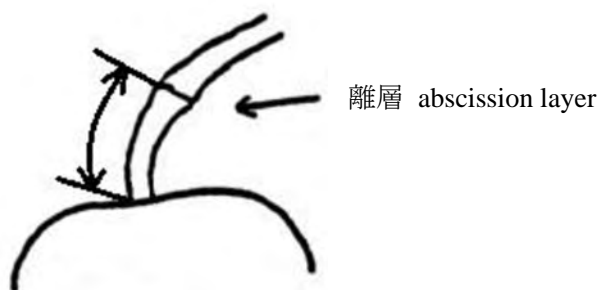


離層の代わりに膨らみだけを持つ品種は、ジョイントの発達を支配する遺伝子をヘテロに保有しており、ジョイントレスであり、離層は無しと考えられる。

Varieties which have only a collar instead of an abscission layer are heterozygous for the gene which controls the presence of the joint. These varieties are considered jointless and the abscission layer is considered absent.

形質 20 小果柄の長さ（果柄の離層が有の品種に限る。）

Char. 20 Only varieties with peduncle abscission layer present: Pedicel: length

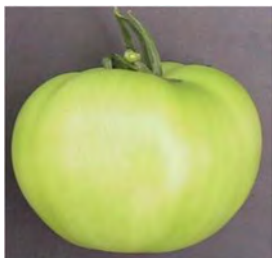




形質21 幼果の果肩部の緑色の有無 Char. 21 Fruit: green shoulder (before maturity)

果肩部の緑色の遺伝子は環境条件によってははっきりと発現しない。そのため、特性を評価するために「9 有」の標準品種が重要である。

The gene for green shoulder might not be clearly expressed in some conditions, which is why it is important to have the example variety 'Daniela' to observe the expression of these characteristics.



1  
無  
absent



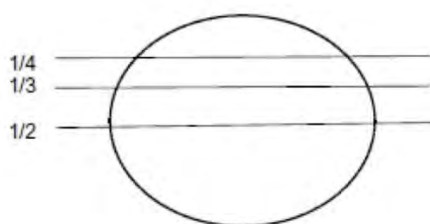
9  
有  
present

形質 22 幼果の果肩部の緑色部の大きさ

Char. 22 Fruit: extent of green shoulder (before maturity)

果肩部の緑色の遺伝子は環境条件によってははっきりと発現しない。そのため、特性を評価するために標準品種が重要である。

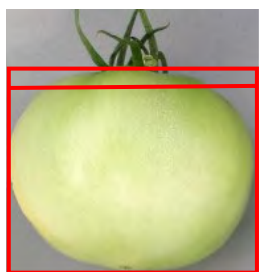
The gene for green shoulder might not be clearly expressed in some conditions, which is why it is important to have the example variety 'Daniela' to observe the expression of these characteristics.



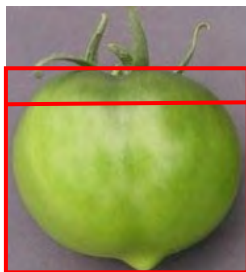
3: 小 (1/4) 3: small (1/4)

5: 中 (1/3) 5: medium (1/3)

7: 大 (1/2) 7: large (1/2)



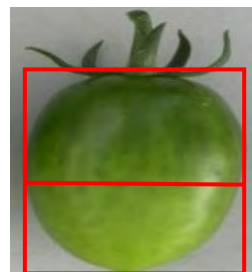
1  
極小  
very small



3  
小  
small



5  
中  
medium



7  
大  
large

形質 23 幼果の果肩部の緑色の濃淡

Char. 23 Fruit: intensity of green color of shoulder (before maturity)

形質 24 幼果の地色の緑色の濃淡

Char. 24 Fruit: intensity of green color excluding shoulder (before maturity)

果肩部の緑色の濃さと果肩部以外の地色の緑色の濃さは同じ尺度で観察しなければならない。これは果肩部の緑色の濃さの階級は、果肩部以外の地色の緑色の濃さの階級よりも高くなければならないことを意味する。ただし例外的に緑色の濃さの差が非常に小さい場合は同じ評価となる。果肩部の緑色の遺伝子は環境条件によってははっきりと発現しない。そのため、特性を評価するために標準品種が重要である。

Intensity of green color of shoulder and intensity of green color excluding shoulder have to be observed on the same scale. This means that the note for intensity of green color of shoulder should be higher than the note for intensity of green color excluding shoulder, or in exceptional cases the same if the difference in intensity is very small. The gene for green shoulder might not be clearly expressed in some conditions, which is why it is important to have the example variety 'Daniela' to observe the expression of these characteristics.



3  
淡  
light

5  
中  
medium

7  
濃  
dark

形質 25 幼果の緑色の縞模様

Char. 25 Fruit: green stripes (before maturity)

緑色の縞模様は、成熟前に果肩部を除いた部分で観察する。

The green stripes should be observed before maturity, excluding the green shoulder.





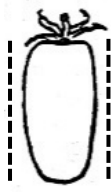
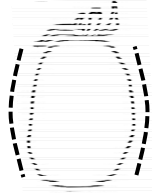



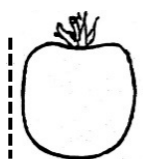
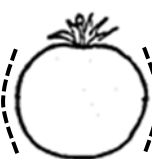


1  
無  
absent



9  
有  
present

形質 28 果実の縦断面の形

Char. 28 Fruit: shape in longitudinal section

← 最大幅の位置 →					
下部		中央部		上部	
					
10 洋なし形 pyriform	8 卵形 ovate	5 長円形 cylindric	6 楕円形 elliptic	9 倒卵形 obovate	7 心臓形 cordate
				側面の状態 ┆ : 側面が平ら ┆ : 側面がカーブ	
11 倒心臓形 obcordate		4 長方形 oblong	3 円形 circular		
					
		2 扁平形 oblate			
					
		1 扁平形 flattened			

果径比(縦÷横)

細長

↑

幅広

←

The apex is considered to be the part that is farthest from the peduncle end.

果頂部は果柄から最も遠い部分とする。

形質 29 果肩部のひだの強弱

Char. 29 Fruit: ribbing at peduncle end



1  
無又は極弱  
absent or very  
weak

3  
弱  
weak

5  
中  
medium

7  
強  
strong

9  
極強  
very strong

形質 30 こうあ部のくぼみ

Char. 30 Fruit: depression at peduncle end



1  
無又は極弱  
absent or very weak



3  
弱  
weak



5  
中  
medium



7  
強  
strong

果実の形にとらわれず、こうあ部のくぼみを評価する。

形質31 へた落ちの大きさ

Char. 31 Fruit: size of peduncle scar

へた落ちの大きさは、果実の大きさに対する相対評価ではなく、絶対評価で観察する。  
果柄を取り外し、へた落ち全体ではなく、緑色の輪の大きさを調査する。

The size of the peduncle scar has to be observed as an absolute characteristic, i.e. irrespective of the size of the fruit. The peduncle should be removed and the green ring observed (not the full scar).

形質32 花落ちの大きさ

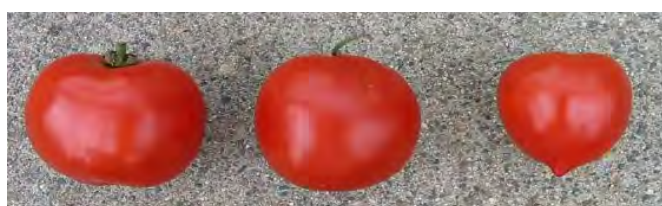
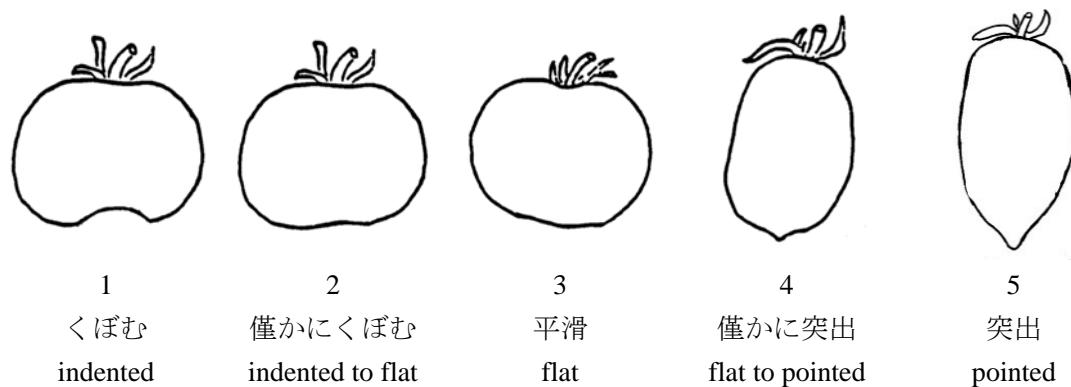
Char. 32 Fruit: size of blossom scar

花落ちの大きさは、果実の大きさに対する相対評価ではなく、絶対評価で観察する。

The size of the blossom scar has to be observed as an absolute characteristic, i.e. irrespective of the size of the fruit.

形質 33 果頂部の形

Char. 33 Fruit: shape at blossom end

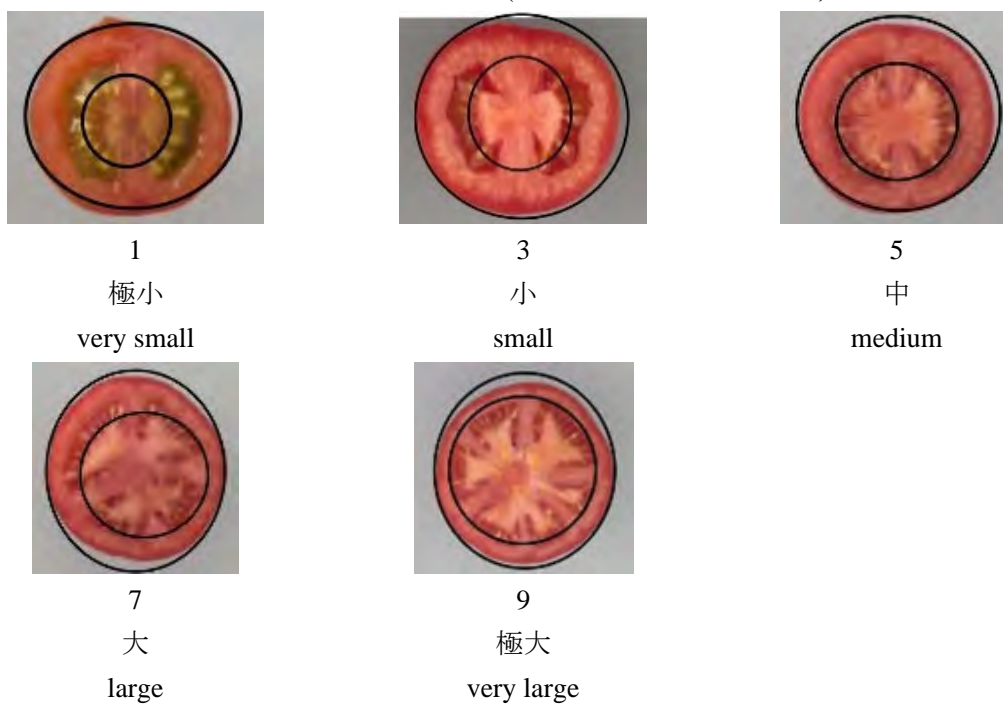


1 くぼむ (indented)  
3 平滑 (flat)  
5 突出 (pointed)

果実全体の形にとらわれず、果頂部の形を評価する。

形質 34 果実に対する芯の大きさ

Char. 34 Fruit: diameter of core in cross section (in relation to total diameter)



形質35 果肉の厚さ Char. 35 Fruit: thickness of pericarp

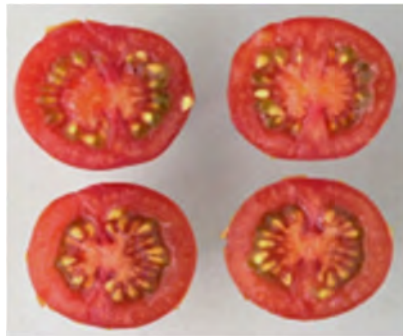
果肉の厚さは、果実の大きさに対する相対評価ではなく、絶対評価で調査する。

The absolute thickness of the pericarp should be observed, i.e. irrespective of the size of the fruit.

形質36 果実の子室数 Char. 36 Fruit: number of locules

この形質は、果房の第1果と最終果を除き、代表的な形状かつ大きさの果実の横断面で評価する。

This characteristic is assessed by making cross sections of representative shaped and sized fruits but excluding the first and last fruits from the truss.



1  
2 のみ  
only two



2  
2 又は 3  
two and three



3  
3 又は 4  
three and four



4  
4, 5 又は 6  
four, five or six



5  
7 以上  
more than six



形質 37 果実の色 Char. 37 Fruit: color (at maturity)

果実の色は、横断面で胎座がはっきりと確認され、果実が完全に着色した後に観察を行う。

The color at maturity has to be observed after a full change of color, when placenta is found clearly in the cross section.

形質 38 果肉の色 Char. 38 Fruit: color of flesh (at maturity)

果肉の色は完熟期に観察する（形質 44 参照）

The color of flesh should be observed at maturity (see Ad. 44).

形質 40 果実の表皮の色 Char. 40 Fruit: color of epidermis

表皮の色は、表皮を果実から剥がした後に観察する。

The color of the epidermis should be observed after the epidermis has been peeled off the fruit.

形質 41 果実の硬さ Char. 41 Fruit: firmness

調査方法

採取時期：果実は完全に着色したものを採取する。

評価方法：果実を手で握って標準品種と比較しながら硬さを評価する。

Method

Harvesting stage: fruits should be harvested when they are completely coloured.

Determining firmness: determine by hand the firmness of the fruits compared to the standard varieties.

形質 42 果実の棚持ちの長さ Char. 42 Fruit: shelf-life

棚持ちの長さは、果実が販売できる状態を何週間維持しているかによって評価する。

第 4, 5, 6 果房から、果実全体の半分で緑色が消えて同程度に成熟した果実を 1 区当たり 20 果採取する。

果実を箱の中に重ねずに並べるが、それらの箱は空気が循環するように積み重ねて置いてよい。貯蔵する場所の気象的条件は制御する必要はないが、試験を実施した場所と同様の条件とし、直射日光が当たらないようにする。

調査は 7 日おきに果実が傷まないように行い、果実の硬さを記録し、偶発的に傷んだり腐敗したりした果実は取り除く。調査は果実の硬さが商品としての価値がなくなる硬さ（形質 41 「果実の硬さ」が「3 軟」と同じかそれ以下）になるまで行う。

棚持ちの長さは果実を採取してから商品としての価値がなくなる硬さになるまでの週の数により評価する。調査は 8 週目に完了してよい。

The length of shelf life is estimated by the number of weeks that the fruit remains commercially viable on the shelf.

Twenty fruits per plot (2 per plant) are picked from the 4th, 5th or 6th cluster in similar stages of exterior

ripening (when green color disappears in half of whole fruit). Fruits are stored in boxes in single layers. The boxes can be stored one on top on another if they permit the air to circulate between them. The storage place does not need to be climatically controlled, but must have similar conditions to those in which the trial was performed, but not in direct sunshine. An observation is made every 7 days, noting the firmness of fruits, taking care not to damage them, and removing those accidentally damaged or rotten. The observation is made to determine when the firmness of fruits becomes no longer commercially viable (the firmness is lower than or equal to Note 3 “soft” in characteristics 41). The length of shelf life is calculated by the number of weeks between picking of fruits and the time that the firmness becomes no longer commercially viable.

The observations can be completed in the 8th week if some varieties still remain.

#### 形質 43 開花期 Char. 43 Time of flowering

支柱栽培品種では、第 2 花房の第 3 花と第 3 花房の第 3 花の開花日を株毎に調査することによって評価する。第 1 花房は、は種から定植期までの管理条件の影響を受けるので、本形質の調査には用いない。開花日は各花房のその区の平均を記録する。

心止まりの無支柱栽培品種でも、調査時の作業性を考慮して、支柱栽培品種と同じ管理方法を採用する。無支柱栽培では、株が分枝するために観察は容易でない。

For staked varieties, this characteristic is assessed by observing the flowering date of the third flower on the second [and third] trusses, plant by plant. It is recommended not to record the time of flowering on the first truss, as the expression on the first truss is more influenced by the seed vigor and the plantation quality.

The date of flowering is recorded by the plot average, truss by truss.

For determinate non-staked varieties, it is recommended to grow them on pruned stakes on the main stem and to record the characteristics in the same way as those for ‘staked varieties’. On non-staked plants, this characteristic cannot be easily observed due to the branching of the plant.

#### 形質 44 完熟期 Char. 44 Time of maturity

第 2 果房で最初に完熟した果実の完熟日を個体毎に調査することによって評価する。第 1 果房は種子の勢いや栽培環境の影響をより受けやすいので、第 1 果房の完熟日での調査は行わない。完熟日はその区の平均を記録する。

支柱栽培品種であるか無支柱栽培品種であるかにかかわらず、すべてのタイプのトマト品種で観察する。

This characteristic is assessed by observing the date of maturity of the first fully ripe fruit on the second truss, plant by plant. It is recommended not to record the time of maturity on the first truss, as the expression on the first truss is more influenced by the seed vigor and the plantation quality.

The date of maturity is recorded by the plot average, truss by truss.

This characteristic can be observed as described on all types of tomato varieties, irrespective whether the plants are staked or non-staked.



形質 45 糖度 (可溶性固形物含量) Char. 45 Fruit: soluble solids content

調査方法 ハンディ示差屈折計による Brix 測定

試料調製 試料は第 2 果房～第 3 果房の完熟果を使用する。品種ごとに、完熟果 5 個以上を採取し、それぞれ 4～8 等分割し各果実の小片をビニール袋に入れて密封し、冷蔵庫に保存しておき、測定当日ビニール袋のまま室温で解凍してドロップを得る。

新鮮果実を分析する場合は、分割した試料をジューサーにかけ、ろ紙でろ過した液を用いる。

測定方法 あらかじめ蒸留水で 0%補正を行ったハンディ示差屈折 (糖度) 計に、ドロップ 1～2 滴滴下して Brix%を測定する。ドロップは粘性が高いので次の測定前にはよくふき取ると共に時々0%補正を確認すること。

ドロップは凍結保存して問題ないが、凍結時に十分均一にすること。また屈折率は温度の依存性が高いので十分室温に戻してから測定すること。

供試個体 区別性：各品種 3 連以上、各試料 2 反復以上

均一性：各品種 10 連程度、各試料 2 反復以上 が望ましい。

形質 46 酸度 Char. 46 Fruit: titratable acidity

調査方法 滴定によるクエン酸量の定量

試薬 0.1N 水酸化ナトリウム液：

水酸化ナトリウム (試薬特級) 4.5g を、新たに煮沸し冷却した水 1 L に加えて溶かす。

市販の 0.1mol/L 水酸化ナトリウム溶液 (容量分析用 和光純薬工業) を用いても良い。

滴 定

a 0.1N 水酸化ナトリウム液の標定

スルファミン酸 0.25g を 1mg 単位まで正確に量り、水 25mL に溶かし指示薬を 2～3 滴加え、0.1 N 水酸化ナトリウム液で滴定する。

終点は、淡青～淡紫 (pH メーターを用いる場合は pH8.1) とする。

0.1 N 水酸化ナトリウム液 1 ml=9.709mg スルファミン酸

$$f(\text{ファクター}) = \frac{0.250\text{g} \times 1000}{0.1 \text{ N 水酸化ナトリウム液 ml} \times 9.709\text{mg}}$$

b 試薬液の滴定

ドロップ 5mL (又は 10mL) をピペットで正確にとり、あらかじめ約 25mL の水を入れたビーカーに入れ、指示薬を 2～3 滴加え、0.1N 水酸化ナトリウム液で中和滴定する。1 試料液につき繰り返し 3 回滴定を行い、平均値を求める。

終点は、淡青～淡紫 (pH メーターを用いる場合は pH8.1) とする。

c 酸度（クエン酸）の算出

0.1 N 水酸化ナトリウム液 1mL = 6.4mg（クエン酸）

$$\text{酸度}(\%) = \frac{0.1 \text{ N 水酸化ナトリウム液 ml} \times f \times 6.4\text{mg}}{5\text{mL (又は 10mL)} \times 1000} \times 100$$

なお、滴定によるクエン酸量の定量が行えない場合は、食品用酸度計による簡易計測を行っても良い。

形質 47 スクロース含有 Char. 48 Fruit: sucrose content

試験方法 高速液体クロマトグラフィーによる分離分析

装置 高速液体クロマトグラフ

示差屈折計検出器

カラム恒温槽または恒温水槽

糖分析用カラム（SC1011（JASCO）等 糖分析用カラム、GPC）

ガードカラム（分析カラム用のもの）

データ処理装置（HPLC 用）

ホモジナイザー、電子天秤（0.01g 以下まで測れるもの）、低速遠心分離器（冷却機能付きが望ましい）、乾熱滅菌器、ウォーターバス、フリーザー（-40℃以下）

試薬等 蒸留水（高速液体クロマトグラフィー用）、メタノール（高速液体クロマトグラフィー用）、エタノール（高速液体クロマトグラフィー用）、ショ糖（試薬特級）、メンブランフィルター（水系、ポアサイズ 0.20 μm シリレンジフィルター）、固相抽出用カートリッジ（Waters 社 Sep-Pak C18）、ろ紙（No.5A）

ショ糖標準液 80℃の乾熱滅菌器内で 2 時間乾燥したショ糖 1g を蒸留水で溶かし、50ml に定容し 20mg/mL の原液を調整する。さらに蒸留水で正確に希釈して 2.0, 1.0, 0.5mg/mL の標準液を調整する。

試料採取及び試料調整

供試品種 通常トマトはショ糖を含有していないことから、検査をもって有の品種と無の品種の基準品種を選定する。

供試株数 各品種 1 区 10 株、2 反復

栽培方法 通常の栽培試験と同様に栽培する。

試料採取 第 2 果房～第 3 果房の完熟果を採取しヘタを取り除く。乾燥を防ぐためなるべく分割しないで、個別に袋に入れて密閉して冷凍する。

試料保存 -40℃以下で冷凍保存する。すぐに分析に用いる場合でも、粉碎しやすいように一端冷凍した方がよい。

測定方法

試料液の調整 試料をホモジナイザー用ステンレスカップに入れ、4℃に一晩置いて解凍する。正確に試料の 4 倍重（糖含量を求めるとき必要になるのです

べて正確に秤量する)の80%エタノールを加えた後、周りを冷凍しながら粉碎する。

遠沈管を電子天秤に乗せ、上記の粉碎物に沈殿がないように攪拌しながら、粉碎物20gを分注する。遠沈管のふたを閉め95℃に設定したウォーターバスで遠沈管を20分間加熱する。

低速遠心分離器で、3500rpm・10分間遠心分離する。上清部分をパスツールピペットで可能な限り取り、100mLのメスフラスコに入れる。

残った沈殿に、20mLの蒸留水を加え、ふたを閉めよく攪拌し懸濁させる。

再び低速遠心分離器で3500rpm・10分間遠心分離する。上清だけを可能な限りパスツールピペットで取り、上記の100mLのメスフラスコに加え、蒸留水で100mLに定容した後、No.5Aのろ紙でろ過する。ろ紙に乾いた部分がなくなるまでに出たろ液は捨て(最初の20mL程度)、以降のろ液を供試する。

固相抽出用カートリッジをコンディショニングする。

(Sep-Pak C18の場合)

10mLシリンジにメタノールを取り、1mL/min程の速度で5mLを通す。別のシリンジに蒸留水を取り同様に5mL通し、最後に空気を通してフラッシングする。

ろ液5~10mLをシリンジに取り、固相抽出用カートリッジの先にメンブランフィルターを取り付け、通したものをバイアル管に取り、試料液とする。

#### 高速液体クロマトグラフィー

検量線作成 3種類の濃度のショ糖標準液10μLを高速液体クロマトグラフィーに注入し、ピーク面積から検量線を作成する。次に試料液10μLを高速液体クロマトグラフィーに注入し、下記の条件で分析し、各種糖含量をピーク面積から求める。

分析条件 溶出溶媒 : 蒸留水  
流速 : 0.5mL/min  
カラム温度 : 80℃  
検出器 : 示差屈折計  
検出器温度 : 35℃  
検出 Range : Short  
検出限界 : <1.25mg/g (試料)>

判定基準 スクロースの含有の有無により判定する

その他 トマトにはショ糖分解酵素であるインベルターゼが含まれるため、ウォーターバスで加熱するまでは冷やしながら操作すること。ただし、その後は室温に戻してから操作を行う。

上記の方法で市販ミニトマトをサンプルとし、ショ糖の添加回収率を調べたところ、4反復平均で97.8%であった。

トマトに含有する糖はブドウ糖、果糖等が知られているが、これらの糖についても標準液で検量することで同時定量が可能である。

形質 48 リコペン含有量 Char. 48 Fruit: lycopene content

調査方法	可視・近赤外分光光度計を用いた非破壊計測、又は液体クロマトグラフィーによる定量
供試個体数	非破壊計測の場合、1区10個体(1個体/1株)、2反復
標準品種	5中:「フルーツ」

形質 49 GABA 含有量 Char. 49 Fruit: Gamma-Amino Butyric Acid content

調査方法	高速液体クロマトグラフィー(HPLC)法、イオンクロマトグラフ(IC)法、ガスクロマトグラフ(GC)法による定量、又は酵素反応を利用した測定法
供試個体数	各品種1区10個体、2反復
標準品種	2低:「シシリアンルージュ」

形質 50 サツマイモネコブセンチュウ抵抗性

Char. 50 Resistance to *Meloidogyne incognita* (Mi)

試験方法	
病原体	サツマイモネコブセンチュウ ( <i>Meloidogyne incognita</i> ) 普通(非打破)系統を供試する。
病原性確認	試験の前に抵抗性品種を用いて普通(非打破)系統であることを確認する。
接種準備	線虫汚染土壌に罹病性品種を植え付け、線虫を増殖させた培養土を接種源とする。
接種方法	線虫密度が培養土 20g 当たり 10 頭程度になるように、病原線虫に汚染されていない用土と接種源を混和し、汚染土を作製する。汚染土に供試植物を移植する。
管理方法	接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。 自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。
試験期間	接種 40～50 日後に根こぶ着生程度を調査する。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	根こぶ着生程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 51 半身萎凋病抵抗性 Char. 51 Resistance to *Verticillium* sp.(Va and Vd) Race 1

※UPOV TG では当該形質はレース 0 を評価する。

試験方法

病原体	トマト半身萎凋病菌 ( <i>Verticillium dahlia</i> or <i>Verticillium albo-atrum</i> ) レース 1 を供試する。
病原性確認	試験の前に感受性品種を用いて病原性の確認を行う。
接種準備	接種源は以下のいずれかの方法で調整する。
方法 1	供試菌株を液体培地 (PS 培地等) で、およそ 25℃、10 日間振とう培養する。培養液をガーゼでこして菌糸片等を除いた培養液を接種源とする。
方法 2	供試菌株を栄養培地 (PDA 培地等) でおよそ 25℃、約 15 日間培養する。培地表面から分生子をかき取り、接種源とする。
接種方法	供試植物の根から用土を落とし、分生子密度を $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^8$ 個/mL 程度に調製した接種源に 5～15 分間浸漬する。
管理方法	接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。 自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。
試験期間	接種 30～35 日後に発病程度を調査する。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 52 萎凋病レース 1 抵抗性

Char. 52 Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 0EU/1US

形質 53 萎凋病レース 2 抵抗性

Char. 53 Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 1EU/2US

形質 54 萎凋病レース 3 抵抗性

Char. 54 Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 2EU/3US

試験方法

病原体	トマト萎凋病菌 ( <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> ) レース 1(Race 0EU/1US)、レース 2(Race 1EU/2US)及びレース 3(Race 2EU/3US)を供試する。
病原性確認	試験の前に抵抗性無品種を用いて病原性の確認を行う。
接種準備	供試菌株を液体培地 (PS 培地等) で、およそ 25℃、10 日間振とう培養する。培養液をガーゼでこして菌糸片等を除いた培養液を接種源とする。
接種方法	供試植物の根から用土を落とし、分生子密度を $1 \times 10^6 \sim 1 \times 10^8$ 個/mL 程度に調製した接種源に 5～15 分間浸漬する。
管理方法	接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。

	自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。
試験期間	接種 20～25 日後に発病程度を調査する。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	発病程度の調査結果に基づいて判定する。

#### 形質 55 根腐萎凋病抵抗性

##### Char. 55 Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *radicis-lycopersici*

###### 試験方法

病原体	トマト根腐萎凋病菌 ( <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>radicis-lycopersici</i> ) を供試する。
病原性確認	試験の前に抵抗性無品種を用いて病原性の確認を行う。
接種準備	供試菌株を液体培地 (PS 培地等) で、およそ 25℃、7～10 日間振とう培養する。培養液をガーゼでこして菌糸片等を除いた培養液を接種源とする。
接種方法	供試植物の根から用土を落として、分生子密度を $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^8$ 個/mL 程度に調製した接種源に 15 分以上浸漬する。
管理方法	接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 15～25℃の範囲で管理する。 自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。
試験期間	接種 14～28 日後に発病程度を調査する。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	発病程度の調査結果に基づいて判定する。

#### 形質 56 葉かび病レース 0 抵抗性

##### Char. 56 Resistance to *Fulvia fulva* (Ff) (ex.*Cladosporium fulvum*) Race 0

###### 試験方法

病原体	トマト葉かび病菌 (学名 : <i>Passalora fulva</i> 、異名 : <i>Cladosporium fulvum</i> ) のレース 0 を供試する。抵抗性遺伝子が Cf-2、Cf-4、Cf-5 又は Cf-9 であることを確認したい場合は、さらにレース 2、4、5 又は 9 などを供試する。
病原性確認	試験の前に抵抗性無品種を用いて供試病原菌株の病原性の確認を行う。
標準品種等	標準品種 抵抗性遺伝子：無、「ボンデローザ」、「Monalbo」 Cf-1 抵抗性遺伝子：有、「Stirling Castle」 Cf-2 抵抗性遺伝子：有、「Vetomold」 Cf-3 抵抗性遺伝子：有、「V121」 Cf-4 抵抗性遺伝子：有、「Purdue135」

	Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「IVT1149」
	Cf-2 Cf-4 抵抗性遺伝子：有、「Vagabond」
	Cf-2 Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「F1 “Vetomold×IVT1149”」
	Cf-2 Cf-4 Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「F1 “Vagabond×IVT1149”」
	Cf-6 抵抗性遺伝子：有、「F77-38」
	Cf-9 抵抗性遺伝子：有、「IVT1154」「タキイミディ 195」
	基準品種
	抵抗性遺伝子：無、「Pontentate」
	Cf-2 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf2」、「サターン」
	Cf-4 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf4」、「桃太郎ファイト」
	Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf5」、「MoneyMaker-Cf5」
	Cf-9 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf9」、「MoneyMaker-Cf9」
接種源準備	葉かび病菌株を PDA 又は PSA 平板培地に画線して 2 週間以上 20～25℃で培養し、分生子が十分形成された菌叢の表面に蒸留水を注ぎ、筆やガラス棒等で擦って分生子懸濁液を作製し、蒸留水で 10 <sup>4</sup> 分生子/mL 以上の濃度に調整する。 注) 同菌は平板培地上では菌叢面積が広がらないので、画線により菌叢面積を大きくする。
供試品種の準備	培養土をつめたセルトレイに 1 粒ずつは種し、子葉展開後、ポットに定植する。接種時の供試植物の生育ステージは、本葉が 4 枚程度展開している苗を供試する。
接種	葉裏に分生子懸濁液を噴霧し、接種後は直ちに、水を張った衣装箱や接種箱等に入れ、高湿度条件を保つ。
接種後の管理	上記の高湿度条件で直射日光が当たらないよう 2 日間置いたのち、施設内で 14～21 日栽培して発病の有無を調査する。 また、以下の点に注意する。 ・高湿度時に直射日光が当たると蒸れて苗が腐敗する。 ・高温期に 3 日以上高湿度条件に置くと蒸れて苗が腐敗する。 ・発病適温は 20～25℃であるが、12～35℃の範囲で管理できれば検定は可能である。
試験期間	接種 14～21 日後に接種葉の葉裏を観察して、発病の有無を調査する。また、感受性品種の病徴を十分に発現させて比較・評価する。なお、うどんこ病が発生すると、初期病徴での見分けが困難であることに注意する。
供試株数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	接種した全ての株で無発病の品種は、接種したレースに対して抵抗性：有と評価する。抵抗性遺伝子型を確認したい場合には、標準及び基準品種の発病状態を参考に評価する。各抵抗性遺伝子は、真性抵抗性遺伝子である。

形質 57 トマトモザイクウイルス系統 0 抵抗性

Char. 57 Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)- Strain 0

形質 58 トマトモザイクウイルス系統 1 抵抗性

Char. 58 Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)- Strain 1

形質 59 トマトモザイクウイルス系統 2 抵抗性

Char. 59 Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)- Strain 2

接種源系統の維持

培地のタイプ	植物体あるいは乾燥葉
特別な条件	凍結あるいは BOS 法
確認法	Tm2 <sup>2</sup> 遺伝子を持つ品種がネクロシスを生ずるストレイン 0 を用いる。

検定の手法

植物体の苗令	子葉展開期
温度条件	日中 30～35℃、夜 25～30℃
光条件	12 時間日長
栽培方法	温室内で行う。
接種方法	子葉を機械的に、なすりつけ接種する。
検定の期間	播種後 12～14 日で接種。接種 10～12 日後に調査。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。

標準品種

感受性	Monalbo, Marmande
抵抗性	Mobaci (抵抗性遺伝子 Tml 保有) (ストレイン 0、2 抵抗性) Moperou (抵抗性遺伝子 Tm2 保有) (ストレイン 0、1 抵抗性) Monalbo×Momor (ネクロシスを伴う抵抗性) Gourmet (すべてのストレインに抵抗性)

判定基準 標準品種と比較して評価する。

形質 60 疫病抵抗性 Char. 60 Resistance to *Phytophthora infestans* (Pi)

試験方法

病原体	トマト疫病菌 ( <i>Phytophthora infestans</i> ) (トマトに対して病原性を有する菌株) を供試する。
病原性の維持	試験前にトマト成葉 (切離葉) 上で継代を繰り返して遊走子のうを形成させる。
接種準備	トマト成葉 (切離葉) 上に形成させた遊走子のうを滅菌水中に洗い落とし、遊走子のうから遊走子が放出された懸濁液を接種源として供試する。
接種方法	本葉が 3～4 枚程度展開した供試植物に接種源を噴霧接種する。
管理方法	接種後は人工気象器内において、温度 15～18℃、湿度 90%以上で管



	理する。
	接種後 24 時間は暗黒下とし、その後、明期 14 時間の照明下で管理する。
試験期間	接種 3～4 週間後に発病程度を調査する。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	発病程度の調査結果に基づいて判定する。

#### 形質 61 斑点病抵抗性 Char. 61 Resistance to *Stemphylium* spp. (Ss)

##### 試験方法

病原体	トマト斑点病菌 ( <i>Stemphylium</i> spp.) を供試する。
病原性確認	試験の前に感受性品種を用いて病原性の確認を行う。
接種準備	栄養培地 (V8 ジュース寒天培地等) で培養し、培地上に形成された分生子を滅菌水に懸濁して接種源とする。
接種方法	本葉が 7～8 枚程度展開した供試植物に接種源を噴霧する。
管理方法	接種後は温室又は人工気象器内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。 接種後 24～28 時間は高湿度で管理する。 自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。
試験期間	接種 7～15 日後に発病程度を調査する。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	発病程度の調査結果に基づいて判定する。

#### 形質 62 青枯病抵抗性 Char. 62 Resistance to *Ralstonia solanacearum* (Rs) Race 1

##### 試験方法

病原体	トマト青枯病菌 ( <i>Ralstonia solanacearum</i> ) レース 1 を供試する。
病原性確認	試験の前に感受性品種を用いて病原性の確認を行う。
接種準備	液体培地 (ジャガイモ半合成培地等) に接種し、振とう培養する。
接種方法	以下のいずれかの方法で接種する。 方法 1 供試植物の株元に菌懸濁液を灌注する。 方法 2 供試植物の根から用土を落とし、菌懸濁液に浸漬する。 浸漬後、病原菌に汚染されていない用土 (滅菌土又は市販の培養土) に移植する。
管理方法	接種後は温室又は人工気象器内において、おおむね 30℃で管理する。 自然光又は明期 10～12 時間の照明下で管理する。
試験期間	接種おおむね 30 日後に発病程度を調査する。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
判定基準	発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 63 トマト黄化葉巻ウイルス抵抗性（イスラエル系統）

Char. 63 Resistance to Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) (Israel)

接種源の維持

トマト植物体

検定の手法

植物体の苗令 2～3 葉展開期

温度条件 23℃以上

光条件 人工光（16 時間日長）または自然光

接種方法 トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)-イスラエル系統罹病植物体に放飼したタバココナジラミを用いた接種

検定の期間 播種後 2 週間程度で接種。接種後 1 ヶ月程度で調査。

供試個体数 1 品種当たり 10 個体以上を供試する。

標準品種

感受性 在来品種（「大型福寿」等）

抵抗性

判定基準 標準品種と比較して評価する。

2026 年 月  
TG/23/7 2022-10-25 に整合

# バレイショ種

Potato

(*Solanum tuberosum* L.)

(案)

## バレイショ種審査基準

### I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ナス科 (*Solanaceae*) ナス属 (*Solanum* L.) バレイショ種 (*Solanum tuberosum* L.) の全ての品種に適用する。

### II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 塊茎（健全な萌芽が見込まれる複数の目があるもの）又は種子
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 塊茎 120 個（40～80 g のもの）  
種子 1,000 粒  
種子は、発芽率、純潔率、含水量等保存に適したものであること。
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 原則として、露地、慣行栽培により実施する。
- ii) 最低供試個体数 60 個体（2 区制以上に分割）
- iii) 栽培期間 2 生育周期  
ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

栽培上の留意事項 特性表中の標準品種の特性は育成地における特性である。

(標準品種の地域区分)

作型	対象地域	関係研究場所
夏作	東北地方以北、その他の地域の高冷地	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 北見農業試験場
春作	関東地方以南の春植 または冬植	長崎県農林技術開発センター—(畑作営農研究部門)—
秋作	中国地方以南の秋植	同上

#### iv) 調査方法

調査個体数 特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。幼芽の調査は栄養繁殖性品種にあつては各塊茎から採取した 5 個体、種子繁殖性品種にあつては各塊茎から採取した 15 個体とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等 また、特に指示がない限り、特性表の調査方法欄にある次の記号を含む形質についてはⅧ. i に記載している説明に準じて調査する。

- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

#### IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP 8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 2 である。供試個体数が 5 の場合、許容される異型個体数は 0 である。

種子繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP 8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 2 である。供試個体数が 15 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

#### V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 幼芽の基部のアントシアニン着色における青色の割合 (形質 4)
- ii) 花冠内面のアントシアニン着色 (形質 27)
- iii) 花冠内面のアントシアニン着色における青色の割合 (形質 28)
- iv) 枯ちよう期 (形質 32)
- v) 塊茎の皮色 (形質 36)

#### VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(\*) : 必須形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
1	1	QN	幼芽の大きさ	Lightsprout: size	幼芽の大きさ	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	男爵薯	デジマ	
2	2	PQ (*) (+)	幼芽の基部 の形	Lightsprout: shape of base	幼芽の基部の形	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	球形 卵形 円錐形 広円筒形 狭円筒形	globose ovoid conic broad cylindrical narrow cylindrical	デジマ		ニシユタカ デジマ	
3	3	QN (*) (+)	幼芽の基部 のアントシアニン着色	Lightsprout: anthocyanin coloration of base	幼芽の基部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ 男爵薯 普賢丸	男爵薯 フリア	ニシユタカ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
4	4	QN (*) (+) G	幼芽の基部 のアントシ アニン着色 における青 色の割合	Lightsprout: proportion of blue in anthocyanin coloration of base	幼芽の基部の アントシアニン着 色における青色 の割合	観察 VG (a)	1 2 3	無又は低 中 高	absent or low medium high	ニシユタカ 普賢丸	トヨシロ コナユタカ	ニシユタカ	
5	5	QN (*) (+)	幼芽の基部 の毛	Lightsprout: hairiness of base	幼芽の基部の毛 の粗密	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極粗 かなり粗 粗 やや粗 中 やや密 密 かなり密 極密	absent or very sparse very sparse to sparse sparse sparse to medium medium medium to dense dense dense to very dense very dense	ニシユタカ 男爵薯 普賢丸 デジマ	男爵薯	ニシユタカ       デジマ	



形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
6	6	QN	幼芽の頂部の基部に対する大きさ	Lightsprout: size of apex in relation to base	幼芽の頂部の基部に対する大きさ	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	男爵薯、さやか	デジマ	
7	7	QN (+)	幼芽の頂部の型	Lightsprout: habit of apex	幼芽の頂部の型	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	閉じる やや閉じる 中間 やや開く 開く	closed closed to intermediate intermediate intermediate to open open	デジマ 普賢丸		デジマ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
8	8	QN	幼芽の頂部のアントシアニン着色	Lightsprout: anthocyanin coloration of apex	幼芽の頂部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	コナヒメ  フリア  コナユタカ	デジマ	
9	9	QN (+)	幼芽の頂部の毛	Lightsprout: hairiness of apex	幼芽の頂部の毛の粗密	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極粗 かなり粗 粗 やや粗 中 やや密 密 かなり密 極密	absent or very sparse very sparse to sparse sparse sparse to medium medium medium to dense dense dense to very dense very dense	デジマ  普賢丸	さやか  フリア	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
10	10	QN (*) (+)	幼芽の根端の数	Lightsprout: number of root tips	幼芽の根端の数	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many	普賢丸  デジマ	トヨシロ	デジマ	
11	11	QN (+)	幼芽の側枝の長さ	Lightsprout: length of lateral shoots	幼芽の側枝の長さ	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	デジマ		デジマ	
12	12	QN (+)	植物体の草型	Plant: foliage structure	植物体の草型	観察 VG 51-69	1 2 3	茎型 中間型 葉型	stem type intermediate type leaf type	デジマ	さやか 男爵薯	デジマ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
13	13	QN (*) (+)	植物体の草 姿	Plant: growth habit	植物体の草姿	観察 VG 51-69	1 2 3 4 5	直立 直立～やや 直立 やや直立 やや直立～ 開張 開張	upright upright to semi- upright semi-upright semi-upright to spreading spreading	デジマ	男爵薯	デジマ	
14	14	QN (*)	茎のアント シアニン着 色	Stem: anthocyanin coloration	茎の下部 3/4 に おけるアントシ アニン着色の強 弱	観察 VG (b) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ  普賢丸	トヨシロ  男爵薯	デジマ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
15	15	QN	複葉の大きさ	Leaf: size	複葉外形の大きさ	観察/ 測定 VG/ MS cm <sup>2</sup> (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	トヨシロ	デジマ	
16	16	QN (+)	小葉の重なり	Leaf: arrangement of leaflets	小葉の重なりの 程度	観察 VG (c) 51-69	1 2 3 4 5	重なる 重なる～接 する 接する 接する～離 れる 離れる	overlapping overlapping to touching touching touching to free free	デジマ	男爵薯  トヨシロ	ニシユタカ  デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
17	17	QN (+)	二次小葉の数	Leaf: number of secondary leaflets	二次小葉の数	観察 VG (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many	デジマ	さやか	デジマ	
18	18	QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color	植物体の中心部の十分に展開した葉における緑色の濃淡	観察 VG 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極淡 かなり淡 淡 やや淡 中 やや濃 濃 かなり濃 極濃	very light very light to light light light to medium medium medium to dark dark dark to very dark very dark	デジマ  男爵薯	さやか  フリア	デジマ  ニシユタカ	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
19	19	QN	複葉の中肋のアントシアニン着色	Leaf: anthocyanin coloration on midrib	複葉の表面の中肋のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b) (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	男爵薯	デジマ	
20	20	QN (+)	第二側小葉の長幅比	Second pair of lateral leaflets: width in relation to length	第二側小葉の長幅比	観察/ 測定 VG/ MS 比 (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極狭 かなり狭 狭 やや狭 中 やや広 広 かなり広 極広	very narrow very narrow to narrow narrow narrow to medium medium medium to broad broad broad to very broad very broad	普賢丸 男爵薯	トヨシロ フリア	ニシユタカ	
21	21	QN (+)	頂小葉と側小葉の合着の出現率	Terminal and lateral leaflets: frequency of coalescence	植物体全体の完全展開葉における頂小葉と側小葉の合着の出現率	観察 VG 51-69	1 2 3 4 5	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	デジマ	男爵薯	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
22	22	QN	花芽のアントシアニン着色	Flower bud: anthocyanin coloration	花冠が見える前の十分に生育した花芽（つぼみ）におけるアントシアニン着色の強弱（着らいた品種に限る。）	観察 VG (b) 55-59	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	トヨシロ	デジマ	
23	23	QN (*) (+)	花房の数	Plant: number of inflorescences	花房の数	観察 VG 60-69	1 2 3 4 5  6 7  8 9	無又は極少 かなり少 少 やや少 中  やや多 多  かなり多 極多	absent or very few very few to few few few to medium medium  medium to many many  many to very many very many	ニシユタカ  デジマ	フリア  マチルダ、ホークチップ、コナヒメ  パールスターチ、コナユタカ	ニシユタカ  デジマ	



形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
24	24	QN	花房の大きさ	Inflorescence: size	花房の大きさ (花房がある品種に限る。)	観察 VG (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	さやか  コナヒメ  コナユタカ	デジマ	
25	25	QN	花柄のアントシアニン着色	Peduncle: anthocyanin coloration	花柄のアントシアニン着色の強弱（着らいした品種に限る。)	観察 VG (b) (d) 55-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ		デジマ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
26	26	QN	花冠の直径	Corolla: diameter	花冠の直径（花 房がある品種に 限る。）	観察/ 測定 VG/ MS cm (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	トヨシロ	デジマ	
27	27	QN (*) G	花冠内面の アントシア ニン着色	Corolla: <u>intensity</u> of anthocyanin coloration on inner side	花冠内面のアン トシアニン着色 の強弱（花房が ある品種に限 る。）	観察 VG (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	トヨシロ  男爵薯	デジマ	

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
28	28	QN (*) (+) G	花冠内面の アントシア ニン着色に おける青色 の割合	Corolla: proportion of blue in anthocyanin coloration on inner side	花冠内面のアン トシアニン着色 における青色の 割合（花房があ る品種に限 る。）	観察 VG (d) 60-69	1 2 3	無又は低 中 高	absent or low medium high	デジマ	さやか	デジマ	
29	29	QN (*)	花冠内面の アントシア ニン着色の 広がり	Corolla : <u>extent</u> of anthocyanin coloration on inner side	花冠内面のアン トシアニン着色 の広がり（花房 がある品種に限 る。）	観察 VG (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	absent or very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	トヨシロ  男爵薯	デジマ	
30	30	QN	植物体の草 高	Plant: height	開花期の地際か ら最高部位まで の高さ	観察/ 測定 VG/ MS cm 65-69	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very short short medium tall very tall	ニシユタカ  デジマ	男爵薯 トヨシロ コナユタカ	ニシユタカ デジマ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考	
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作		
31		PQ	やくの色	Anther: color	成熟したやくの色（花房がある品種に限る。）	観察 VG 65-69	1 2 3 4 5 6 7 8	白 黄白 淡黄 黄 黄橙 橙 黄緑 緑	white yellowish white light yellow yellow yellowish orange orange yellowish green green	デジマ 男爵薯	トヨシロ	デジマ		
32	31	QN (*) G	枯ちよう期	Plant: time of maturity	80%の葉が枯れた日	測定 MG 月日 97	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late		男爵薯  さやか  コナヒメ			
33	32	QN (*) (+)	塊茎の形	Tuber: form	塊茎の側面から見た形	観察 VG 99	1 2 3 4 5 6	円形 短卵形  卵形 長卵形 長形 極長形	round short-oval  oval long-oval long very long	男爵薯 普賢丸、 デジマ	さやか	デジマ		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
34		QN	塊茎の目の 数	Tuber: number of eyes	塊茎の目の数	測定 MS 99	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	デジマ	さやか トヨシロ	デジマ	
35	33	QN	塊茎の目の 深さ	Tuber: depth of eyes	塊茎の目の深さ	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極浅 かなり浅 浅 やや浅 中 やや深 深 かなり深 極深	very shallow very shallow to shallow shallow shallow to medium medium medium to deep deep deep to very deep very deep	デジマ	トヨシロ  男爵薯	デジマ	
36	34	PQ (*) G	塊茎の皮色	Tuber: color of skin	塊茎の皮色	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	黄白 黄 橙褐 淡赤 赤 濃赤 赤斑 青紫 青紫斑	light yellow brown yellow orange brown light red medium red dark red mottled red blue violet mottled blue violet	デジマ 普賢丸	さやか  さやあかね レッド・ムーン  キタムラサキ	デジマ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
37	35	QN	塊茎の表皮 の粗滑	Tuber: texture of skin	塊茎の表皮の粗 滑	観察 VG (e) 99	1 2 3	滑 中 粗	smooth medium tough	デジマ ニシユタカ	さやか トヨシロ コナユタカ	デジマ	
38	36	PQ (*)	塊茎の目の 基部の色	Tuber: color of base of eye	塊茎の目の基部 の色（塊茎の皮 色が赤斑又は青 紫斑の品種を除 く）	観察 VG (e) 99	1 2 3 4	白 黄 赤 青	white yellow red blue	デジマ	さやか パ ールスターチ	デジマ	
39	37	PQ (*) (+)	塊茎の肉色	Tuber: color of flesh	塊茎の肉色	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 淡黄 明黄 黄 濃黄 赤 赤斑 青紫 青紫斑	white yellowish white light yellow medium yellow dark yellow red red parti-colored blue violet blue violet parti- colored	男爵薯 デジマ 普賢丸	男爵薯 十勝黄金 アイマサリ ながさき黄金	デジマ	

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
40		QN (+)	塊茎の光反応による皮のアントシアニン着色の強弱（皮色が黄白及び黄の品種に限る。）	<u>Light beige and yellow skinned varieties</u> <u>only</u> : Tuber: anthocyanin coloration of skin in reaction to light	塊茎の光反応による皮のアントシアニン着色の強弱（自然光条件下で 10 日後、又は人工光条件下で 150 時間後に調査する。）	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	トヨシロ	デジマ	
41		QN	休眠期間	Time of dormancy	収穫後の塊茎の休眠明けまでの日数（20℃暗所） 半数以上の塊茎の芽の長さが 5 mm 以上に達した時を休眠明けとする。	測定 MG 日 (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	デジマ	トヨシロ	デジマ	選択形質

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
42		QN	上いも重	Weight of fine tubers	1 個重 20g 以上 の塊茎の 10 a 当たり重	測定 MG kg (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very light very light to light light light to medium medium medium to heavy heavy heavy to very heavy very heavy	デジマ	トヨシロ	デジマ	
43		QN	上いも数	Number of fine tubers	1 個重 20g 以上 の塊茎の 10 a 当たり個数	測定 MG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many		男爵薯		



形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)				
										春作	夏作	秋作	
44		QN	上いもの平均重	Mean weight of fine tuber	上いもの重／上いもの数	測定 MG g (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very light very light to light light light to medium medium medium to heavy heavy heavy to very heavy very heavy	デジマ	男爵薯	デジマ	
45		QN	肉質	Fleshy substance	粘質・粉質の別 収穫後1ヶ月以内の100g程度の塊茎の水煮による	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5	粘 やや粘 中 やや粉 粉	sticky slightly sticky medium slightly powdery powdery				
46		QL (+)	ジャガイモシストセンチュウ抵抗性	Resistance to <i>Globodera rostochiensis</i>	ジャガイモシストセンチュウ ( <i>Globodera rostochiensis</i> ) パソタイプ Ro1 に対する抵抗性の有無	測定	1 9	無 有	absent present				選択形質

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
47		QN (+)	ジャガイモ シロシスト センチュウ 抵抗性	Resistance to <i>Globodera pallida</i>	ジャガイモシロ シストセンチュ ウ ( <i>Globodera pallida</i> ) に対す る抵抗性の強弱	測定	1 2 3 4 5	弱 やや弱 中 やや強 強	weak weak to medium medium medium to strong strong				選 択 形 質

## VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

### VIII. i 特性の概要説明

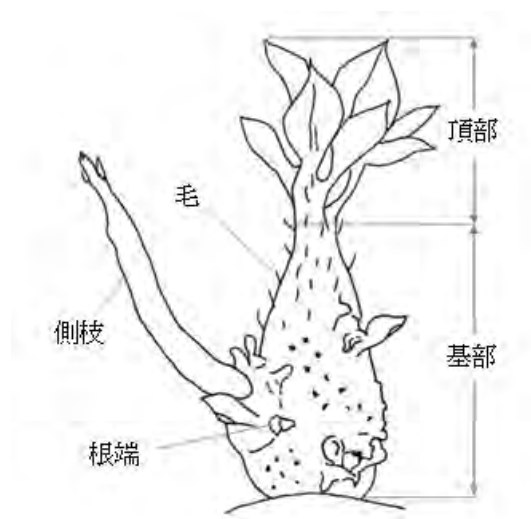
(a) 種子繁殖性品種の場合は収穫した塊茎で調査を行う。

以下の方法によって生育した幼芽を調査する。

幼芽の形質の発現に最も重要な要素は光源のスペクトルと強度である。スペクトルは電球の種類と電圧によって決まる。極端な温度を避ければ、温度の生育速度への影響は小さい。室温条件下の遮光キャビネット中で、小さな白熱電球（6V AC/0.05A）による7～10luxの強さ（およそ8個/m<sup>2</sup>の電球で20～30cm上から）の連続照明下で幼芽が生育するとき、良い形質表現が得られる。

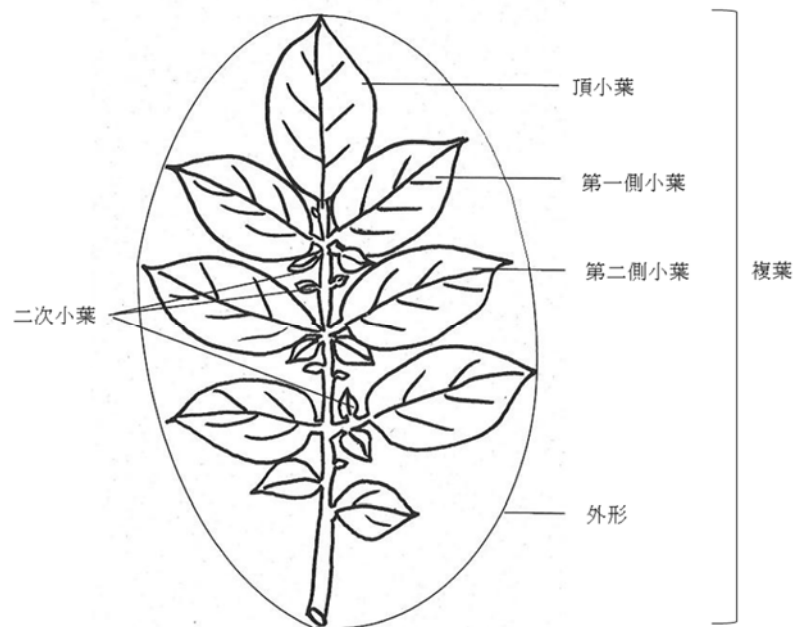
調査は形質7「幼芽の頂部の型」と形質11「幼芽の側枝の長さ」の特性が最もよく区別できる時期に昼間の間接光が入る部屋で行う。調査適期を見極めるために標準品種を供試すべきである。

幼芽の発育は収穫後の試験開始時期に影響を受ける。塊茎の老化とともに発育程度が高まる。収穫してから約100日後に試験を開始した場合、休眠や発育の遅れのため、調査に適した生育段階に達するのは14週間後になるかもしれない。試験の開始時期を遅くすれば、より短い期間で調査に適した生育段階に達する可能性がある。

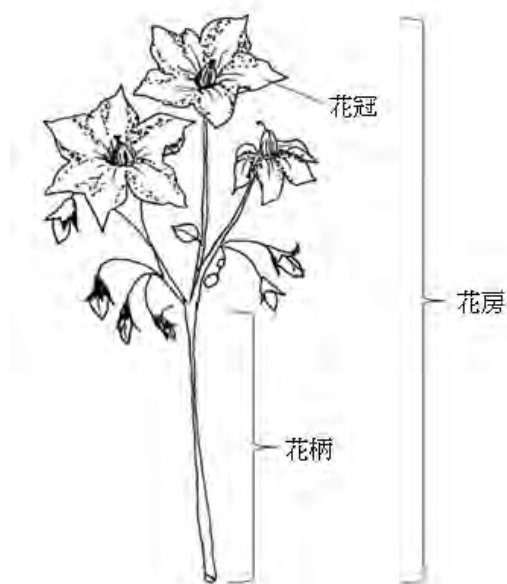


(b) アントシアニン着色の強弱を調査する形質である。着色の範囲や分布は考慮すべきではない。

(c) 葉の調査は、供試個体の中央の十分に生育したもので行う。10個体から1枚ずつ、主茎の中央部の葉を採取する。



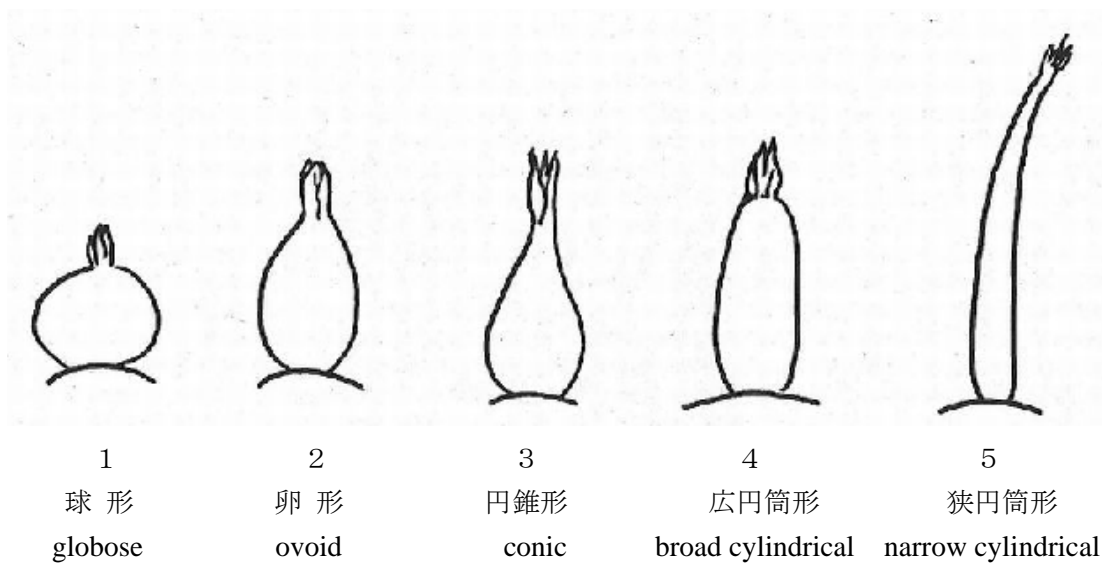
(d) 花色の調査は開花直後の花の内面で行う。調査適期は早朝である。



(e) 収穫後2週間以内に調査を行う。塊茎の色に影響を与える可能性があるため、保存中は日光を遮る必要がある。

VIII. ii 各特性の説明

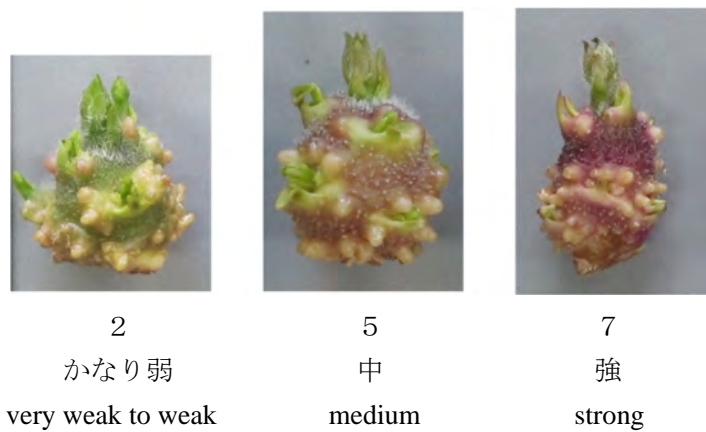
形質 2 幼芽の基部の形 Char.2 Lightsprout: shape of base



形質 3 幼芽の基部のアントシアニン着色

Char.3 Lightsprout: intensity of anthocyanin coloration of base

アントシアニンの着色が“無”であれば、幼芽は緑色となる。

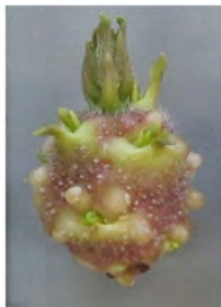


形質 4 幼芽の基部のアントシアニン着色における青色の割合

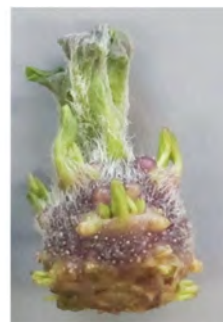
Char.4 Lightsprout: proportion of blue in anthocyanin coloration of base



1  
無又は低  
absent or low



2  
中  
medium



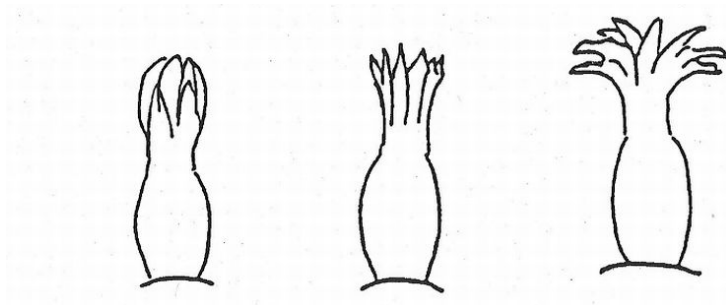
3  
高  
high

形質 5 幼芽の基部の毛 Char.5 Lightsprout: hairiness of base

調査は拡大鏡を使用した方がよい。

毛は必ずしも幼芽の全体に均等に分布しているとは限らない。評価は幼芽の基部の面積に対する基部の毛の総量の平均値で行うべきである。

形質 7 幼芽の頂部の型 Char.7 Lightsprout: habit of apex



1  
閉じる  
closed

3  
中間  
intermediate

5  
開く  
open

形質 9 幼芽の頂部の毛 Char.9 Lightsprout: hairiness of apex

調査は拡大鏡を使用した方がよい。

毛は必ずしも幼芽の全体に均等に分布しているとは限らない。評価は幼芽の頂部の面積に対する頂部の毛の総量の平均値で行うべきである。



5  
中  
medium

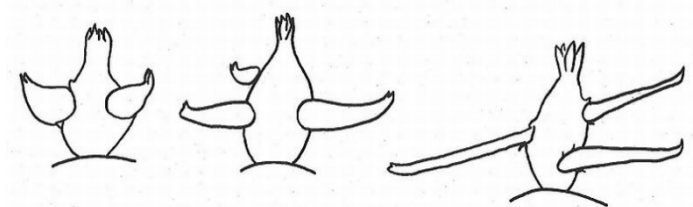


7  
密  
dense

形質 10 幼芽の根端の数 Char.10 Lightsprout: number of root tips



形質 11 幼芽の側枝の長さ Char.11 Lightsprout: length of lateral shoots

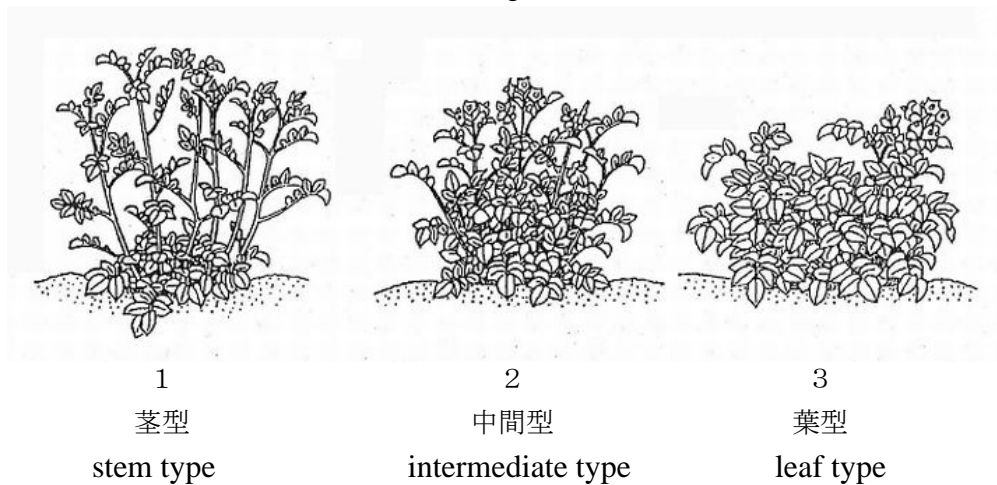


3  
短  
short

5  
中  
medium

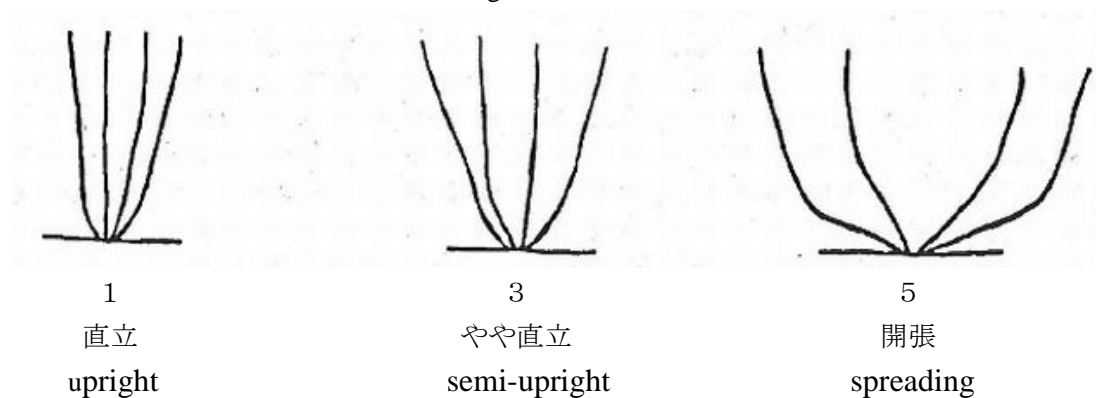
7  
長  
long

形質 12 植物体の草型 Char.12 Plant: foliage structure



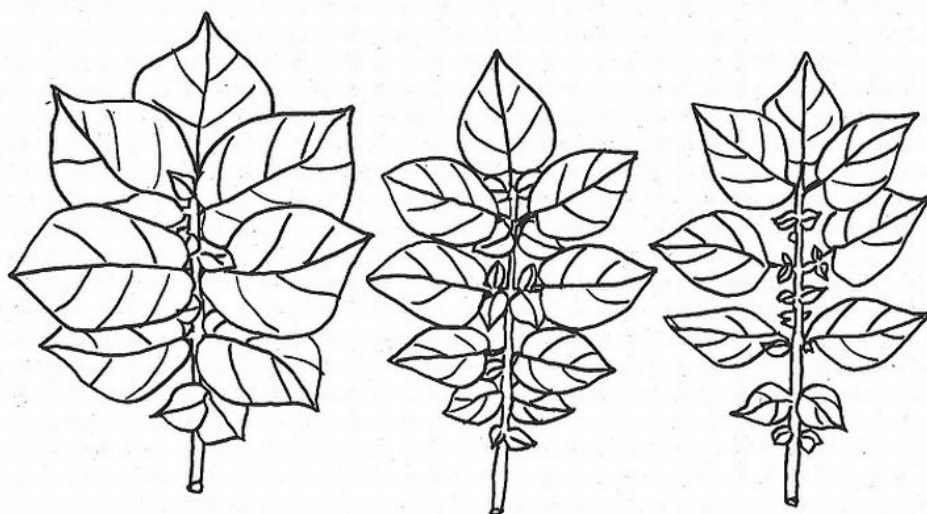
茎型 : 葉の茂りが粗であり、茎ははっきりと見える。  
 中間型 : 葉の茂りがやや粗であり、茎は部分的に見える。  
 葉型 : 葉の茂りが密で、茎は見えないかほとんど見えない。

形質 13 植物体の草姿 Char.13 Plant: growth habit





形質 16 小葉の重なり Char.16 Leaf: arrangement of leaflets

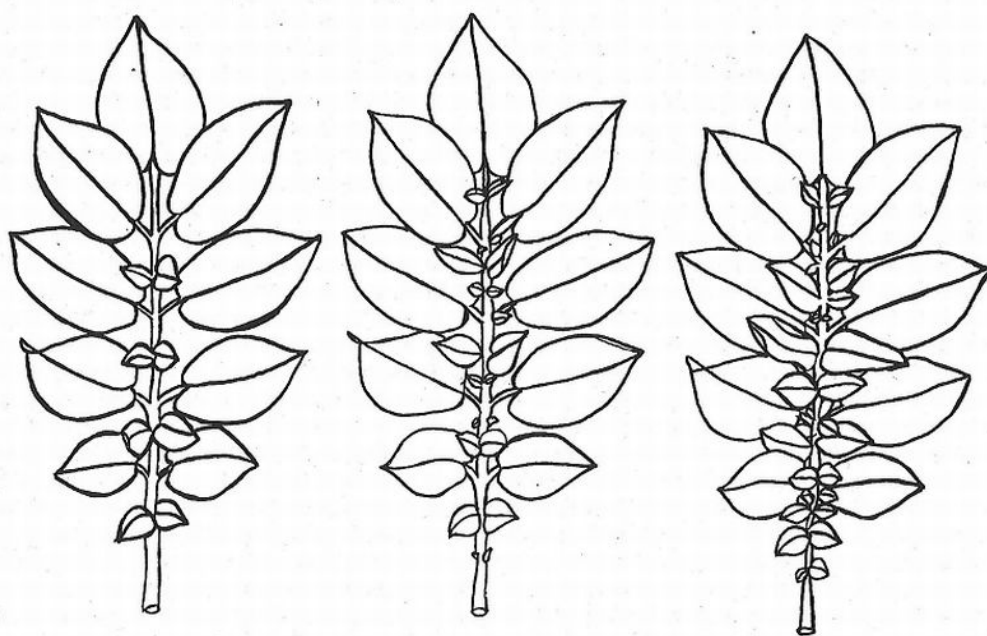


1  
重なる  
overlapping

3  
接する  
touching

5  
離れる  
free

形質 17 二次小葉の数 Char.17 Leaf: number of secondary leaflets



3  
少  
few

5  
中  
medium

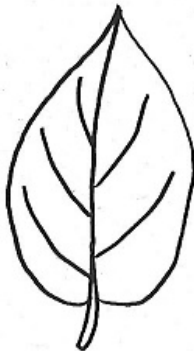
7  
多  
many

形質 20 第二側小葉の長幅比

Char.20 Second pair of lateral leaflets: width in relation to length



3  
狭  
narrow



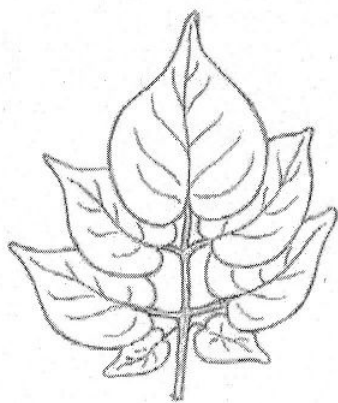
5  
中  
medium



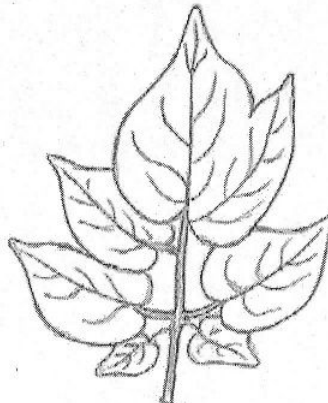
7  
広  
broad

形質 21 頂小葉と側小葉の合着の出現率

Char.21 Terminal and lateral leaflets: frequency of coalescence



合着していない  
not coalescent



合着している  
coalescent

形質 23 花房の数

Char.23 Plant: number of inflorescences

開花期間中、試験区を数回観察し、品種ごとの花房数を記載する。最も花房数が多かったものが最終的な評価となる。

形質 28 花冠内面のアントシアニン着色における青色の割合

Char.28 Corolla: proportion of blue in anthocyanin coloration on inner side

アントシアニンの発色は赤と青の構成による。もし青の割合が低ければアントシアニンは赤紫となり、青の割合が高ければ青紫となる。



1. 無又は低

2. 中

3. 高

形質 33 塊茎の形 Char. 33 Tuber: form

塊茎の形は長さとの幅の比で定義される。供試品種内で最も優勢な形を評価する。



1

円形  
round

2

短卵形  
short-oval

3

卵形  
oval

4

長卵形  
long-oval

5

長形  
long

6

極長形  
very long

( $\leq 109$ )      (110-129)      (130-149)      (150-169)      (170-199)      ( $\geq 200$ )

評価は標準品種等との相対評価で行うが、参考として塊茎の長さ／幅 $\times 100$ で示した値を（ ）書きで示す。

形質 39 塊茎の肉色

Char.39 Tuber: color of flesh

切りたての塊茎を観察する必要がある。塊茎を切って数分後には、果肉が変色していることがある。

形質 46 ジャガイモシストセンチュウ抵抗性

Char.46 Resistance to *Globodera rostochiensis*

1 簡易カップ検定の手順

- (1) 250ml カップに乾燥土壌 1 g あたりシスト 100 卵の土壌 25mL を入れ、その上に 30g 前後の塊茎を 1 個置き、滅菌土壌 50mL を補充し、蓋をかぶせて密閉する。1 品種につき 6 塊茎供試する。
- (2) 遮光し、室温で 2 か月間培養する。根の伸長に適した土壌水分を保つように適宜給水する。
- (3) カップの底面及び側面に確認される黄色～褐色の雌成虫を計数する。
- (4) カップあたりの平均雌成虫着生数が 1 未満となる場合を抵抗性とする。

2 プラスチックカップ検定の手順

- (1) 小型の蓋付き透明プラスチックカップ（蓋に 2 mm の注水用の穴を開ける）に殺菌土を大さじ 2 杯、線虫汚染土壌を中さじ 1 杯（シスト 5 個以上になるよう適宜調整）、催芽塊茎を 1 個入れ、蓋をする。
- (2) コンテナに収納し、約 20℃ の無照明の恒温器（室）で保管する。
- (3) 10～15 日間隔で土壌水分をチェックし、連続分注器で蓋の穴から注水する。
- (4) 検定開始 30 日後に 1 回目の調査をし、寄生確認のカップを感受性系統と見なし除去する。
- (5) 以後 10～15 日間隔で注水時に調査する。
- (6) 60 日程度で調査を打ち切り、残存したカップの系統を抵抗性と判定する。
- (7) 供試カップを湿熱 70℃、1 時間以上で消毒する。

留意事項

- (1) 検定塊茎は速やかに発根するように催芽処理しておき、シストの接種は予め増殖しておいた汚染土壌を使用するのが簡便である。
- (2) 根が伸張しても土壌が乾燥している場合は、線虫が感染できないので注意する。
- (3) 切った塊茎を使用すると腐敗する場合があるので、カップ内に収まる小型の塊茎を供試することが望ましい。
- (4) 必ず線虫感受性品種を同時に供試し、感受性品種に寄生が確認されない場合は、汚染土壌を変えるなどして再試験を行う。
- (5) ジャガイモシストセンチュウ未発生地において検定を実施する場合、管轄の植物防疫所長に対し「国内に発生している本種線虫の移動届け」が必要である。

(百田洋二、串田篤彦、植原健人、高田明子、森元幸 (2002)、プラスチックカップによるジャガイモシストセンチュウ抵抗性新検定法、平成 14 年度「新しい研究成果－北海道地域」北海道農業研究センターから)

### 3 汚染ほ場における栽培

判定方法 シスト寄生度を調査し、シスト寄生指数と増殖率を算出して評価する。

シスト寄生度

- 0 シストが全く認められない
- 1 シストがわずかに認められる (ようやく散見できる)
- 2 シストが中程度認められる (散見される)
- 3 シストが多数認められる
- 4 シストが極めて多数認められる (密生している)

$$\text{シスト寄生指数} = \frac{\sum (\text{シスト寄生度} \times \text{寄生株数})}{(\text{調査株数}) \times 4} \times 100$$

増殖率 = 収穫時線虫健全卵数 / 植付時線虫健全卵数

標準品種 1 無 男爵薯、ニシユタカ、デジマ  
9 有 コナユタカ

### 形質 47 ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性

#### Char.47 Resistance to *Globodera pallida*

調査方法 カップ検定法又はポット検定法による検定

調査方法の詳細は「バレイショのジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性検定マニュアル」(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構) 北海道農業研究センター, 2020 年 3 月) 参照

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/files/bpmanual.pdf](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/bpmanual.pdf)

標準品種

階級	状態区分	標準品種
1	弱	パールスターチ、さんじゅうまる、男爵薯、紅丸、インカ のめざめ
2	やや弱	
3	中	きたすずか
4	やや強	フリア
5	強	

VIII. iii 生育ステージと BBCH コード

生育ステージコード 記述

0: 発芽／萌芽

1: 葉の展開

2: 主茎基部に側芽が形成される

3: 主茎の伸長（覆土）

4: 塊茎形成

5: 花房（集散花序）の出現

- |    |                        |
|----|------------------------|
| 51 | 最初の花房（主茎）の芽（1～2mm）が見える |
| 55 | 最初の花房の花芽（つぼみ）が5mmまで伸びる |
| 59 | 最初の花房に花弁が見える           |

6: 開花

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 60 | 供試個体における最初の開花       |
| 61 | 最初の花房（主茎）の約10%の花が開く |
| 65 | 最初の花房の50%の花が開く      |
| 68 | 最初の花房の80%の花が開く      |
| 69 | 最初の花房の開花終了          |

7: 果実の発達

8: 果実と種子の成熟

9: 老化

- |    |                   |
|----|-------------------|
| 91 | 葉の黄変が始まる          |
| 93 | ほとんどの葉が黄変する       |
| 95 | 葉の50%が茶色がかかる      |
| 97 | 葉と茎は枯れ、茎は色あせ、乾燥する |
| 99 | 収穫                |

参考文献

Meier, U. (ed.), 1997: Growth stages of mono- and dicotyledonous plants / Entwicklungsstadien mono- und dikotylter Pflanzen / Estadios de las plantas mono- y dicotiledóneas / Stades phénologiques des mono- et dicotylédones cultivées: BBCH-Monograph. Blackwell Wissenschaftsverlag, Berlin, Wien.

2026 年 月

TG/26/5 Corr.2 Rev に準拠

# キク属

Chrysanthemum

(*Chrysanthemum* L.)

(案)



## キク属審査基準

### I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、キク科 (Asteraceae) キク属 (*Chrysanthemum* L.) の全ての品種に適用する。

### II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 挿し穂又は種子
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種 1,000 粒  
栄養繁殖性品種 40 個体
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。  
また、種子は、発芽率、純潔率、含水量等保存に適したものであること。
- v) 提出する種苗は、審査当局が指示した場合を除き、薬剤処理及びその他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合は、その処理の詳細について記載すること。

### III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 種子繁殖性品種 40 個体  
栄養繁殖性品種 20 個体 (ただし、観賞ギクは 10 個体)
- iii) 栽培期間 1 生育周期
- iv) 調査方法

調査個体数 特に指示がない限り、種子繁殖性品種は植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個、栄養繁殖性品種は植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。ただし、観賞ギクは植物体 9 個体又は各個体から採取した部分 9 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等 以下に示されていないならば、すべての形質は満開時において記録される。一重と半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から 2～3 列の管状花が裂開した時である。八重品種は、先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前である。(満開時の頭花の状態は、別添参考「調査適期とする『「満開時」の頭花の開花状態について』参照」

特に指示がない限り、特性表の調査方法の欄の(a)～(h)の記号によって示された調査方法の詳細は、以下のとおりである。

- (a) 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに植物体、茎、たく葉、葉柄、葉及びつぼみの形質を調査する。
- (b) 茎及びたく葉の形質は、茎の中央部 1/3 で調査する。
- (c) 葉の形質は、茎の中央部 1/3 の典型的な葉で調査する。

(d) 摘らいしないキクとして栽培するために育成された品種は、側らい又は側枝は取り除かない。摘らいするキクとして栽培するために育成された品種は、側らい又は側枝（もしあれば）は、先端の頭花を残し早い段階で取り除く。いくつかの品種は、両方のタイプの栽培に適している。

形質 23、24、25、26、27、32 及び 34 は、摘らいしないキクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、これらの形質は摘らいしない試験区で調査する。

形質 33 及び 35 は、摘らいする品種のみを調査する。兼用の品種の場合は、これらの形質は摘らいした試験区で調査する。

(e) 頭花の形質は先端の頭花について記録する。

(f) 他に指示がなければ、舌状花の形質は舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ、これらの形質は記録されない。

(g) 主たる色は、全体で最も大きな表面積を持つ色で、2 次色 [もしあれば] は、全体で 2 番目に大きな表面積を持つ色、そして 3 次色 [もしあれば] は全体で 3 番目に大きな表面積のものである。

(h) この形質はつぼみが開いた後で、花盤の管状花が裂開し始める前に調査する。

v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

#### IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性について、栄養繁殖性品種及び自家受粉品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP 8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。栄養繁殖性品種においては、供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 であり、自家受粉品種においては、供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。他家受粉品種及び交雑品種においては、上記一般基準の第 4 の 2 (2) 及び (3) をそれぞれ適用する。

#### V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

i) 草丈 (形質 1)

ii) 草型 (形質 2)

iii) 頭花の型 (形質 30)

iv) 花盤の型 (八重及び露心する八重品種を除く。) (形質 31)

v) 頭花の直径 (摘らいしていないもの。) (形質 32)

vi) 頭花の直径 (摘らいしたもの。) (形質 33)

vii) 頭花の舌状花の主要な形 (形質 41)

viii) 舌状花の表面の色数 (形質 62)

ix) 舌状花の表面の主な色 (形質63)

以下の色区分による

Gr. 1 : 白

Gr. 2 : 黄色がかった白

Gr. 3 : 黄

Gr. 4 : 銅

Gr. 5 : 橙

Gr. 6 : 橙ピンク

Gr. 7 : ピンク

Gr. 8 : 赤

Gr. 9 : 赤紫

Gr. 10 : 紫

Gr. 11 : 緑

x) 舌状花 : 表面の二次色 (形質64)

以下の色区分による

Gr. 1 : 白

Gr. 2 : 黄色がかった白

Gr. 3 : 黄

Gr. 4 : 銅

Gr. 5 : 橙

Gr. 6 : 橙ピンク

Gr. 7 : ピンク

Gr. 8 : 赤

Gr. 9 : 赤紫

Gr. 10 : 紫

Gr. 11 : 緑

x i) 開花習性 (形質90)

x ii) 各開花習性における早晩性 (形質91)

x iii) 頭花の舌状花の主要な形 (観賞ぎくに限る。) (形質95)

x iv) 頭花の舌状花の二次的な形 (観賞ぎくに限る。) (形質96)

VI. 特性表で使用する記号の説明(Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(\*) : 品種記載の国際調和のための調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIIIに特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録  
 VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録  
 VS：植物体あるいは植物体の一部を個々の観察記録

## 状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of characteristics)

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN (*) G	草丈	Plant : height	地際から最高部位までの 高さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	Dekyen、神馬 フィグランド <sup>®</sup> ピンク	
2	2	QL (*) (+) G	草型	Plant: type	植物体のタイプ	観察 VG (a)	1 2	叢生でない 叢生	non bushy bushy	フィグランド <sup>®</sup> ピンク ヨダ <sup>®</sup> トラ	
3	3	PQ (*) (+)	草姿(叢生品種に限 る。)	<u>Only bushy varieties:</u> Plant: growth habit	草姿 叢生の品種に限る	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	直立 半直立 半球 開張 先端が這う	upright semi upright hemispherical spreading trailing		
4	4	QN	分枝の粗密(叢生品 種に限る。)	<u>Only bushy varieties:</u> Plant: density of branching	分枝の粗密 叢生の品種に限る	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	ヨダ <sup>®</sup> トラ	
5	5	PQ	茎の色	Stem: color	茎の色	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4	緑 紫又は褐を帯 びた緑 褐 紫	green green tinged with purple or brown brown purple	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	QN	たく葉の大きさ	Stipule: size	たく葉の大きさ	観察 VG (a) (b)	1 3 5 7	無又は極小 小 中 大	absent or very small small medium large	Vymini、神馬	
7	7	QN (+)	葉柄の向き	Petiole: attitude	茎に対する葉柄の向き	観察 VG (a) (c)	1 3 5 7  9	上 斜上 水平 斜下  下垂	very strongly upwards moderately upwards horizontal moderately downwards drooping		
8	8	QN (+)	葉柄の葉長に対する長さ	Petiole: length relative to leaf length	葉の長さに対する葉柄の長さ（葉柄の長さ／葉の長さ）	測定 MS (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	フィグ <sup>△</sup> ラント <sup>△</sup> ピンク	
9	9	QN (*) (+)	葉の長さ	Leaf: length including petiole	葉の長さ	測定 mm MS (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium  long	フィグ <sup>△</sup> ラント <sup>△</sup> ピンク、 神馬	
10	10	QN (*) (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 mm MS (a) (c)	3 5 7	狭 中  広	narrow medium  broad	ヨダ <sup>△</sup> トラ フィグ <sup>△</sup> ラント <sup>△</sup> ピンク、セイロー <sup>△</sup> サ <sup>△</sup>	

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	QN (*) (+)	葉の長さ／幅	Leaf: ratio length/width	葉の幅に対する葉の長さの比（葉の長さ／葉の幅）	測定 比 MS (a) (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high	フィグ・ラント <sup>®</sup> ピンク	
12	12	QN (*) (+)	葉の先端裂片の相対的な長さ	Leaf: length of terminal lobe relative to leaf length	葉の長と比較した先端裂片の長さ（先端裂片の長さ／葉の長さ）	測定 MS (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	フィグ・ラント <sup>®</sup> ピンク	
13	13	QN (*) (+)	葉の一次欠刻の深さ	Leaf: depth of lowest lateral sinus	葉の一次欠刻の深さ	観察 VG (a) (c)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	フィグ・ラント <sup>®</sup> ピンク	
14	14	PQ	葉の裂片縁部の重なり	Leaf: margins of lowest lateral sinus	葉の側裂片縁部の重なり	観察 VG (a) (c)	1 2 3 4 5	広がる 平行 接近する 接する 重なる	diverging parallel converging touching overlapping	神馬  Vymini Dekyen	
15	15	PQ (*) (+)	葉の基部の形	Leaf: predominant shape of base	葉の基部の主要な形	観察 VG (a) (c)	1 2 3 4 5 6	鋭形 鈍形 円形 平形 凹形 非対称	acute obtuse rounded truncate cordate asymmetric	錦かざぐるま セイローザ <sup>®</sup>	

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	QN	葉の表面の光沢の強弱	Leaf: glossiness of upper side	葉の表面の光沢の強弱	観察 VG (a) (c)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	absent or very weak weak strong	セイローサ <sup>®</sup>	
17	17	QN (*)	葉の表面の緑色の濃淡	Leaf: green color of upper side	葉の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a) (c)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	Dekyen	
18	18	QN (*) (+)	葉の表面の周縁淡色部の顕著さ ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	<u>Excluding varieties of <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i>: Leaf: upper side: prominence of pale margin</u>	葉の表面の葉縁淡色部の顕著さ ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	観察 VG (a) (c)	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		
19	19	QN (*) (+)	葉の裏面の毛の粗密 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	<u>Excluding varieties of <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i>: Leaf: pubescence of lower side</u>	葉の裏面の毛の粗密 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	観察 VG (a) (c)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
20	20	PQ (*) (+)	葉の裏面の色 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	<u>Excluding varieties of <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i>: Leaf: color of lower side</u>	葉の裏面の色 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	観察 VG (a) (c)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		



形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	QN (+)	葉の周縁の二次欠刻の数	Leaf margin: number of indentations	葉の周縁の二次欠刻の数	観察 VG (a) (c)	3 5 7	少 中 多	few medium many	ヨダトラ  Vymini	
22	22	QN (+)	葉の周縁の二次欠刻の深さ	Leaf margin: depth of indentations	葉の周縁の二次欠刻の深さ	観察 VG (a) (c)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ヨダトラ  Vymini	
23	23	PQ (+)	花序の形(叢生でない品種に限る。)	<u>Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: form</u>	花序全体の形 (叢生でない品種 (形質 2 参照) に限る。)	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	円錐形 深いドーム形 円筒形 散房花序型 平らな散房花序型	conical deeply domed cylindrical corymbiform flat-corymbiform	Dekyen	
24	24	QN	花序の最大幅(叢生でない品種に限る。)	<u>Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: width at widest point</u>	花序の最大幅 (叢生でない品種 (形質 2 参照) に限る。)	観察 VG/ MS (d)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	フィグランドピンク	
25	25	QN (*) (+)	花序の一次分枝の着生角度(叢生でない品種に限る。)	<u>Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: angle between primary lateral shoot and stem</u>	花序の一次分枝と茎との角度 (叢生でない品種 (形質 2 参照) に限る。)	観察 VG (d)	3 5 7	小 中 大	small medium large	Dekyen	

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	QN (+)	花序の側枝の頭花の向き(叢生でない品種に限る。)	<u>Only non-bushy varieties</u> (see char. 2): Inflorescence: attitude of lateral flower heads	花序の側枝の頭花の向き(叢生でない品種(形質2参照)に限る。)	観察 VG (d)	1 3 5 7	上 斜上 水平 斜下	upright semi upright horizontal moderately downwards	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	
27	27	QN (+)	一茎当たりの頭花の総数(叢生でない品種に限る。)	<u>Only non-bushy varieties</u> : (see char. 2): Total number of flower heads per stem	一茎当たりの頭花の総数(叢生でない品種(形質2参照)に限る。)	測定 MS (d)	3 5 7	少 中 多	few medium many	フィグランド <sup>®</sup> ピンク Vymini	
28	28	QN (+)	株当たりの頭花の総数(叢生品種に限る。)	<u>Only bushy varieties</u> (see char. 2): Total number of flower heads per plant	株当たりの頭花の総数(叢生品種(形質2参照)に限る。)	観察 VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		
29	29	PQ	花らいの外面の色	Flower bud: color of outer side just before opening	開花直前の花らいの外側の色	観察 VG (a) (e)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
30	30	PQ (* (+) G	頭花の型	Flower head: type	頭花の型(舌状花の重ね)	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状花なし 一重 半八重 露心する八重 八重	without ray florets single semi double daisy-eyed double double	フィグランド <sup>®</sup> ピンク ヨダ <sup>®</sup> トラ	

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	QL (*) (+) G	花盤の型(八重及び露心する八重品種を除く。)	<u>Excluding double and daisy-eyed double varieties:</u> Disc: type	花盤の型 (八重及び露心する八重品種を除く。)	観察 VG (e)	1 2	デイズ アネモネ	daisy anemone	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	
32	32	QN (*) (+) G	頭花の直径(摘らいしていないもの。)	Flower head: diameter (non-disbudded plants)	頭花の直径 (摘らいしていないもの。)	測定 mm MS (d) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	
33	33	QN (*) (+) G	頭花の直径(摘らいしたもの。)	Flower head: diameter (disbudded plants)	頭花の直径 (摘らいしたもの。)	測定 mm MS (d) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	神馬	観賞ギクは形質 93 に記載
34	34	QN (+)	頭花の高さ(摘らいしていないもの。)	Flower head: height (non disbudded plants)	頭花の総ほう直下あるいは花卉最下部のどちらか下方に位置する部位から頂部までの高さ (摘らいしていないもの)	測定 mm MS (d) (e)	3 5 7	低 中 高	low medium high	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	
35	35	QN (+)	頭花の高さ(摘らいしたもの。)	Flower head: height (disbudded plants)	頭花の総ほう直下あるいは花卉最下部のどちらか下方に位置する部位から頂部までの高さ (摘らいしたもの)	測定 mm MS (d) (e)	3 5 7	低 中 高	low medium high	神馬	観賞ギクは形質 94 に記載

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	36	QN	頭花の花柄の長さ	Flower head: length of peduncle	頭花の花柄の長さ	測定 mm MS (e)	3 5 7	短 中 長	short medium long	Vymini、ヨダトラ  セイローサ	
37	37	QN	頭花の舌状花の列数(半八重及び露心する八重品種に限る。)	<u>Only semi double and daisy-eyed double varieties (see char. 30):</u> Flower head: number of rows of ray florets	頭花の舌状花の列数(半八重及び露心する八重品種(形質 30 参照)に限る。)	観察 VG (e)	3 5 7	少 中 多	few medium many	Vymini	
38	38	QN (*)	頭花の舌状花数(一重及び半八重品種に限る。)	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30):</u> Flower head: number of ray florets	頭花の舌状花数(一重及び半八重品種(形質 30 参照)に限る。)	測定 MS (e)	3 5 7 9	少 中 多 極多	few medium many very many	セイローサ  Vymini	
39	39	QN (*)	頭花の舌状花の粗密(露心する八重及び八重品種に限る。)	<u>Only daisy-eyed double and double varieties (see char. 30):</u> Flower head: density of ray florets	頭花の舌状花の粗密(露心する八重及び八重品種(形質 30 参照)に限る。)	観察 VG (e)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	神馬	
40	40	PQ (*) (+)	頭花の舌状花の形の数	Flower head: number of types of ray florets	頭花の舌状花の形の数	観察 VG (e)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two	フィゲラント・ピンク	

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	41	PQ (*) (+) G	頭花の舌状花の主要な形	Flower head: predominant type of ray floret	頭花の舌状花の主要な形	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状 舟底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク  アサスタジア	観賞ギクは形質 95 に記載
42	42	PQ (*) (+)	頭花の舌状花の二次的な形	Flower head: secondary type of ray floret	頭花の舌状花の二次的な形	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状 舟底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped		観賞ギクは形質 96 に記載
43	43	PQ (+)	頭花の舌状花の三次的な形	Flower head: tertiary type of ray floret	頭花の舌状花の三次的な形	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状 舟底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped		観賞ギクは形質 97 に記載
44	44	QN (*) (+)	舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種に限る。）	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30):</u> Ray floret: attitude of basal part	頭花の舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e)	3 5 7	斜上 水平 斜下	moderately ascending horizontal moderately descending	Vymini	
45	45	PQ (+)	舌状花の表面の状態	Ray floret: upper surface	舌状花の表面の状態	観察 VG (e) (f)	1 2 3	平滑 うね状 キール	smooth ribbed keeled	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク Vymini	

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	PQ (+)	舌状花のキールの数	Ray floret: number of keels	舌状花のキールの数	観察 VG (e) (f)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two	Vymini	
47	47	QN (*)	舌状花の花筒の長さ	Ray floret: length of corolla tube	舌状花の花筒の長さ	観察 VG (e) (f)	3 5 7	短 中 長	short medium long	錦かざぐるま	
48	48	QN (*) (+)	舌状花の最大幅部の横断面の形(管状でない舌状花)	Ray floret: profile in cross section at widest point (non-quilled florets)	舌状花の最大幅部の横断面の形 (管状でない舌状花に限る。)	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	縁が重なる強い凹 縁が接する強い凹 強い凹 やや凹 わずかに凹 平 わずかに凸 やや凸 強い凸 縁が接する強い凸 縁が重なる強い凸	strongly concave with margins overlapping strongly concave with margins touching strongly concave moderately concave weakly concave flat weakly convex moderately convex strongly convex strongly convex with margins touching strongly convex with margins overlapping		

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	49	QN (+)	舌状花の周縁の巻き方(管状でない舌状花)	Ray floret: rolling of margin (non-quilled florets)	舌状花の周縁の巻き方(管状でない舌状花に限る。)	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7	強い内巻き 内巻き 弱い内巻き 平(巻かない) 弱い外巻き 外巻き 強い外巻き	strongly involute moderately involute weakly involute flat (not rolled) weakly revolute moderately revolute strongly revolute	フィゲラント・ピンク	
50	50	PQ	舌状花の周縁の巻く部分の位置(管状でない舌状花)	Ray floret: position of part with rolled margin (non-quilled florets)	舌状花の周縁の巻く部分の位置(管状でない舌状花に限る。)	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7 8	基部 1/4 基部 1/2 基部 3/4 中央部 先端部 3/4 先端部 1/2 先端部 1/4 至る所	basal quarter basal half basal three quarters middle half distal three quarters distal half distal quarter throughout		
51	51	PQ	舌状花の筒部の形(ロート状、さじ状及び管状の舌状花)	Ray floret: profile of tube (funnel shaped, spatulate and quilled florets)	筒部の横断面の形(ロート状、さじ状及び管状の舌状花に限る。)	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4	円形 扁円形 平形 三角形	circular oblate flattened triangular	ヒアリッツ  アナスタシア	
52	52	PQ (*) (+)	舌状花の縦断面の形状	Ray floret: longitudinal axis	舌状花の縦断面の形状	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6	内曲 平 外反 曲りくねる よじれ つまおれ	incurving straight reflexing sinusoidal twisted broken	神馬 Vymini	観賞ギクの玉巻き部分は除く。

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	53	QN	舌状花の縦断面の平でない部位(平でない舌状花)	Ray floret: longitudinal axis: part not straight (non-straight florets)	舌状花の縦断面の形状が平でない部分の割合(平でない舌状花に限る。)	観察 VG (e) (f)	3 5 7	先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4	distal quarter distal half distal three quarters		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
54	54	QN (+)	舌状花の縦断面の湾曲の強弱(平でない舌状花)	Ray floret: longitudinal axis: strength of curvature (non-straight florets)	舌状花の縦断面の湾曲の強弱(平でない舌状花に限る。)	観察 VG (e) (f)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
55	55	PQ (+)	舌状花の内花弁の縦断面の形状(半八重、露心する八重及び八重品種に限る。)	<u>Only semi double,</u> <u>daisy-eyed double</u> <u>and double varieties:</u> Ray floret: longitudinal axis of inner row(s)	舌状花の内花弁の縦断面の形状(半八重、露心する八重及び八重品種(形質 30 参照)に限る。)	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6	内曲 平 外反 曲りくねる よじれ つまおれ	incurving straight reflexing sinusoidal twisted broken		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
56	56	QN	舌状花の内花弁の縦断面の平でない部位(平でない舌状花で半八重、露心する八重及び八重品種に限る。)	<u>Only semi double,</u> <u>daisy-eyed double</u> <u>and double varieties:</u> Ray floret: longitudinal axis of inner row(s) : part not straight (non- straight florets)	舌状花の内花弁の縦断面の平でない部分(平でない舌状花に限る)(半八重、露心する八重及び八重品種(形質 30 参照)に限る。)	観察 VG (e) (f)	3 5 7	先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4	distal quarter distal half distal three quarters		観賞ギクの玉巻き部分は除く。



形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	57	QN (+)	舌状花の内花弁の縦断面の湾曲の強弱(平でない舌状花で半八重、露心する八重及び八重品種に限る。)	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties:</u> Ray floret: longitudinal axis of inner row(s): strength of curvature (non-straight florets)	舌状花の内花弁の縦断面の湾曲の強弱(平でない舌状花に限る)(半八重、露心する八重及び八重品種(形質30 参照)に限る。)	観察 VG (e) (f)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
58	58	QN (*)	舌状花の長さ	Ray floret: length	舌状花の長さ	測定 mm MS (e) (f)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ヨダトラ フィゲラント <sup>®</sup> ピンク、セイローザ <sup>®</sup>	観賞ギクは形質101に記載
59	59	QN (*)	舌状花の幅	Ray floret: width	舌状花の幅	測定 mm MS (e) (f)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ヨダトラ、Vymini フィゲラント <sup>®</sup> ピンク、セイローザ <sup>®</sup>	観賞ギクは形質102に記載
60	60	QN (*)	舌状花の長さ／幅	Ray floret: ratio length/width	舌状花の幅に対する長さの比(舌状花の長さ／舌状花の幅)	測定 比 MS (e) (f)	3 5 7	低 中 高	low medium high	Vymini 神馬	観賞ギクは形質103に記載

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
61	61	PQ (+)	舌状花の先端の形	Ray floret: shape of tip	舌状花の先端の形	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7 8	尖る 丸 切型 窪む 歯状 突起状 浅い切込み 深い切込み	pointed rounded truncate emarginate dentate mamillate fringed lacinate	フィグランド <sup>®</sup> ピ <sup>®</sup> ンク  Dekyen セイローサ <sup>®</sup>	
62	62	QL (*) G	舌状花の表面の色数	Ray floret: number of colors of inner side	舌状花の表面の色数	観察 VG (e) (f)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two	フィグランド <sup>®</sup> ピ <sup>®</sup> ンク	
63	63	PQ (*) G	舌状花の表面の主な色	Ray floret: <u>main</u> color of inner side	舌状花の表面の主な色	観察 VG (e) (f) (g)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
64	64	PQ (*) G	舌状花の表面の二次色	Ray floret: <u>second</u> color of inner side	舌状花の表面の二次色	観察 VG (e) (f) (g)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の分布	Ray floret: distribution of <u>second</u> color of inner side	舌状花の表面の二次色の分布	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4 基部 3/4 基部 1/2 基部 1/4 基部 縁上 縁部 中央部の縦線 横断（帯状） 至る所	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin on marginal zone central bar transverse zone [band] throughout		
66	66	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の型	Ray floret: pattern of <u>second</u> color of inner side	舌状花の表面の二次色の型	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7	一様又はほぼ一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条 斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled	セアータイストピंक	

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
67	67	PQ	舌状花の表面の三次色	Ray floret: <u>third</u> color of inner side	舌状花の表面の三次色の色	観察 VG (e) (f) (g)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
68	68	PQ (+)	舌状花の表面の三次色の分布	Ray floret: distribution of <u>third</u> color of inner side	舌状花の表面の三次色の分布	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4 基部 3/4 基部 1/2 基部 1/4 基部 縁上 縁部 中央部の縦線 横断（帯状） 至る所	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin on marginal zone central bar transverse zone [band] throughout		

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
69	69	PQ (+)	舌状花の表面の三次色の型	Ray floret: pattern of <u>third</u> color of inner side	舌状花の表面の三次色の型	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7	一様又はほぼ一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条 斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled		
70	70	QL (*)	舌状花の表面と比較した裏面の色の類似性（ロート状、管状及びさじ状の花弁の花筒部を含む。）	Ray floret: color of outer side compared to inner side (including tube for funnel-shaped, quilled and spatulate florets)	舌状花の表面と比較した裏面の色の類似性（ロート状、管状及びさじ状の花弁の花筒部を含む）	観察 VG (e) (f)	1 2	類似する 著しく異なる	similar markedly different	フィグランド <sup>®</sup> ピンク 錦かざぐるま	
71	71	PQ (*)	舌状花の裏面の色	Ray floret: color of the <u>outer</u> side	舌状花の裏面の色	観察 VG (e) (f)		RHS カラーチャート の色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
72	72	PQ	舌状花の内花弁の表面の色（半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties (see char. 30):</u> Ray floret: color of <u>inner</u> side of <u>inner</u> row(s) (if different from outer row)	舌状花の内花弁の表面の色 （半八重、露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
73	73	PQ	舌状花の内花弁の裏面の色（半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties (see char. 30):</u> Ray floret: color of outer side of inner row(s) (if different from outer row)	舌状花の内花弁の裏面の色 （半八重、露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
74	74	QN	花盤の直径（デイジー型の一重及び半八重品種に限る。）	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30) which are daisy type (see char. 31):</u> Disc: diameter	花盤の直径 （デイジー型（形質 31 参照）の一重及び半八重品種（形質 30 参照）に限る。）	測定 mm MS (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フィグランド <sup>®</sup> ピンク、セイローサ <sup>®</sup>	

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
75	75	QN	花盤の直径(アネモネ型の一重及び半八重品種に限る。)	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30) which are anemone type (see char. 31):</u> Disc: diameter	花盤の直径 (アネモネ型(形質 31 参照)の一重及び半八重品種(形質 30 参照)に限る。)	測定 mm MS (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
76	76	QN (*) (+)	花盤の頭花に対する直径の大きさ(一重及び半八重品種に限る。)	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30):</u> Disc: diameter relative to head diameter	花盤の頭花に対する直径の大きさ (花盤の直径/頭花の直径)(一重及び半八重品種(形質 30 参照)に限る。)	測定 MS (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フィグランド <sup>®</sup> ピンク Vymini	
77	77	PQ (+)	花盤の断面の形(デイズー型の品種に限る。)	<u>Only daisy type varieties (see char. 31):</u> Disc: profile in cross section	花盤の断面の形 (デイズー型の品種(形質 31 参照)に限る。)	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6	窪む 平 ややドーム状 やや円錐状 強いドーム状 強い円錐状	indented flat slightly domed slightly conical strongly domed strongly conical		

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
78	78	PQ (*)	花盤の開やく前の色の区分(デージー型の品種に限る。)	<u>Only daisy type varieties (see char. 31):</u> Disc: color group before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の色（デージー型の品種（形質 31 参照）に限る。)	観察 VG (e) (h)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	白 緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 赤褐 褐 褐黒 紫黒	whitish green yellowish green light yellow medium yellow yellow orange orange reddish brown brown brownish black purplish black	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	
79	79	QL (*) (+)	花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無(デージー型の品種に限る。)	<u>Only daisy type varieties (see char. 31):</u> Disc: presence of dark spot at centre before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の中央暗色スポットの有無（デージー型の品種（形質 31 参照）に限る。)	観察 VG (e) (h)	1 9	無 有	absent present	ハイキング	
80	80	QN	花盤と比較した開やく前の中央暗色スポットの大きさ(デージー型の品種に限る。)	<u>Only daisy type varieties (see char. 31):</u> Disc: size of dark spot at centre before anther dehiscence, relative to disc size	花盤と比較した裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の中央暗色スポットの大きさ（デージー型の品種（形質 31 参照）に限る。)	観察 VG/ MS (e) (h)	3 5 7	小 中 大	small medium large	AAMMIL	



形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
81	81	PQ	花盤の開やく前の中央暗色スポットの色(デージー型の品種に限る。)	<u>Only daisy type varieties (see char. 31):</u> Disc: color of dark central spot before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の中央暗色スポットの色（デージー型の品種（形質 31 参照）に限る。)	観察 VG (e) (h)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
82	82	PQ (*)	花盤の開やく前の色(アネモネ型の品種に限る。)	<u>Only anemone type varieties (see char. 31):</u> Disc: color before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の色（アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。)	観察 VG (e) (h)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
83	83	PQ (+)	花盤の開やく時の色(デージー型の品種に限る。)	<u>Only daisy type varieties (see char. 31):</u> Disc: color group at anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）した管状花が集まった部分を自然状態で総合的に観察した色（デージー型の品種（形質 31 参照）に限る。)	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	白 緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 赤褐 褐 褐黒 紫黒	whitish green yellowish green light yellow medium yellow yellow orange orange reddish brown brown brownish black purplish black	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
84	84	PQ (*) (+)	花盤の開やく時の色(アネモネ型の品種に限る。)	<u>Only anemone type varieties (see char. 31):</u> Disc: color at anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）した管状花が集まった部分を自然状態で総合的に観察した色 （アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
85	85	PQ (+)	管状花の形(アネモネ型の品種に限る。)	<u>Only anemone type varieties (see char. 31):</u> Disc floret: type	花盤の裂開（開やく）した管状花の形 （アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	針形 管状 ロート形 広がった管状 花弁状	needle shaped quilled funnel shaped enlarged tubular petaloid		
86	86	QN	管状花の長さ(アネモネ型の品種に限る。)	<u>Only anemone type varieties (see char. 31):</u> Disc floret: length	花盤の裂開（開やく）した管状花の長さ （アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	測定 mm MS (e)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
87	87	PQ	管状花の色(アネモネ型の品種に限る。)	<u>Only anemone type varieties (see char. 31):</u> Disc floret: color	花盤の裂開（開やく）した管状花の内面及び外面の視認できる色 （アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
88	88	PQ (+)	日長感応グループ(正確な日長制御での栽培)	Response group (grown with precise daylength control)	日長感応グループ (正確な日長制御(短日 処理)で栽培した場合に 限る。)	測定 週 MG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	6 週間未満 6 週間 6.5 週間 7 週間 7.5 週間 8 週間 8.5 週間 9 週間 10 週間 11 週間 12 週間 13 週間以上	less than 6 weeks 6 weeks 6.5 weeks 7 weeks 7.5 weeks 8 weeks 8.5 weeks 9 weeks 10 weeks 11 weeks 12 weeks more than 12 weeks		
89	89	QN (+)	自然の開花時期(正確な日長制御なしで栽培された場合に限る。)	Only where grown without precise daylength control: Natural flowering period	自然の開花時期 (正確な日長制御なしで 栽培された場合に限 る。) (形質 88 を記載すれば 本形質は不要。)	観察 VG/ MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
90		QL G	開花習性	Flowering habits	開花習性	観察 VG/ MG	1 2 3 4	4 月～6 月咲き (夏ギク) 7 月～9 月咲き (夏秋ギク) 10 月～11 月咲き (秋ギク) 12 月～2 月咲き (寒ギク)	April to June July to September October to November December to February		
91		QN G	各開花習性における早晩性	Earliness in each flowering habits	各開花習性における早晩性 (形質 88 で記載した場合は不要。)	観察 VG/ MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late		
92		QN	側枝の多少 (切り花用一輪ギク品種に限る。)	Disbudded type for cut flower only : number of lateral buds	茎の上部 1/3 に発生する側枝の多少 (切り花用一輪ギク品種に限る。)	測定 MS	1 2 3 5 6 7	無又は極少 かなり少 少 中 やや多 多	absent or very few very few to few few medium medium to many many	笑王  神馬	
93		QN (+)	頭花の直径 (摘らいた観賞ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition type</u> : Flower head: diameter (disbudded plants)	自然開花状態での頭花の直径 (摘らいた観賞ギクに限る。)	測定 mm MS (d) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	兼六香菊 国華吉兆	

形質番号	U P O V	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
94		QN (+)	頭花の高さ(摘らいた観賞ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition type:</u> Flower head: height (disbudded plants)	自然開花状態での頭花の高さ (摘らいた観賞ギクに限る。)	測定 mm MS (d) (e)	3 5 7	低 中 高	low medium high	国華の幸 国華吉兆	
95		PQ (+) G	頭花の舌状花の主要な形(観賞ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition type:</u> Flower head: predominant type of ray floret	頭花の舌状花の主要な形(観賞ギクに限る。)	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 舟底状 樋状 管状 1 管状 2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped quilled1 quilled2 spatulate anemone shaped		
96		PQ (+) G	頭花の舌状花の二次的な形(観賞ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition type:</u> Flower head: secondary type of ray floret	頭花の舌状花の二次的な形(観賞ギクに限る。)	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 舟底状 樋状 管状 1 管状 2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped quilled1 quilled2 spatulate anemone shaped		

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
97		PQ (+)	頭花の舌状花の三 次的な形(観賞ぎく に限る。)	<u>Only Exhibition</u> <u>type</u> : Flower head: tertiary type of ray floret	頭花の舌状花の三次的な 形 (観賞ギクに限る。)	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 舟底状 樋状 管状 1 管状 2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped quilled1 quilled2 spatulate anemone shaped		
98		PQ	舌状花の基部の向 き(露心する八重及 び八重品種に限る 。)	<u>Only daisy-eyed</u> <u>double and double</u> <u>varieties (see char.</u> <u>30)</u> : Ray floret: attitude of basal part	頭花の舌状花の基部の向 き (露心する八重及び八重 品種 (形質 30 参照) に限る。)	観察 VG (e) (f)	3 5 7	斜上 水平 斜下	moderately ascending horizontal moderately descending		
99		PQ (+)	管弁の返しの大き さ(舌状花の主要な 形が管状 2 の観賞 ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition</u> <u>type</u> : only tube2 varieties on predominant type of ray floret: Projection at mouth of corolla tube	管弁の典型的な返しの大 きさ (舌状花の主要な型が管 状 2 の観賞ギクに限 る。)	観察 VG (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	泉郷情熱	
100		PQ (+)	管弁の玉巻きの強 弱(舌状花の主要な 形が管状 2 の観賞 ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition</u> <u>type</u> : only tube2 varieties on predominant type of ray floret :Rolling of tip	管弁の典型的な玉巻きの 強弱 (舌状花の主要な型が管 状 2 の観賞ギクに限 る。)	観察 VG (e)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	天女の名所	

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
101	58	QN	舌状花の長さ(観賞ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition type</u> : Ray floret: length	舌状花の長さ(観賞ギクに限る。)	測定 mm MS (e) (f)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
102	59	QN	舌状花の幅(観賞ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition type</u> : Ray floret: width	舌状花の幅(観賞ギクに限る。)	測定 mm MS (e) (f)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
103	60	QN	舌状花の長さ／幅(観賞ぎくに限る。)	<u>Only Exhibition type</u> : Ray floret: ratio length/width	舌状花の幅に対する長さの比(舌状花の長さ／舌状花の幅)(観賞ギクに限る。)	測定 比 MS (e) (f)	3 5 7	低 中 高	low medium high		
104		QN	管状花の花冠の深裂の深さ(花盤の型がアネモネ型の品種は除く。)	Excluding anemone type varieties : disc florets : lobation	管状花の花冠の深裂の深さ (露心する八重、八重品種は除く、花盤の型がアネモネ型の品種は除く。)	観察 VG (e)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		

# VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

## 形質 2 草型 Char.2 Plant: type

1. 叢生でない：側枝の有無にかかわらず、ピンチしなければ、自然にひとつの茎を生成する強い頂芽優勢を持つ品種。
2. 叢生：主要な一本の茎を持たず、自然に蘖のような生育を生み出す、弱い頂芽優勢を持つ品種。

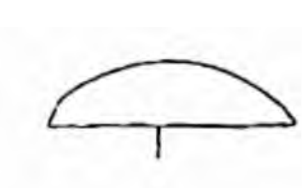
## 形質 3 草姿（叢生品種に限る。） Char.3 Only bushy varieties: Plant: growth habit



1  
直立  
upright

2  
半直立  
semi upright

3  
半球  
hemispherical

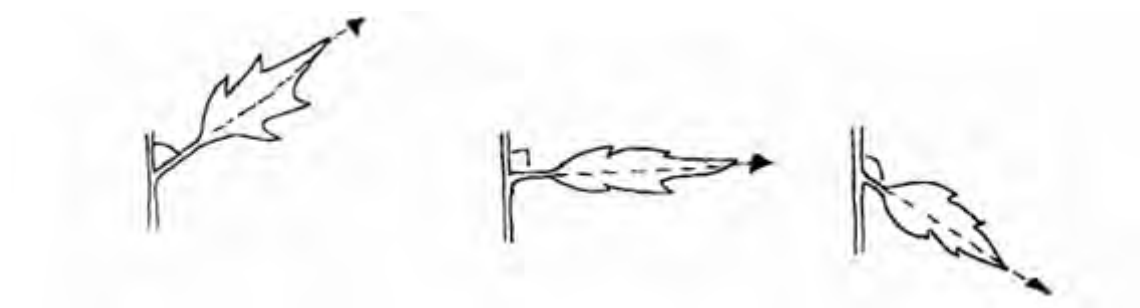


4  
開張  
spreading



5  
先端が這う  
trailing

## 形質 7 葉柄の向き Char.7 Petiole: attitude



3  
斜上  
moderately upwards

5  
水平  
horizontal

4  
斜下  
moderately downwards

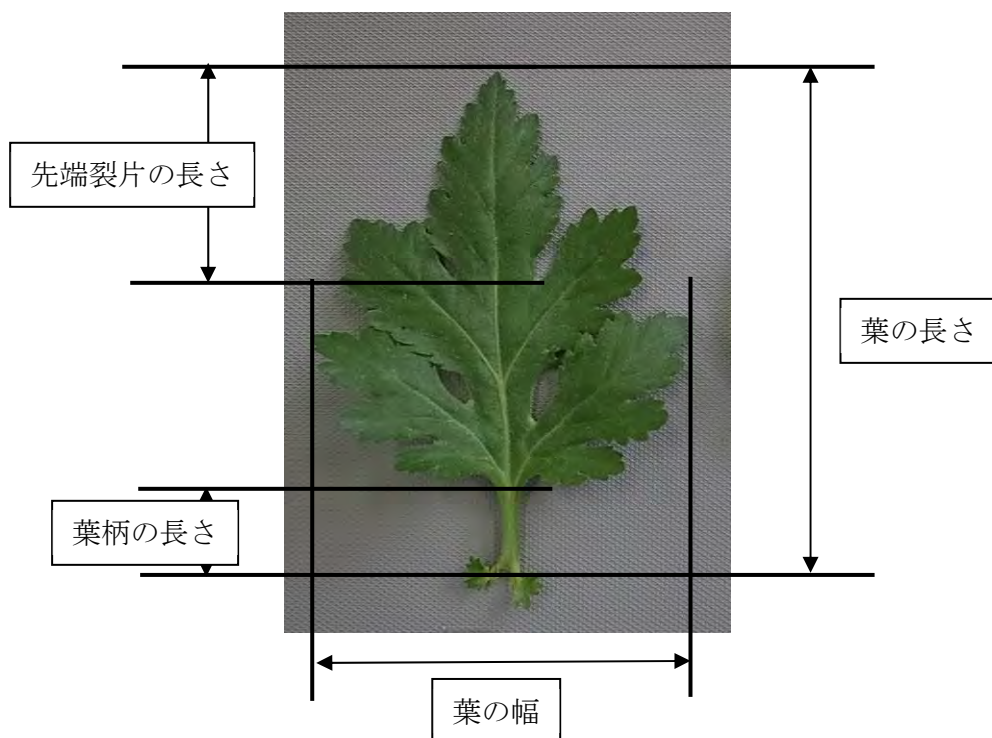


形質 8 葉柄の葉長に対する長さ Char.8 Petiole: length relative to leaf length

形質 9 葉の長さ Char.9 Leaf: length including petiole

形質 10 葉の幅 Char.10 Leaf: width

形質 11 葉の長さ／幅 Char.11 Leaf: ratio length/width



形質 12 葉の先端裂片の相対的な長さ

Char.12 Leaf: length of terminal lobe relative to leaf length



3  
短  
short



5  
中  
medium



7  
長  
long

形質 13 葉の一次欠刻の深さ Char.13 Leaf: depth of lowest lateral sinus



3  
浅  
shallow



5  
中  
medium



7  
深  
deep

形質 15 葉の基部の形 Char.15 Leaf: predominant shape of base



1  
鋭形  
acute



2  
鈍形  
obtuse



3  
円形  
rounded



4  
平形  
truncate



5  
凹形  
cordate

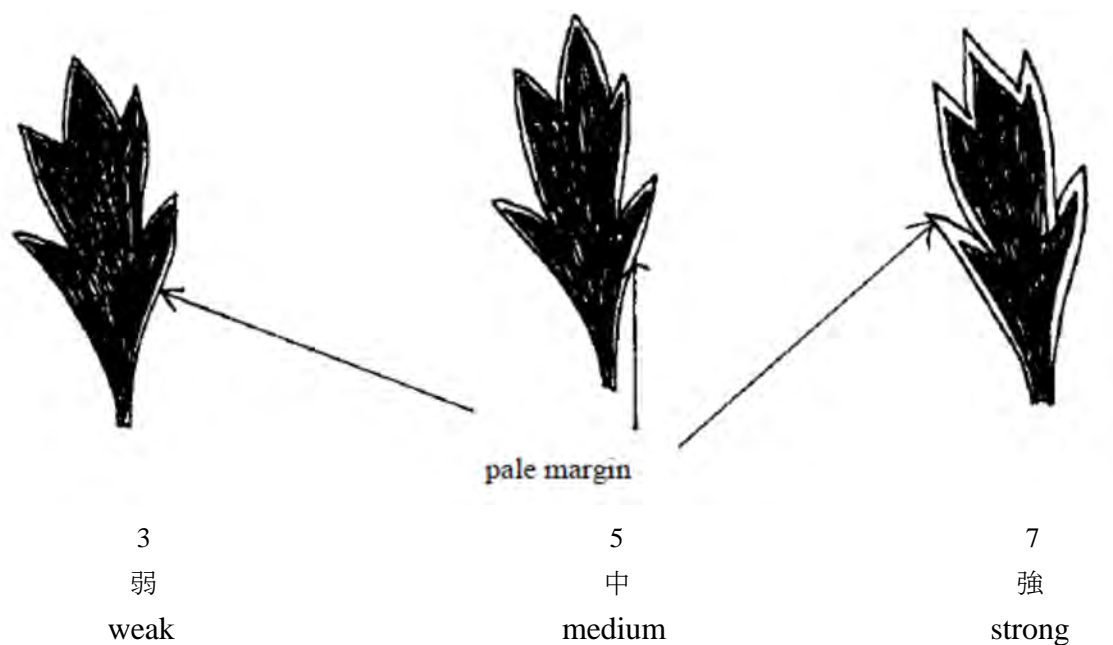


6  
非対称  
asymmetric

非対称の品種の基部の形はそれぞれ異なるかもしれないが、非対称の基部を持つ品種はこの形質を状態 6 として観察する。

形質 18 葉の表面の周縁淡色部の顕著さ (*Chrysanthemum ×morifolium* 品種を除く。)

Char.18 Excluding varieties of *Chrysanthemum ×morifolium*: Leaf: upper side: prominence of pale margin



形質19 葉の裏面の毛の粗密 (*Chrysanthemum ×morifolium* 品種を除く。)

Char.19 Excluding varieties of *Chrysanthemum ×morifolium*: Leaf: pubescence of lower side

形質20 葉の裏面の色 (*Chrysanthemum ×morifolium* 品種を除く。)

Char.20 Excluding varieties of *Chrysanthemum ×morifolium*: Leaf: color of lower side

*Chrysanthemum pacificum* (*Ajania pacifica*) 及び *Chrysanthemum pacificum* と *Chrysanthemum ×morifolium* Ramat (*Chrysanthemum ×grandiflorum* Ramat) 間の全ての交雑種について観察する。

形質21 葉の周縁の二次欠刻の数

Char.21 Leaf margin: number of indentations



3  
少  
few



5  
中  
medium



7  
多  
many

形質22 葉の周縁の二次欠刻の深さ

Char.22 Leaf margin: depth of indentations



3  
浅  
shallow



5  
中  
medium



7  
深  
deep

形質23 花序の形（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）

Char.23 Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: form



1  
円錐形  
conical



2  
深いドーム形  
deeply domed



3  
円筒形  
cylindrical



4  
散房花序型  
corymbiform



5  
平らな散房花序型  
flat-corymbiform

形質25 花序の一次分枝の着生角度（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）

Char.25 Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: angle between primary lateral shoot and stem



3  
小  
small



5  
中  
medium



7  
大  
large

形質26 花序の側枝の頭花の向き（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）

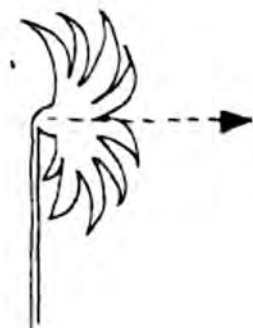
Char.26 Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: attitude of lateral flower heads



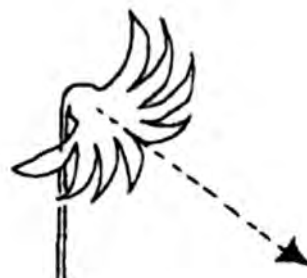
1  
上  
upright



3  
斜上  
semi upright



5  
水平  
horizontal



7  
斜下  
moderately downwards

形質27 一茎当たりの頭花の総数（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）

Char.27 Only non-bushy varieties: (see char. 2):Total number of flower heads per stem

形質28 株当たりの頭花の総数（叢生品種（形質2参照）に限る。）

Char.28 Only bushy varieties (see char. 2): Total number of flower heads per plant

開花する花全てで判断する。

形質30 頭花の型 Char.30 Flower head: type

- 1 舌状花なし： 管状花のみの頭花
- 2 一重：1列の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有する頭花。
- 3 半八重：2列以上の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有する頭花。
- 4 露心する八重：花盤が開花の初期段階は見えないが、頭花が完全に開くと露心する頭花。花盤は、常に明らかとは限らない。
- 5 八重：開花のどのステージでも花盤が露心しない頭花。

形質31 花盤の型（八重及び露心する八重品種を除く。）

Char.31 Excluding double and daisy-eyed double varieties: disc: type



1  
デイジー  
daisy



2  
アネモネ  
anemone

形質32 頭花の直径（摘らいしていないもの。）

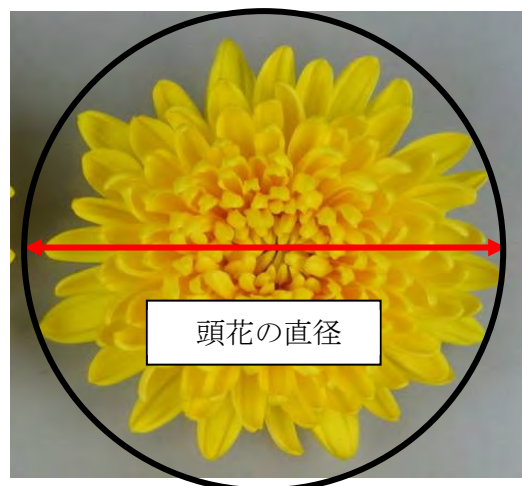
Char.32 Flower head: diameter (non-disbudded plants)

形質33 頭花の直径（摘らいしたもの。）

Char.33 Flower head: diameter (disbudded plants)

形質93 頭花の直径（摘らいした観賞ぎくに限る。）

Char.93 Only Exhibition type: Flower head: diameter (disbudded plants)



形質34 頭花の高さ（摘らいしていないもの。）

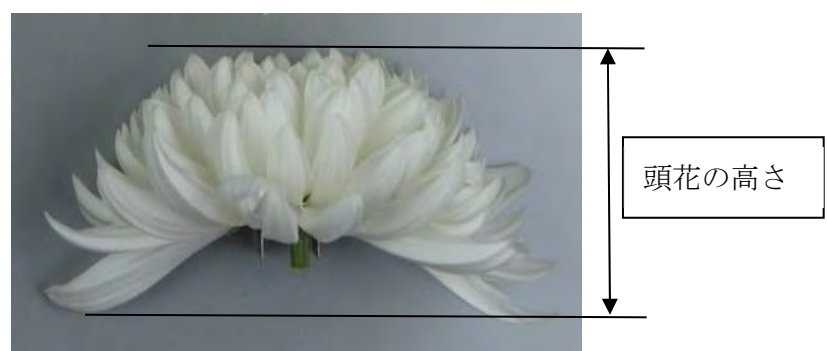
Char.34 Flower head: height (non disbudded plants)

形質35 頭花の高さ（摘らいしたもの。）

Char.35 Flower head: height (disbudded plants)

形質94 頭花の高さ（摘らいした観賞ぎくに限る。）

Char.94 Only Exhibition type: Flower head: diameter (disbudded plants)



形質40 頭花の舌状花の形の数

Char.40 Flower head: number of types of ray florets

頭花の舌状花の形の数、形質40で記録する；そして、個々の形は形質41～43で記載する。



形質41 頭花の舌状花の主要な形 Char.41 Flower head: number of types of ray florets

形質42 頭花の舌状花の二次的な形 Char.42 Flower head: secondary type of ray floret

形質43 頭花の舌状花の三次的な形 Char.43 Flower head: tertiary type of ray floret



1  
舌状  
ligulate



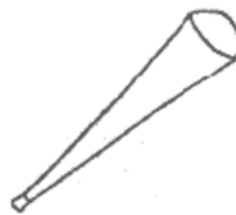
2  
舟底状  
incurved



3  
さじ状  
spatulate



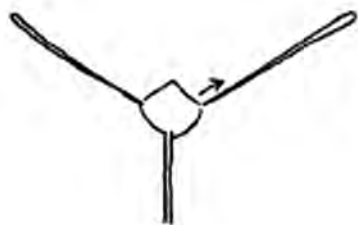
4  
管状  
quilled



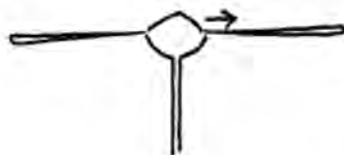
5  
ロート状  
funnel shaped

形質44 舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種（形質30 参照）に限る。）

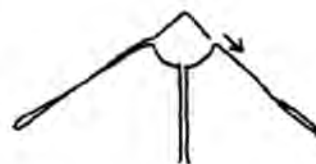
Char.44 Only single and semi double varieties (see char. 30): Ray floret: attitude of basal part



3  
やや上向き  
moderately ascending



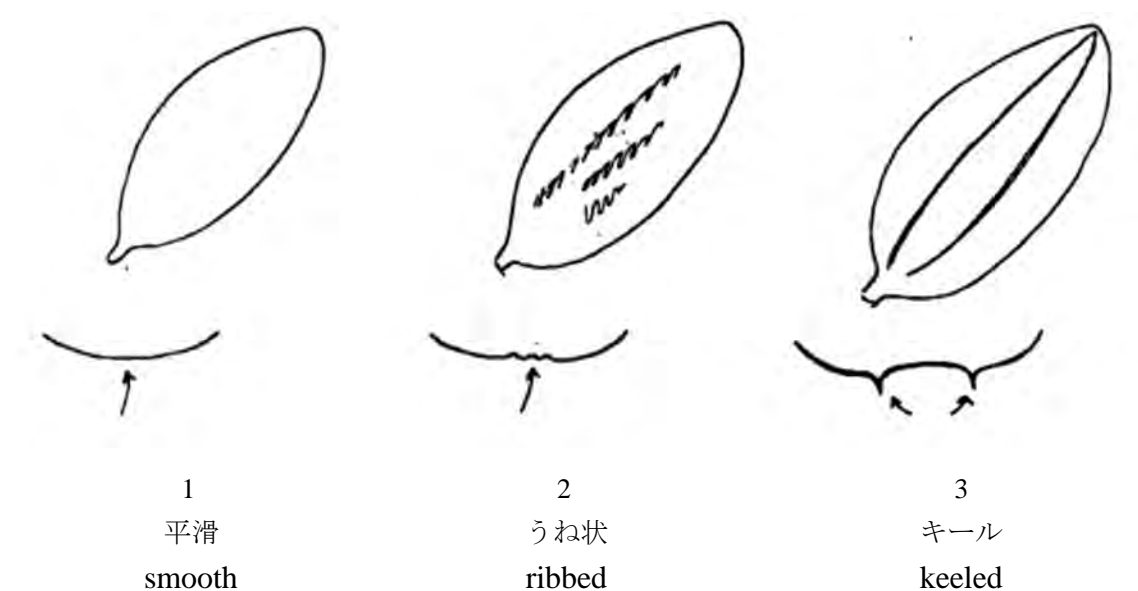
5  
水平  
horizontal



7  
やや下向き  
moderately descending

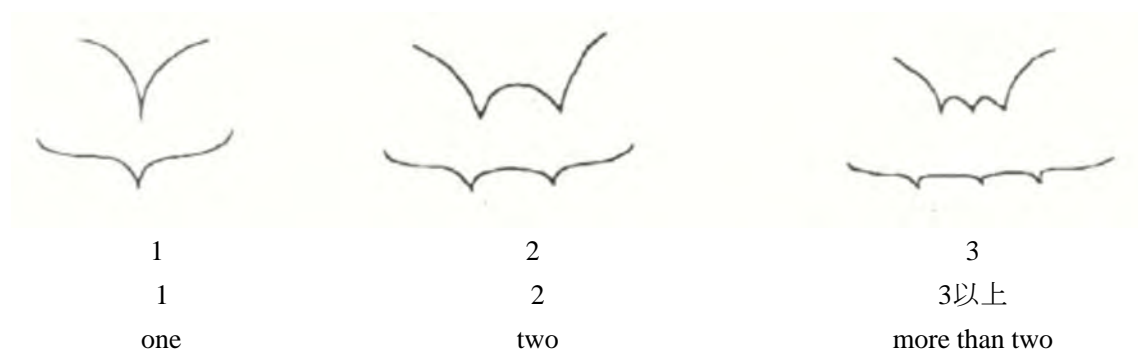
形質45 舌状花の表面の状態

Char.45 Ray floret: upper surface



形質46 舌状花のキールの数

Char.46 Ray floret: number of keels



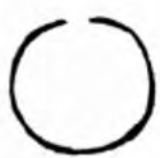
形質48 舌状花の最大幅部の横断面の形（管状でない舌状花）

Char.48 Ray floret: profile in cross section at widest point (non-quilled florets)



1

縁が重なる強い凹  
strongly concave with  
margins overlapping



2

縁が接する強い凹  
strongly concave with  
margins touching



3

かなり凹  
strongly concave



4

やや凹  
moderately concave



5

わずかに凹  
weakly concave



6

平  
flat



7

わずかに凸  
weakly convex



8

やや凸  
moderately convex



9

強い凸  
strongly convex



10

縁が接する強い凸  
strongly convex with margins  
touching

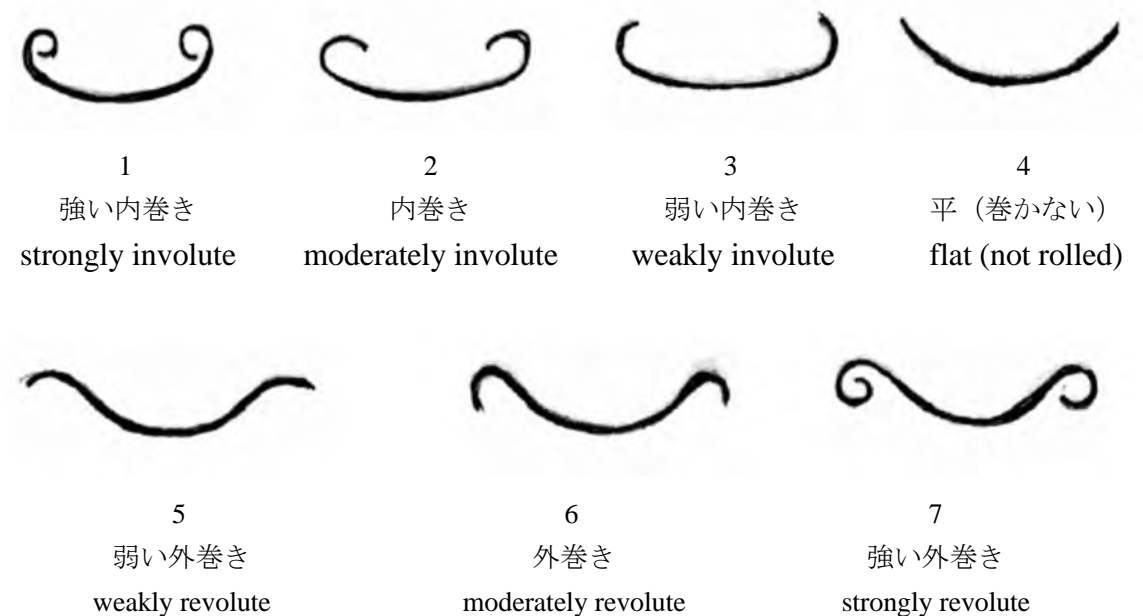


11

縁が重なる強い凸  
strongly convex with margins  
overlapping

形質49 舌状花の周縁の巻き方（管状でない舌状花）

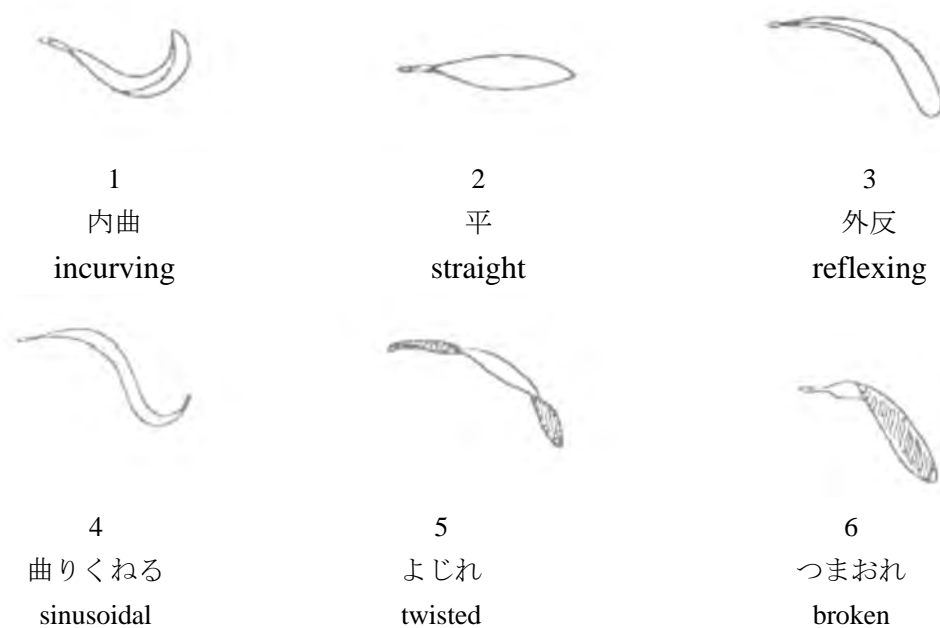
Char.49 Ray floret: rolling of margin (non-quilled florets)



形質52 舌状花の縦断面の形状 Char.52 Ray floret: longitudinal axis

形質55 舌状花の内花弁の縦断面の形状（半八重、露心する八重及び八重品種（形質30 参照）に限る。）

Char.55 Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s)



形質54 舌状花の縦断面の湾曲の強弱（平でない舌状花）

Char.54 Ray floret: longitudinal axis: strength of curvature (non-straight florets)

形質57 舌状花の内花卉の縦断面の湾曲の強弱（平でない舌状花で半八重、露心する八重及び八重品種（形質30 参照）に限る。）

Char.57 Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s) : strength of curvature (non-straight florets)



3  
弱  
weak



5  
中  
medium



7  
強  
strong

形質61 舌状花の先端の形 Char.61 Ray floret: shape of tip



1  
尖る  
pointed



2  
丸  
rounded



3  
切型  
truncate



4  
窪む  
emarginate



5  
歯状  
dentate



6  
突起状  
mamillate



7  
浅い切込み  
fringed



8  
深い切込み  
lacinate

形質65 舌状花の表面の二次色の分布

Char.65 Ray floret: distribution of second color of inner side

形質68 舌状花の表面の三次色の分布

Char.68 Ray floret: distribution of third color of inner side



1  
先端  
at tip



2  
先端部 1/4  
distal quarter



3  
先端部 1/2  
distal half



4  
先端部 3/4  
distal three quarters



5  
基部 3/4  
basal three quarters



6  
基部 1/2  
basal half



7  
基部 1/4  
basal quarter



8  
基部  
at base



9  
縁上  
on margin



10  
縁部  
on marginal zone



11  
中央部の縦線  
central bar



12  
横断 (带状)  
transverse zone [band]



13  
至る所  
throughout

形質66 舌状花の表面の二次色の型

Char.66 Ray floret: pattern of second color of inner side

形質69 舌状花の表面の三次色の型

Char.69 Ray floret: pattern of third color of inner side



1

一様又はほぼ一様  
solid or nearly solid



2

ぼかし  
flushed



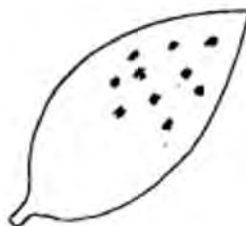
3

不明瞭な条  
diffuse stripes



4

明瞭な条  
clearly defined stripes



5

斑点  
flecked



6

斑点及び条  
flecked and striped

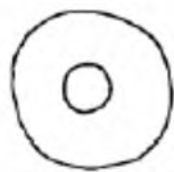


7

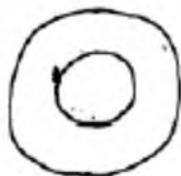
まだら  
mottled

形質76 花盤の頭花に対する直径の大きさ（一重及び半八重品種（形質30参照）に限る。）

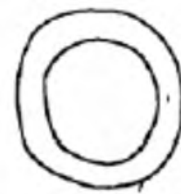
Char.76 Only single and semi double varieties (see char. 30): Disc: diameter relative to head diameter



3  
小  
small



5  
中  
medium



7  
大  
large

形質77 花盤の断面の形（デイジー型の品種（形質31 参照）に限る。）

Char.77 Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: profile in cross section



1  
窪む  
indented



2  
平  
flat



3  
ややドーム状  
slightly domed



4  
やや円錐状  
slightly conical



5  
強いドーム状  
strongly domed



6  
強い円錐状  
strongly conical

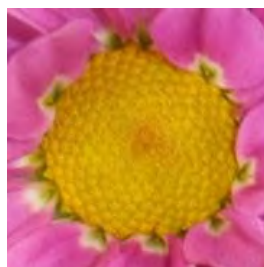
形質79 花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無（デイジー型の品種に限る。）

Char.79 Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: presence of dark spot at centre before anther dehiscence

1  
無  
absent



9  
有  
present





形質83 花盤の開やく時の色（デイジー型の品種に限る。）

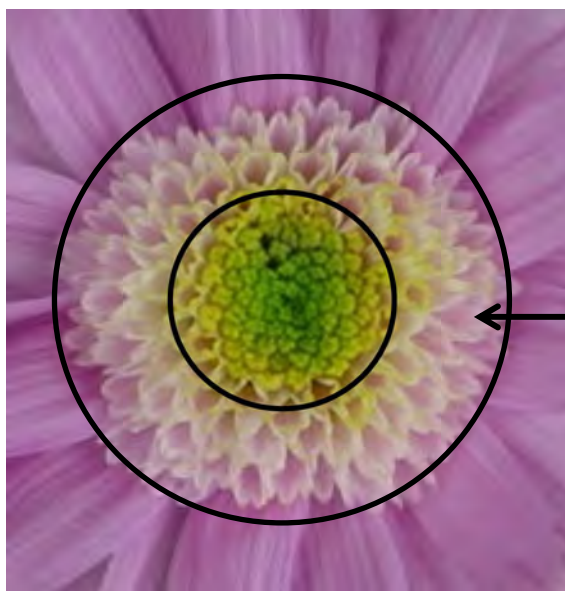
Char.83 Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color group at anther dehiscence



花盤の裂開した管状花について花冠、雌雄ずい及び花粉等の色を自然状態で総合的に観察した色

形質84 花盤の開やく時の色（アネモネ型の品種に限る。）

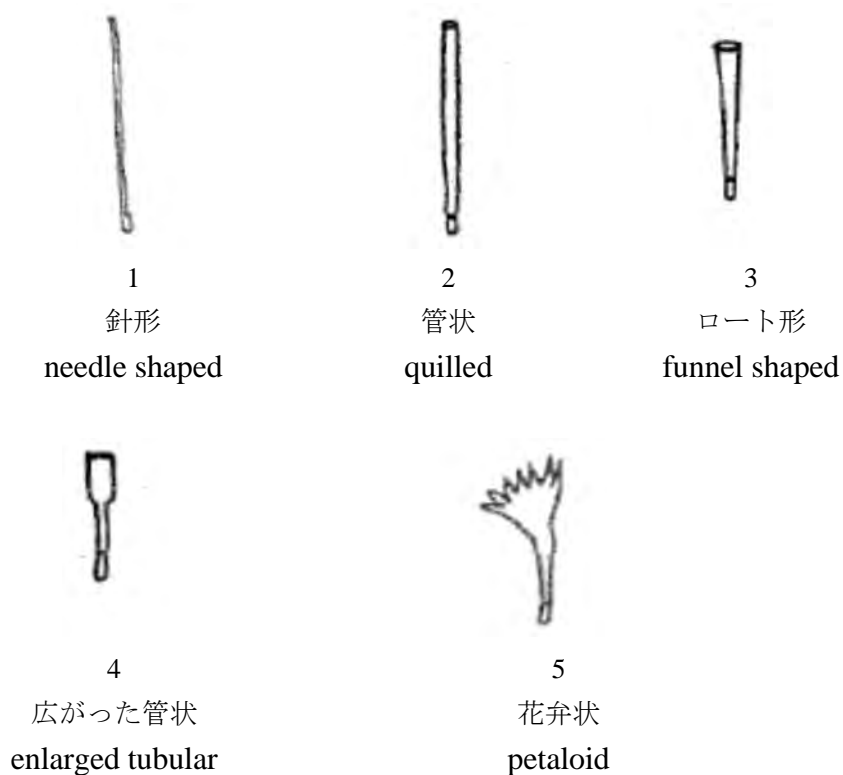
Char.84 Only anemone type varieties (see char. 31): Disc: color at anther dehiscence\_



花盤の裂開した管状花について花冠、雌雄ずい及び花粉等の色を自然状態で総合的に観察した色

形質85 菅状花の形（アネモネ型の品種（形質31 参照）に限る。）

Char.85 Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: type



形質88 日長感応グループ（正確な日長制御での栽培）

Char.88 Response group (grown with precise daylength control)

形質89 自然の開花時期（正確な日長制御なしで栽培された場合に限る。）

Char.89 Only where grown without precise daylength control: Natural flowering period

キクは、気候条件と地域によって非常に広範囲な栽培管理法で栽培することができる。試験を設計し比較する品種を選択する場合、明確に一つの栽培型が適用するか、多目的の品種の場合は他の作型も適用するか、これらを考慮すべきである。

供試品種が周年タイプシステム（AYR）の正確な日長制御の下で栽培され開花する場合、日長感応グループ（形質88）が記録される。

日長感応グループは、摘らいしないキクの場合、短日処理の開始から半数の植物体が一花房当たり少なくとも4つの頭花が十分に展開するまでの期間として定義される。

自然環境下で栽培された品種については、自然の開花時期（形質89）を記録する。

これらの形質における品種間の正確な比較は、同じ場所、同じ条件で栽培されたときのみ意味のあるものである。

形質95 頭花の舌状花の主要な形（観賞ぎくに限る。）

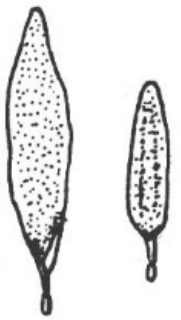
Char.95 Only Exhibition type: Flower head: predominant types of ray florets

形質96 頭花の舌状花の二次的な形（観賞ぎくに限る。）

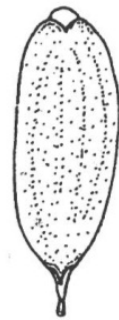
Char.96 Only Exhibition type: Flower head: secondary type of ray florets

形質97 頭花の舌状花の三次的な形（観賞ぎくに限る。）

Char.97 Only Exhibition type: Flower head: tertiary types of ray florets



1  
舌状  
ligulate



2  
舟底状  
incurved



3  
樋状  
gutter-shaped



4  
管状 1  
quilled 1



5  
管状 2  
quilled 2



6  
さじ状  
spatulate



7  
丁字状  
anemone shaped



形質 99 管弁の返しの大きさ（舌状花の主要な形が管状 2 の観賞ぎくに限る。）

Char.99 Only Exhibition type: Only tube2 varieties on predominant type of ray floret:

Projection at mouth of corolla tube



3  
小  
small



5  
中  
medium



7  
大  
large

形質 100 管弁の玉卷きの強弱（舌状花の主要な形が管状 2 とした観賞ぎくに限る。）

Char.100 Only Exhibition type: Only tube2 varieties on predominant type of ray floret :Rolling of tip(Only Exhibition type)



3  
弱  
weak



5  
中  
medium



7  
強  
strong

(別添参考) 調査適期とする「満開時」の頭花の開花状態について

一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開した時。



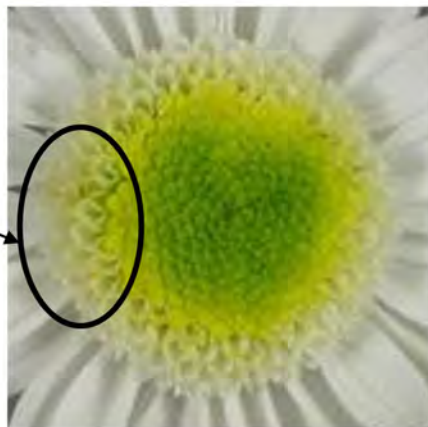
デージータイプ

裂開した管状花



アネモネタイプ

裂開した管状花  
(丁字状花)



八重品種は、先端の頭花が十分に開いている時で、劣化したように見え始める前。

八重タイプ



頭花が十分に開いた時  
(花芯が僅かに残る程度まで開花した状態。それより前に花卉の劣化が始まる場合は、その時点进行调查期とする。)



2026 年 月

TG/226/1 2006-04-05 に準拠

# ダリア属

Dahlia

(*Dahlia* Cav.)

(案)

## ダリア属審査基準

### I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、キク科 (*Asteraceae*) ダリア属 (*Dahlia* Cav.) の全ての品種に適用する。

### II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子、発根苗又は塊根
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 1,000 粒  
栄養繁殖性品種の場合 20 個体
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 種子繁殖性品種の場合 40 個体  
栄養繁殖性品種の場合 12 個体
- iii) 栽培期間 1 生育周期
- iv) 調査方法

調査個体数 特に指示がない限り、種子繁殖性品種にあつては、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個について、栄養繁殖性品種の場合は、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等 特に指示がない限り、すべての形質は満開時において実施する。満開時とは、頭花の型等の別に次のとおりとする。

- ・デージー型品種は管状花が 3 列程度開花した時
  - ・アネモネ型品種は管状花（丁字状花）の 70～80%が開花した時
  - ・露心する八重品種及び八重品種は舌状花の 70～80%が開花した時
- 頭花の形質は、一番花で調査する。

特性表の調査方法欄に以下の記号を含む形質については、次により調査を行う。

- (a) 葉の形質は、小葉の数にかかわらず茎の中央部からとられた典型的な葉の表面で調査する。
- (b) 舌状花の長さ及び幅は、最も外側の列の舌状花卉で調査する。
- (c) 一重以外の品種は、特に指示がない限り、舌状花の長さと幅の形質以外は、最外列と最内列を除いた典型的な花卉で調査する。
- (d) 主な色は、全体で最大の表面積を占めている色とする。また、二次色は、全体で 2 番目の面積を占めている色とする。さらに、三次色は、全体で 3 番目の面積を占めている色とする。

- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

#### IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び自家受粉品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 12 の場合、許容される異型個体数は 1 である。供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

他家受粉品種及び交雑品種にあつては、上記一般基準の第 4 の 2 (2) 及び (3) をそれぞれ適用する。

#### V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 葉の色 (形質 9)
- ii) 頭花の型 (形質 23)
- iii) 頭花の花盤の型 (一重品種及び半八重品種に限る。) (形質 24)
- iv) 頭花の直径 (形質 27)
- v) 舌状花の表面の色数 (形質 45)
- vi) 舌状花の表面の主要な色 (形質 46)

以下の区分による。

Gr.1 : 白

Gr.2 : 黄白

Gr.3 : 黄

Gr.4 : 青銅

Gr.5 : 橙

Gr.6 : 橙赤

Gr.7 : サーモン

Gr.8 : 桃

Gr.9 : 赤

Gr.10 : 赤紫

Gr.11 : 紫

Gr.12 : 青紫

- vii) 舌状花の表面の二次色 (2 色以上の品種に限る。) (形質 47)

以下の区分による。

Gr.1 : 白

Gr.2 : 黄白

Gr.3 : 黄

Gr.4 : 青銅

Gr.5 : 橙



Gr.6：橙赤  
 Gr.7：サーモン  
 Gr.8：桃  
 Gr.9：赤  
 Gr.10：赤紫  
 Gr.11：紫  
 Gr.12：青紫

## VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G：グループ分けに使用する形質  
 (\*)：品種記載の国際調和のための調査形質  
 QL：質的形質  
 QN：量的形質  
 PQ：疑似の質的形質  
 (+)：Ⅷ. に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録  
 MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録  
 VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録  
 VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

## 状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	PQ (+)	草姿	Plant: growth habit	開花時の草姿	観察 VG	1 2 3 4	直立 半直立 半開張 開張	upright semi-upright semi- spreading spreading	祝盃、美榛  Carolina orange ダト	
2	2	QN (*)	草丈	Plant: height	開花時の地際から最高部 位までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	キータレット 祝盃 宇宙、Hot chocolate	
3	3	PQ (+)	茎の色	Stem: color	茎の中央部の色	観察 VG	1 2 3 4	緑 赤褐又は紫を帯び た緑  褐赤 紫	green green tinged with brownish red or purple brownish red purple	秋麗 祝盃、 Carolina orange 美榛 ミッドナイトムー ン	

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	PQ (+)	葉の型	Leaf: type	葉の典型的な型	観察 VG (a)	1	主に単葉	predominantly simple	キータレット  Carolina orange 榛原の華  美榛	
							2	単葉及び1回羽状複葉	simple and pinnate (no predominance)		
							3	主に1回羽状複葉	predominantly pinnate		
							4	1回羽状複葉及び 2回羽状複葉	pinnate and bipinnate(no predominance)		
							5	主に2回羽状複葉	predominantly bipinnate		
5	5	QN (+)	葉軸の翼の強弱	Leaf: wing	葉軸の翼の強弱	観察 VG (a)	1	無又は弱	absent or weak	アリス 美榛	
							2	中	moderate		
							3	強	strong		
6	6	QN (*) (+)	葉の長さ	Leaf: length including petiole	葉柄を含んだ葉の長さ	測定 cm MS (a)	3	短	short	Carolina orange アリス 宇宙	
							5	中	medium		
							7	長	long		
7	7	QN (*) (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 cm MS (a)	3	狭	narrow	Carolina orange 宇宙	
							5	中	medium		
							7	広	broad		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	QN (*)	葉の長さ／幅	Leaf: length/width ratio	葉の長さ／幅の比率	測定 比 MS (a)	3 5 7	低 中 高	low medium high	Carolina orange	
9	9	PQ (*) G	葉の色	Leaf: color	葉の色	観察 VG (a)	1 2 3 4  5  6 7	淡緑 緑 濃緑 赤褐を帯びた緑  紫を帯びた緑  赤褐 紫	light green medium green dark green green tinged with brownish red green tinged with purple brownish red purple	Red fox 祝盃  ミッドナイトムーン  ジャパニーズ ビッシュアップ	
10	10	QN	葉の光沢の強弱	Leaf: glossiness	葉の光沢の強弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	Red fox PaPagaya	
11	11	QN	葉の表面のしわの強弱	Leaf: texture of surface	葉の表面のしわの強弱	観察 VG (a)	1 2 3	平滑又は極弱 弱 強	smooth or very weakly rugose weakly rugose strongly rugose	Hot chocolate  Carolina orange	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	QN	葉の葉脈の凹凸	Leaf: veins	葉の表面から見た葉脈の凹凸	観察 VG (a)	1 2 3	凹 平 凸	depressed flat raised	Carolina orange	
13	13	PQ (+)	小葉の形	Leaflet: shape	小葉の主な形 (複葉の品種は先端小葉で観察する。)	観察 VG	1 2 3	卵形 楕円形 倒披針形	ovate elliptic ob lanceolate	Carolina orange 花笠	
14		QN	小葉の長さ	Leaflet: length	小葉の長さ(複葉の品種のみを対象とし、先端小葉について測定する。)	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	祝盃 榛原の華	
15		QN	小葉の幅	Leaflet: width	小葉の幅(複葉の品種のみを対象とし、先端小葉について測定する。)	測定 cm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ダト アリス	
16	14	PQ (+)	小葉の基部の形	Leaflet: shape of base	小葉の基部の主な形 (複葉の品種は先端小葉で観察する。)	観察 VG	1 2 3 4 5 6	鋭形 鈍形 円形 切形 心形 非対称	acute obtuse rounded truncate cordate asymmetric		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	15	QN (+)	小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）	Leaflet margin: number of incisions (excluding lobes)	小葉の周縁の鋸歯の多少（複葉の品種は先端小葉で観察する。）	観察 VG	3 5 7	少 中 多	few medium many	Passion、キータレット <sup>®</sup> Carolina orange	
18	16	QN (+)	小葉の周縁の鋸歯の深さ（裂片を除く。）	Leaflet margin: depth of incisions (excluding lobes)	小葉の周縁の鋸歯の深さ（複葉がある品種は先端小葉で観察する。）	観察 VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	Hot chocolate Frivolous Glow	
19	17	QN	花柄の長さ	Peduncle: length	1 番花の花柄部の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	キータレット <sup>®</sup> アリス Red fox	
20	18	PQ	花柄の色	Peduncle: color	花柄部の色	観察 VG	1 2 3 4	緑 赤褐又は紫を帯びた緑 赤褐 紫	green green tinged with brownish red or purple brownish red purple	Carolina orange  ミッドナイトムーン	

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	19	QN (*)	葉群に対する頭 花の位置	Flower head: position in relation to foliage	葉群と比較した頭花の位 置関係	観察 VG	1 2 3 4	葉群の下 葉群と同等 葉群のやや上 葉群の上	below foliage at same level moderately above foliage high above foliage	Gallery Rubens  Red fox	
22	20	QN (+)	頭花の向き	Flower head: attitude	頭花の花盤の垂線の傾斜 角度	観察 VG	1 3 5 7	直立 半直立 水平 斜下	upright semi-upright horizontal moderately downward	祝盃 秋麗 ダト	
23	21	PQ (*) (+) G	頭花の型	Flower head: type	頭花の型	観察 VG	1 2 3 4	一重 半八重 露心する八重 八重	single semi-double daisy-eyed double double	フローラルスター キータコラ ダト	
24	22	QL (*) (+) G	頭花の花盤の型 (一重品種及び 半八重品種に限 る。)	<u>Only single and semi double varieties(see char.23): Flower head: disc type</u>	頭花の花盤の型	観察 VG	1 2	デ이지ー型 アネモネ型	daisy anemone	アマゾン アルパノブレ イス	
25	23	QL (*) (+)	頭花の副弁の有 無	Flower head: collar segments	頭花の副弁の有無	観察 VG	1 9	無 有 (コラレット型)	absent present(collerette type)	HGD-92-1 、Famoso	



形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	24	QN	舌状花に対する 副弁の長さ	Flower head: length of collar segments relative to ray florets	舌状花と比較した副弁の 長さ(副弁のある品種に限 る。)	観察 VG	3  5 7	舌状花の 1/4 程度  舌状花の 1/2 程度 舌状花の 3/4 程度	about quarter the length about half the length about three quarters the length	cher Ami  Famoso	
27	25	QN (*) G	頭花の直径	Flower head: diameter	頭花の直径	測定 cm MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	榛原の華 Passion、秋 麗	
28	26	QN (+)	頭花の高さ(八重 品種及び露心す る八重品種に限 る。)	<u>Only double and daisy-eyed double varieties (see char.23):</u> Flower head: height	頭花の高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	Hot chocolate、 祝盃	
29	27	QN (*)	頭花の舌状花の 数(一重品種、半 八重品種及び露 心する八重品種 に限る。)	<u>Only single, semi double and daisy-eyed double varieties(see char.23):</u> Flower head: number of ray florets	頭花の舌状花の数 (副弁を除く。)	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	Carolina orange	

形質番号	U P O V No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	28	QN (*)	頭花の舌状花の粗密（八重品種に限る。）	<u>Only double varieties (see char.23):</u> Flower head: density of ray florets	頭花の舌状花の粗密	観察 VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	Karma Venture Karma Bob Bini Red fox	
31	29	QN (*)	舌状花の長さ	Ray floret: length	舌状花の最大の長さ	測定 mm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	祝盃、Red fox 秋麗 宇宙	
32	30	QN (*)	舌状花の幅	Ray floret: width	舌状花の最大幅	測定 mm VG (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	アリス 秋麗 宇宙	
33	31	QN (*)	舌状花の長さ／幅	Ray floret: length/width ratio	舌状花の最大の長さ／舌状花の最大幅の比率	測定 比 MS (b)	3 5 7	低 中 高	low medium high	Bounty Dark Desire	
34	32	PQ (+)	舌状花の表面の形状	Ray floret: upper surface	舌状花の表面の形状	観察 VG (c)	1 2 3	平滑 うね状 キール状（竜骨突起）	smooth ribbed keeled		
35	33	PQ (+)	舌状花のキールの数（キール状品種に限る。）	Only keeled varieties (see char. 34) Ray floret: number of keels	舌状花のキール（竜骨突起）の数	観察 VG (c)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	34	QN (*) (+)	舌状花の中間部の横断面の形	Ray floret: profile in cross section at mid point	舌状花の中間部の横断面の形	観察 VG (c)	1	強く内曲し周縁部が重なる	strongly concave with margins overlapping	Red fox Jaimaica Salvador Dark Desire Karma Venture Mick's Peppermint  Alfred Grille	
							2	強く内曲し周縁部が接する	strongly concave with margins touching		
							3	強く内曲	strongly concave		
							4	中程度の内曲	moderately concave		
							5	弱く内曲	weakly concave		
							6	平	flat		
							7	弱く外曲	weakly convex		
							8	中程度の外曲	moderately convex		
							9	強く外曲	strongly convex		
							10	強く外曲し周縁部が接する	strongly convex with margins touching		
							11	強く外曲し周縁部が重なる	strongly convex with margins overlapping		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	35	QN (+)	舌状花の基部から四分の三地点の横断面の形	Ray floret: profile in cross section at 3/4 point from base	舌状花の基部から 3/4 地点の横断面の形	観察 VG (c)	1	強く内曲し周縁部が重なる	strongly concave with margins overlapping		
							2	強く内曲し周縁部が接する	strongly concave with margins touching		
							3	強く内曲	strongly concave		
							4	中程度の内曲	moderately concave		
							5	弱く内曲	weakly concave		
							6	平	flat		
							7	弱く外曲	weakly convex		
							8	中程度の外曲	moderately convex		
							9	強く外曲	strongly convex		
							10	強く外曲し周縁部が接する	strongly convex with margins touching		
							11	強く外曲し周縁部が重なる	strongly convex with margins overlapping		
38	36	QN (+)	舌状花の周縁部の巻き方	Ray floret: rolling of margin	舌状花の周縁部の巻き方	観察 VG (c)	1	強い内巻き	strongly involute	Carolina Orange	
							2	内巻き	moderately involute		
							3	弱い内巻き	weakly involute		
							4	平 (巻かない)	flat(not rolled)		
							5	弱い外巻き	weakly revolute		
							6	外巻き	moderately revolute		
							7	強い外巻き	strongly revolute		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	37	PQ	舌状花の周縁が巻く部分の位置	Ray floret: position of part with rolled margin	舌状花の周縁が巻く部分の位置	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7 8	基部から 1/4 まで 基部から 1/2 まで 基部から 3/4 まで 中央部 先端部から 3/4 まで 先端部から 1/2 まで 先端部から 1/4 まで 全体	basal quarter basal half basal three quarters middle half distal three quarters distal half distal quarter throughout	Hot chocolate  Mick's Peppermint	
40	38	QN (*) (+)	舌状花の縦断面の形	Ray floret: longitudinal axis	舌状花の縦方向の曲がり方	観察 VG (c)	1 2 3	内曲 平 外反	incurving straight reflexing		
41	39	QN	舌状花の縦方向の湾曲する位置	Ray floret: proportion of axis curved	舌状花の縦方向の湾曲する位置	観察 VG (c)	1 2 3	先端部から 1/4 先端部から 1/2 先端部から 3/4	distal quarter distal half distal three quarters	Baronesse  Karma Bob Bini	
42	40	QN	舌状花の湾曲の強弱	Ray floret: strength of curvature	舌状花の縦方向の湾曲の強弱	観察 VG (c)	3 5 7	弱 中 強	weak  medium  strong	Frivolous Glow Karma Bob Bini	
43	41	QN (+)	舌状花のねじれの強弱	Ray floret: twisting	舌状花のねじれの強弱	観察 VG (c)	1 2 3	無又は極弱 弱又は中 強	absent or very weak weak or moderate strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	42	PQ (*) (+)	舌状花の先端の形	Ray floret: shape of apex	舌状花の先端部の形	観察 (c)	1 2 3 4 5 6 7 8	尖り状 丸状 小凹状 歯状 乳頭状 浅い切れ込み状 深い切れ込み状 角状	pointed rounded retuse dentate mamillate fringed laciniate horned	Jacy	
45	43	PQ (*) G	舌状花の表面の色数	Ray floret: number of colors of inner side	舌状花の表面の色の数 (舌状花の状態で判断する。)	観察 VG (c) (d)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two		
46	44	PQ (*) G	舌状花の表面の主な色	Ray floret: main color of inner side	舌状花の表面の主な色	観察 VG (c) (d)		RHS カラーチャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
47	45	PQ (*) G	舌状花の表面の二次色（2色以上の品種に限る。）	Ray floret: second color of inner side	舌状花の表面の二次色 (舌状花の状態で判断する。)	観察 VG (c) (d)		RHS カラーチャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	46	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の分布位置（２色以上の品種に限る。）	Ray floret: distribution of second color of inner side	舌状花の表面の二次色の分布する位置	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4 基部 3/4 基部 1/2 基部 1/4 基部 覆輪状 外斑状 中斑状 横縞状（帯状） 全体	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin marginal zone central bar transverse zone[band] throughout		
49	47	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の型（２色以上の品種に限る。）	Ray floret: pattern of second color of inner side	舌状花の表面の二次色の型	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7	一様又はほぼ一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条 斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled		
50	48	PQ (*)	舌状花の表面の三次色（３色以上の品種に限る。）	Ray floret: third color of inner side	舌状花の表面の三次色	観察 VG (c) (d)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	49	PQ (*) (+)	舌状花の表面の三次色の分布位置（３色以上の品種に限る。）	Ray floret: distribution of third color of inner side	舌状花の表面の三次色の分布する位置	観察 VG (c) (d)	1	先端	at tip		
							2	先端部 1/4	distal quarter		
							3	先端部 1/2	distal half		
							4	先端部 3/4	distal three quarters		
							5	基部 3/4	basal three quarters		
							6	基部 1/2	basal half		
							7	基部 1/4	basal quarter		
							8	基部	at base		
							9	覆輪状	on margin		
							10	外斑状	marginal zone		
							11	中斑状	central bar		
							12	横縞状（帯状）	transverse zone[band]		
							13	全体	throughout		
52	50	PQ (*) (+)	舌状花の表面の三次色の型（３色以上の品種に限る。）	Ray floret: pattern of third color of inner side	舌状花の表面の三次色の型	観察 VG (c) (d)	1	一様又はほぼ一様	solid or nearly solid		
							2	ぼかし	flushed		
							3	不明瞭な条	diffuse stripes		
							4	明瞭な条	clearly defined stripes		
							5	斑点	flecked		
							6	斑点及び条	flecked and striped		
							7	まだら	mottled		
53	51	QL (*)	舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色	Ray floret: color of outer side compared to main color of inner side	舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色の類似性	観察 VG (c)	1	類似する	similar		
							2	著しく異なる	markedly different		



形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	52	PQ	舌状花の裏面の 色	Ray floret: color of outer side	舌状花の裏面の色	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
55	53	QN (*)	頭花の直径に対 する花盤の大き さ（一重品種及び 半八重品種に限 る。）	<u>Only single and semi double varieties(see char.23):</u> Disc: diameter relative to flower head diameter	頭花の直径と花盤の直径 との比率	測定 比 MS	3  5  7	小  中  大	small  medium  large	Dark Desire Bamdle Rumble Scarlet comet	
56	54	PQ (*)	花盤の開やく前 の色（デイジー型 の一重品種及び 半八重品種に限 る。）	<u>Only single and semi double varieties(see char.23)which are daisy type(see char.24) :</u> Disc: color before anther dehiscence	花盤の開やく前の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	白 緑 黄緑 黄 橙 赤褐 紫褐 褐 紫黒 褐黒	whitish green yellow green yellow orange red brown purple brown brown purple black brown black	Salvador  Kiedahlem Dark Desire	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	55	PQ	花盤の開やく時の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。）	<u>Only single and semi double varieties(see char.23)which are daisy type(see char.24) :Disc: color at anther dehiscence</u>	花盤の開やく時の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	白 緑 黄緑 黄 橙 赤褐 紫褐 褐 紫黒 褐黒	whitish green yellow green yellow orange red brown purple brown brown purple black brown black	Salvador Kiedahlem	
58	56	PQ (*)	管状花の色（アネモネ型品種に限る。）	<u>Only anemone-type varieties(see char.22) :Disc florets: color</u>	管状花（丁字状花）の色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
59	57	PQ (*)	副弁の色（コラレット型品種に限る。）	<u>Only collerette-type varieties(see char.25) :Collar segments: color</u>	副弁の色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
60		PQ	頭花の花色の変化	Flower head : change of the color	頭花の舌状花の花色の変化	観察 VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak moderate strong	ダット	

## VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 草姿 Char.1 Plant: growth habit



1  
直立  
upright



2  
半直立  
semi-upright



3  
半開張  
semi-spreading



4  
開張帳  
spreading

形質 3 茎の色 Char.3 Stem: color

茎の色は、花柄部を除いた茎を3分割した中央部を観察する。

The stem colour should be observed on the middle third of the stem, excluding the peduncle.

形質 4 葉の型 Char.4 Leaf: type



単葉  
simple



1 回羽状複葉  
pinnate

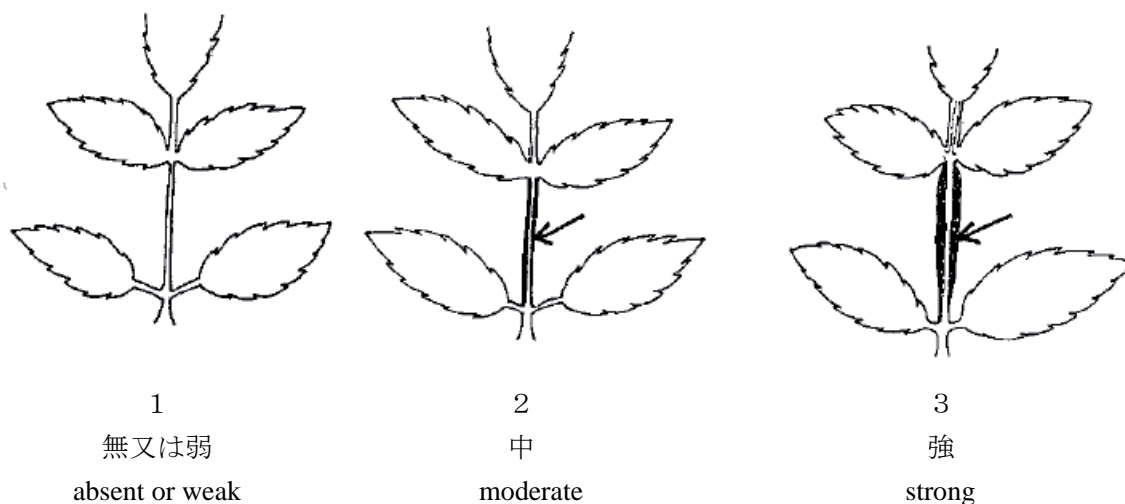


2 回羽状複葉  
bipinnate

ダリアの品種は1個体の中に異なるタイプの葉が混在するのは一般的であるが、その割合は品種内で一定である。

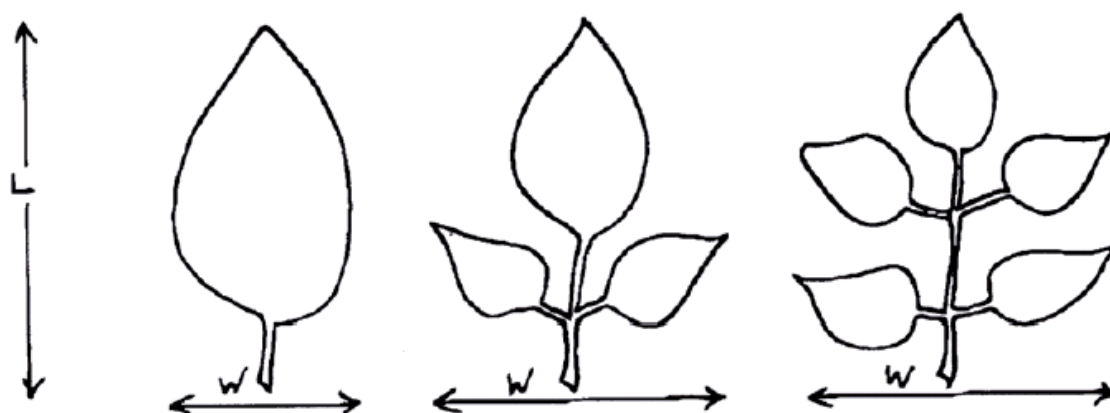
It is common to find a number of different leaf types within each plant of a Dahlia variety but the proportion of each type on the plant should be consistent within a variety.

形質 5 葉軸の翼の強弱 Char.5 Leaf: wing



形質 6 葉の長さ Char.6 Leaf: length including petiole

形質 7 葉の幅 Char.7 Leaf: width



形質 13 小葉の形 Char.13 Leaflet: shape

形質 16 小葉の基部の形 Char.16 Leaflet: shape of base

形質 17 小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）

Char.17 Leaflet margin: number of incisions (excluding lobes)

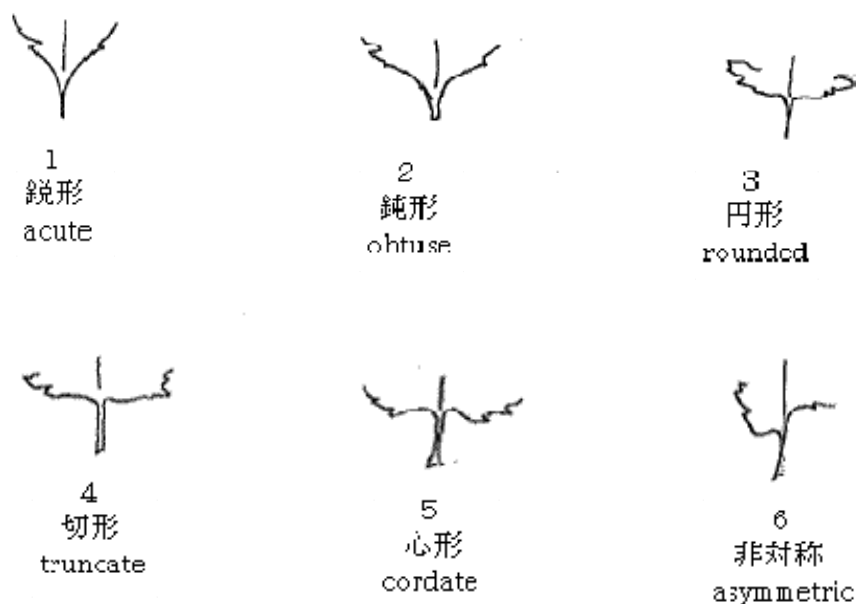
形質 18 小葉の周縁の鋸歯の深さ（裂片を除く。）

Char.18 Leaflet margin: depth of incisions (excluding lobes)

複葉の品種の場合は、先端小葉（頂小葉）を対象として判定する。単葉の品種の場合は、葉の全体を観察する。

These characteristics should be recorded on the terminal leaflet for compound leaves. In the case of simple leaves, they are recorded on the whole leaf.

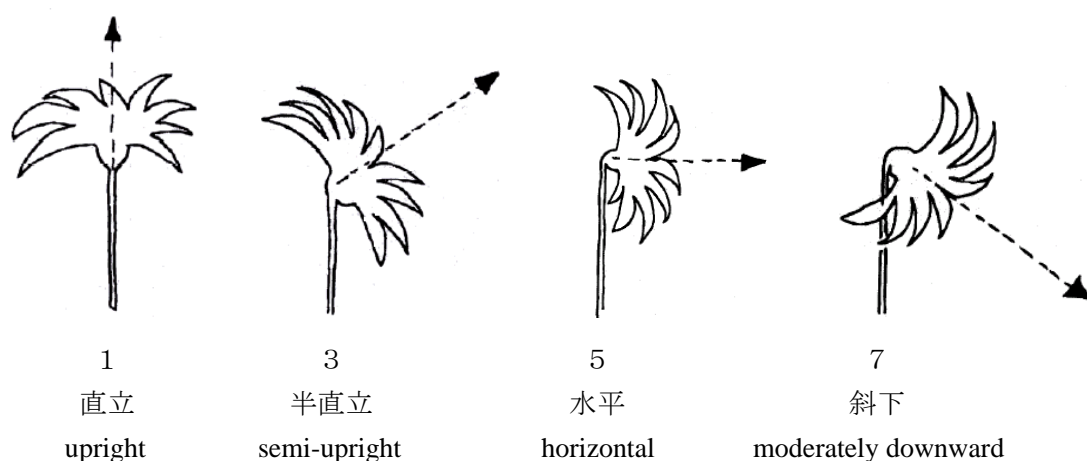
形質 16 小葉の基部の形 Char.16 Leaflet: shape of base



非対称の品種の基部の形は、それぞれ異なる形かもしれないが、非対称の基部をもつ全ての品種は、状態区分 6 として判定する。

All varieties with asymmetric bases should be observed as state 6 for this characteristic, although the shape of the base of asymmetric varieties may be different from each other.

形質 22 頭花の向き Char.22 Flower head: attitude



形質 23 頭花の型 Char.23 Flower head: type

1. 一重：1 列の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有している頭花。

single: flower heads with one row of ray florets, and a clearly defined central disc

which is always visible.

2. 半八重：2列以上の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有している頭花。

semi double: flower heads with more than one row of ray florets, and a clearly defined central disc which is always visible.

3. 露心する八重：花盤が開花の初期段階では見えないが、頭花が完全に開くと露心する八重の頭花。花盤は、常に明らかとは限らない。

daisy-eyed double: double flower heads where a disc is not visible in the early stages of flowering, but can be seen as the flower head opens fully.

The disc is not always clearly defined.

4. 八重：開花のどのステージでも花盤が露心しない八重の頭花。

double: double flower heads where a disc is not visible at any stage of flowering.



1  
一重  
single



2  
半八重  
semi-double



3  
露心する八重  
daisy-eyed double



4  
八重  
double



形質 24 頭花の花盤の型（一重品種及び半八重品種に限る。）

Char.24 Only single and semi double varieties(see char.23): Flower head: disc type



1  
デイジー型  
daisy



2  
アネモネ型  
anemone

形質 25 頭花の副弁の有無 Char.25 Flower head: collar segments

副弁

Collar segments



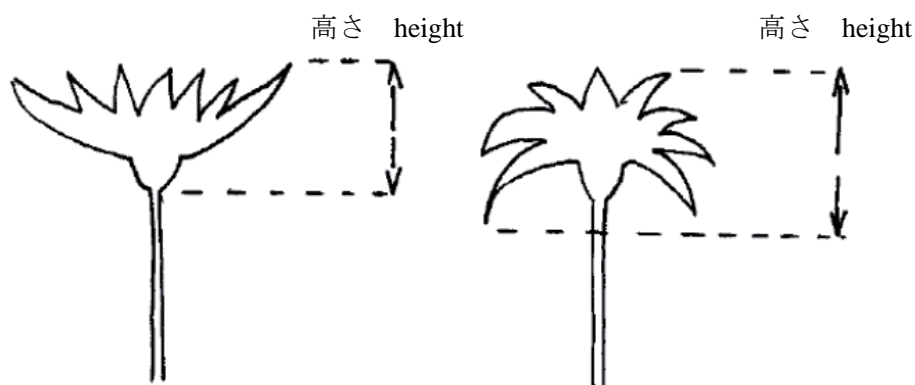
1  
無  
absent



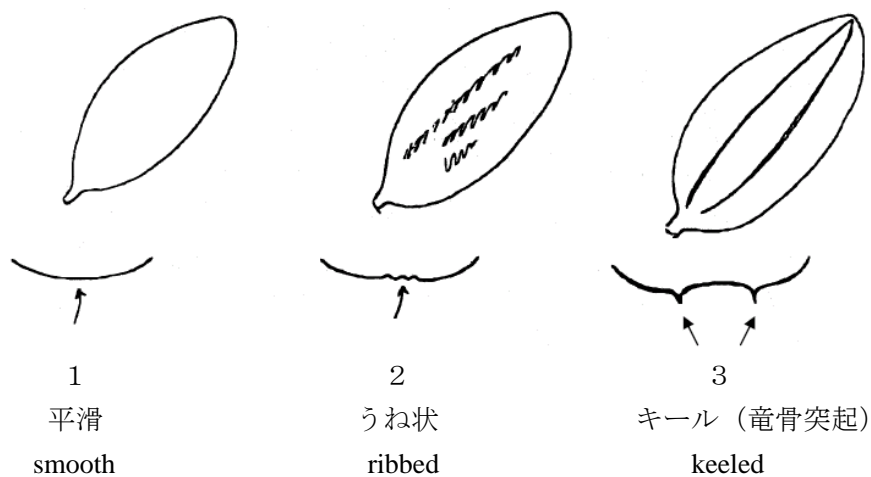
9  
有（コラレット型）  
present (collerette type)

形質 28 頭花の高さ（八重品種及び露心する八重品種に限る。）

Char.28 Only double and daisy-eyed double varieties (see char.23): Flower head: height



形質 34 舌状花の表面の形状 Char.34 Ray floret: upper surface

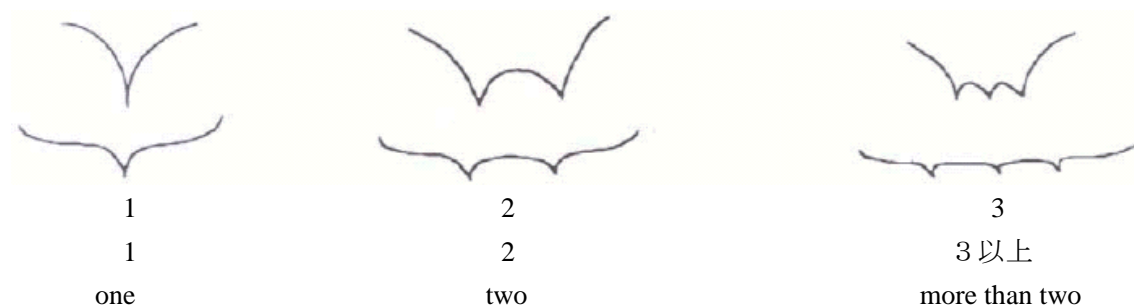


上段は上から見た図であり、下段は側面から見た図である。

As seen from above (top row) and in profile (bottom row)

形質 35 舌状花のキールの数（キール状品種に限る。）

Char.35 Only keeled varieties (see char. 34) Ray floret: number of keels



舌状花のキールの数は、側面より見る。

As seen in profile.

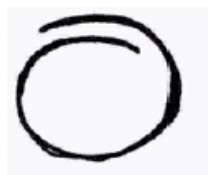


形質36 舌状花の中間部の横断面の形

Char.36 Ray floret: profile in cross section at mid point

形質37 舌状花の基部から四分の三地点の横断面の形

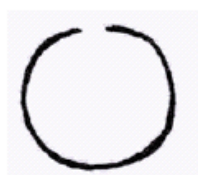
Char.37 Ray floret: profile in cross section at 3/4 point from base



1

強く内曲し周縁部  
が重なる

strongly concave  
with margins  
overlapping



2

強く内曲し周縁部  
が接する

strongly concave  
with margins  
touching



3

強く内曲

strongly concave



4

中程度の内曲

moderately concave



5

弱く内曲  
weakly concave



6

平  
flat



7

弱く外曲  
weakly convex



8

中程度の外曲  
moderately convex



9

強く外曲  
strongly convex



10

強く外曲し周縁部  
が接する  
strongly convex with  
margins touching



11

強く外曲し周縁部  
が重なる  
strongly convex with  
margins overlapping

形質 38 舌状花の周縁部の巻き方 Char.38 Ray floret: rolling of margin



1  
強い内巻き  
strongly involute



2  
内巻き  
moderately involute



3  
弱い内巻き  
weakly involute



4  
平 (巻かない)  
flat(not rolled)



5  
弱い外巻き  
weakly revolute



6  
外巻き  
moderately revolute



7  
強い外巻き  
strongly revolute

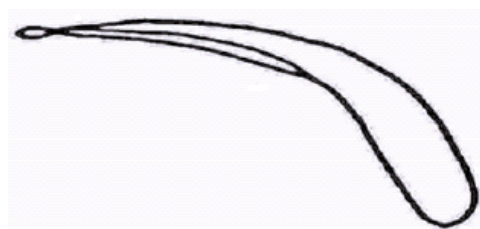
形質 40 舌状花の縦断面の形 Char.40 Ray floret: longitudinal axis



1  
内曲  
incurving



2  
平  
straight



3  
外反  
reflexing

形質 43 舌状花のねじれの強弱 Char.43 Ray floret: twisting



1

無又は極弱  
absent or very weak



2

弱又は中  
weak or moderate



3

強  
strong

形質 44 舌状花の先端の形 Char.44 Ray floret: shape of apex



1

尖り状  
pointed



2

丸状  
rounded



3

小凹状  
retuse



4

歯状  
dentate



5

乳頭状  
mamillate



6

浅い切り込み状  
fringed



7

深い切り込み状  
lacinate



8

角状  
horned

形質 48 舌状花の表面の二次色の分布位置（2色以上の品種に限る。）

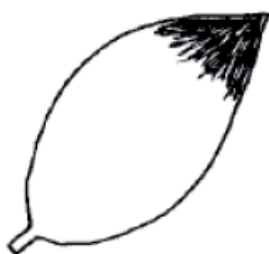
Char.48 Ray floret : distribution of second color of inner side

形質 51 舌状花の表面の三次色の分布位置（3色以上の品種に限る。）

Char.51 Ray floret : distribution of third color of inner side



1  
先端  
at tip



2  
先端部 1/4  
distal quarter



3  
先端部 1/2  
distal half



4  
先端部 3/4  
distal three quarters



5  
基部 3/4  
basal three quarters



6  
基部 1/2  
basal half



7  
基部 1/4  
basal quarter



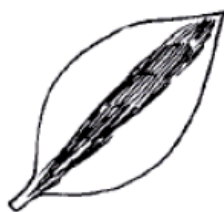
8  
基部  
at base



9  
覆輪状  
on margin



10  
外斑部  
marginal zone



11  
中斑状  
central bar



12  
横縞状（带状）  
transverse zone[band]



13  
全体  
throughout

形質 49 舌状花の表面の二次色の型（2色以上の品種に限る。）

Char.49 Ray floret : pattern of second color of inner side

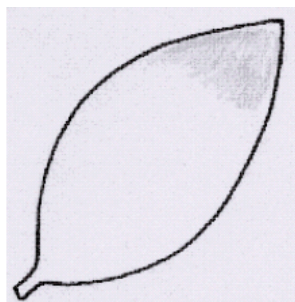
形質 52 舌状花の表面の三次色の型（3色以上の品種に限る。）

Char.52 Ray floret : pattern of third color of inner side



1

一様又はほぼ一様  
solid or nearly solid



2

ぼかし  
flushed



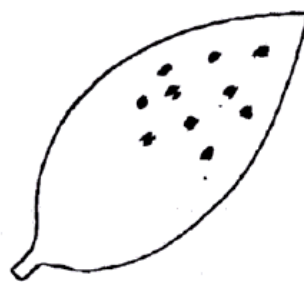
3

不明瞭な条  
diffuse stripes



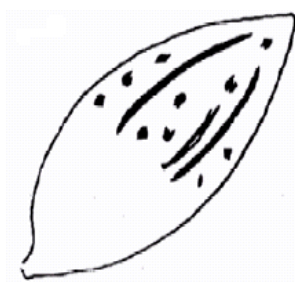
4

明瞭な条  
clearly defined stripes



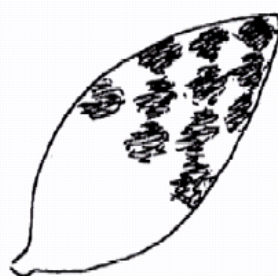
5

斑点  
flecked



6

斑点及び条  
flecked and stripes



7

まだら  
mottled

# デンドロビウム属

Dendrobium

(*Dendrobium* Sw.)

(案)

## デンドロビウム属審査基準

### I. 本審査基準の対象とする種類

本審査基準は、ラン科 (*Orchidaceae*) のデンドロビウム属 (*Dendrobium* Sw.) のデンドロコリネ節 (sect. *Dendrocoryne*)、ラトゥーレア節 (sect. *Latourea*)、カリスタ節 (sect. *Callista*)、エウゲナンテ節 (sect. *Eugenanthe*)、ペディロヌム節 (sect. *Pedilonum*)、カリプトキルス節 (sect. *Calypsochilus*)、オクシグロッサム節 (sect. *Oxyglossum*)、ブラキアンテ節 (sect. *Brachyanthe*)、スタキオビウム節 (sect. *Stachyobium*)、ファラエナンテ節 (sect. *Phalaenanthe*)、エレウテログロッサム節 (sect. *Eleutheroglossum*)、ケラトビウム節 (sect. *Ceratobium*)、オクシゲニアンテ節 (sect. *Oxygenianthe*) 及びその交配種の全ての品種に適用とする。

### II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態            2本以上のぎ球茎を有する未開花株
- ii) 提出時期            審査当局が指定する時期
- iii) 提出数量            15 株
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### III. 栽培試験の実施 (Conduct of Tests)

#### i) 栽培条件

以下の条件を目安として、特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

定植時期：2～3月

最適温度：D. *nobile* 系の品種：10 ～ 18 ℃

D. *phalaenopsis* 系の品種：20 ～ 25 ℃

遮光：夏季30%

土壌は水はけのよい培地を用いる。

D. *nobile* 系の品種は花芽分化のために、11 月に10 ～ 13 ℃で1ヵ月低温処理を行う。

#### ii) 最低供試個体数 特性調査時に10個体を下回らないこと

#### iii) 栽培期間            1 生育周期

#### iv) 調査方法

調査個体数は、特に指示がない限り、調査は植物体10個体又は各個体から採取した部分10個について行う。

ぎ球茎の調査は、開花ぎ球茎で行う。

葉に関する形質の調査は、開花株の最長葉で行う。

花序及び花に関する形質の調査は、当該花序の花の50%が開花した時期に、最も最近開花した色の褪せていない花について行う。

セパル、ペタル及びリップの色の調査は内側で行う。

- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者がその試験方法等を添えて申告し、審査当局が同意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

#### IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定は、供試個体数が 10 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

#### V. 品種のグループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 植物体の大きさ (形質 1)
- ii) 花の着き方 (形質 18)
- iii) 花の長さ (形質 27)
- iv) 花の幅 (形質 28)
- v) リップの側裂片の有無 (形質 71)
- vi) リップの目の有無 (形質 77)
- vii) リップの模様 (形質 80)
- viii) リップの主な色 (形質 82)

#### VI. 特性表で使用する記号の説明

G : 品種のグループ分けに使用する形質

(\*) : 必須形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分



質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1 (*)	QN G	植物体の大きさ	Plant: size	植物体の大きさ	観察	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	エノビ <sup>°</sup> コマチ シラエキヒメ ウエーブ <sup>°</sup> ・キンク <sup>°</sup> アケボノ ラッキーギ <sup>°</sup> ヤル・エミコ	
2	2 (*)	QN	ぎ球茎の向き	Pseudobulb: attitude	ぎ球茎の抽出方向	観察	1 3 5 7 9	直立 半直立 水平 半下垂 下垂	erect semi-erect horizontal semi-drooping drooping	Formidable	
3	3 (*)	QN	ぎ球茎の長さ	Pseudobulb: length	ぎ球茎の長さ	測定 cm	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	エノビ <sup>°</sup> コマチ シラエキヒメ ウエーブ <sup>°</sup> ・キンク <sup>°</sup> アケボノ スノー キャップ <sup>°</sup> ラブ <sup>°</sup> ソング <sup>°</sup>	
4	4 (*)	QN	ぎ球茎の太さ	Pseudobulb: thickness	ぎ球茎中央部の太さ	測定 mm	1 3 5 7 9	極細 細 中 太 極太	very thin thin medium thick very thick	エノビ <sup>°</sup> コマチ シラエキヒメ エノビ <sup>°</sup> パレート <sup>°</sup> ミルキーウェイ	
5	5 (*)	PQ	ぎ球茎の縦断面の 形	Pseudobulb: shape in longitudinal section	ぎ球茎の縦断面の形	観察	1 2 3	線形 披針形 卵形	linear lanceolate ovate	Formidable	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	PQ	ぎ球茎の横断面の形	Pseudobulb: shape in cross section	ぎ球茎中央部の横断面の形	観察	1 2 3	楕円形 円形 多角形	elliptic circular angular	Formidible	
7	7	QL	着花ぎ球茎の齡	Plant: age of flowering pseudobulb (principally)	ぎ球茎の主たる齡	観察	1 2	1年生 2年生以上	one year two years or more	Formidible	
8	8 (*)	QN	葉の長さ	Leaf: length	最大葉の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	スターダスト・チョミ ウェーブ・キング アケボノ	
9	9 (*)	QN	葉の幅	Leaf: width	最大葉の最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	スターダスト・チョミ ウェーブ・キング アケボノ スノー キャップ ラブ ソング	
10	10 (*)	PQ (+)	葉の形	Leaf: shape	最大葉の形	観察	1 2 3 4 5	狭楕円形 楕円形 狭卵形 狭倒卵形 へら形	narrow elliptic elliptic narrow ovate narrow obovate spatulate		
11	11	QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: main green colour	葉表面の色	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	エノビ コマチ シラユキヒメ エノビパレート ミルキーウェイ	
12	12	QL	葉の斑の有無	Leaf: presence of variegation	葉表面の斑の有無	観察	1 9	無 有	absent present	エノビ コマチ シラユキヒメ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	PQ (+)	葉の斑の模様	Leaf: type of variegation	葉の斑の模様	観察	1 2 3 4 5	虎斑 斑点 条線 中斑 覆輪	brindled spotted striped centered edged		図 2
14	14	PQ	葉の斑の色	Leaf: color of variegation	葉の斑の色	観察	1 2 3 4 5 6	白 黄 黄緑 白及び黄 白及び黄緑 黄及び黄緑	white yellow yellow green white and yellow white and yellow green yellow and yellow green		
15	15	QL	葉の毛の有無	Leaf: pubescence	葉の毛の有無	観察	1 9	無 有	absent present	Formidable	
16	16	QL	葉の毛の色	Leaf: colour of pubescence	葉の毛の色	観察	1 2	白 黒	white black	Formidable	
17	17 (*)	QL	花序の着生位置	Inflorescence: position of adherence to pseudobulb	ぎ球茎に付着した花序 の着生位置	観察	1 2	全体 頂部のみ	along whole length top part only		
18	18 (*)	QL G	花の着き方	Inflorescence: position of flowers	花序における花の位置	観察	1 2	花柄に添う 先端のみ	along peduncle apex only	スノー キャップ ラブ ソング ビ°ンクビ°ユーティ°クイーン	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19 (*)	QN	1 花茎の花数	Inflorescence: number of flowers	1 花茎の花数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many	エノビ <sup>°</sup> コマチ シラユキヒメ スノー キャップ <sup>°</sup> ラフ <sup>°</sup> ソング <sup>°</sup>	
20	20 (*)	QN (+)	花茎の長さ	Peduncle: length	花茎の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ラッキーギ <sup>°</sup> ヤル・エミコ エノビ <sup>°</sup> ハ <sup>°</sup> レート <sup>°</sup> ミルキーウェイ クイーンサウスイースト クリスタルクイ ーン	
21	21 (*)	QN	花茎の太さ	Peduncle: thickness	花茎の太さ	測定 mm	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ラッキーギ <sup>°</sup> ヤル・エミコ	
22	22 (*)	PQ	花茎の向き	Peduncle: attitude	花茎の向き	観察	1 2 3 4	直立 斜上 水平 下垂	erect semi-erect horizontal recurving	エノビ <sup>°</sup> コマチ シラユキヒメ スノー キャップ <sup>°</sup> ラフ <sup>°</sup> ソング <sup>°</sup>	
23	23 (*)	QN (+)	小花柄の長さ	Pedicellate-ovary: length	小花柄（花柄着生部か らせパル基部まで）の 長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ウェーブ <sup>°</sup> ・キンク <sup>°</sup> アケボ <sup>°</sup> ノ スノー キャップ <sup>°</sup> ラフ <sup>°</sup> ソング <sup>°</sup>	
24	24 (*)	QN	小花柄の太さ	Pedicellate-ovary: thickness	小花柄中央部の太さ	測定 mm	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ウェーブ <sup>°</sup> ・キンク <sup>°</sup> アケボ <sup>°</sup> ノ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25 (*)	PQ	花型	Flower: general appearance of petals and sepals	花の咲き型	観察	1 2  3 4  5 6	抱え咲き 抱え・平咲き  平咲き 反転・平咲き  反転咲き 抱え・反転咲 き	all incurving some incurving, some spreading all spreading some spreading, some reflexing all reflexing some incurving, some reflexing	スターダ <sup>☆</sup> スト・チヨミ      エノヒ <sup>◇</sup> コマチ シラユキヒメ	
26	26	QN	花の距の長さ	Flower: length of mentum	距の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	Formidable	
27	27 (*)	QN G (+)	花の長さ	Flower: length in front view	花の最大縦径	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	エノヒ <sup>◇</sup> コマチ シラユキヒメ ラッキーギ <sup>◇</sup> ヤル・エミコ	
28	28 (*)	QN G (+)	花の幅	Flower: width in front view	花の最大横径	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エノヒ <sup>◇</sup> コマチ シラユキヒメ ラッキーギ <sup>◇</sup> ヤル・エミコ	
29	29	QL	花の香りの有無	Flower: fragrance	花の香りの有無	観察	1 9	無 有	absent present	スノーキャッ <sup>◇</sup> ラフ <sup>◇</sup> ソング <sup>◇</sup>	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30 (*)	QN	ドーサルセパルの縦断面の形	Dorsal sepal: curvature of longitudinal axis	ドーサルセパルの縦断面の湾曲の方向	観察	1  3  5 7  9	極内曲  内曲  平 外反  極外反	strongly incurving  moderately incurving straight moderately recurving strongly recurving	スノー キャップ ラフ ソング エノビ コマチ シラユキヒメ	
31	31 (*)	QN	ドーサルセパルの長さ	Dorsal sepal: length	ドーサルセパルの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	エノビ <sup>ハ</sup> レート <sup>ミ</sup> ミルキーウェイ ウェーブ <sup>キ</sup> ・キング <sup>ノ</sup> アケボ <sup>ノ</sup>	
32	32 (*)	QN	ドーサルセパルの幅	Dorsal sepal: width	ドーサルセパルの幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エノビ <sup>ハ</sup> レート <sup>ミ</sup> ミルキーウェイ ウェーブ <sup>キ</sup> ・キング <sup>ノ</sup> アケボ <sup>ノ</sup>	
33	33 (*)	PQ (+)	ドーサルセパルの正面の形	Dorsal sepal: shape	ドーサルセパルの正面の形	観察	1  2 3 4 5  6	狭楕円形  楕円形 卵形 倒卵形 横楕円形  へら形	narrow elliptic elliptic ovate obovate transverse elliptic spatulat	スターダ <sup>スト</sup> ・チョミ  ラッキーキ <sup>ャ</sup> ル・エミコ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34 (*)	QN (+)	ドーサルセパルの 横断面の形	Dorsal sepal: shape in cross section	ドーサルセパルの中央 部横断面の形	観察	1  3  5 7  9	極内曲  内曲  平 外反  極外反	strongly concave moderately concave flat moderately convex strongly convex	スノー キャップ ラブ ソング  ビ°ンクビ°ユーティ・クイーン	図 6
35	35 (*)	QN	ドーサルセパルの ねじれの強弱	Dorsal sepal: twisting	ドーサルセパルのねじ れの程度	観察	1  3 5 7 9	無又は極弱  弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	スターダ°スト・チヨミ	
36	36 (*)	QN	ドーサルセパルの 周縁の波打ちの強 弱	Dorsal sepal: undulation of margin	ドーサルセパルの周縁 の波打ちの程度	観察	1  3 5 7 9	無又は極弱  弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ビ°ンクビ°ユーティ・クイーン	
37	37 (*)	QN	ラテラルセパルの 縦断面の形	Lateral sepal: curvature of longitudinal axis	ラテラルセパルの縦断 面の湾曲の方向	観察	1  3  5 7  9	極内曲  内曲  平 外反  極外反	strongly incurving moderately incurving straight moderately e curving strongly recurving	スノー キャップ ラブ ソング エノビ° コマチ シラユキヒメ	



形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38 (*)	QN	ラテラルセパルの 長さ	Lateral sepal: length	ラテラルセパルの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	エノビ <sup>ゝ</sup> ハ <sup>ゝ</sup> レート <sup>ゝ</sup> ミルキーウェイ ウェーブ <sup>ゝ</sup> ・キング <sup>ゝ</sup> アケボ <sup>ゝ</sup> ノ	
39	39 (*)	QN	ラテラルセパルの 幅	Lateral sepal: width	ラテラルセパルの幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エノビ <sup>ゝ</sup> ハ <sup>ゝ</sup> レート <sup>ゝ</sup> ミルキーウェイ ウェーブ <sup>ゝ</sup> ・キング <sup>ゝ</sup> アケボ <sup>ゝ</sup> ノ	
40	40 (*)	PQ (+)	ラテラルセパルの 正面の形	Lateral sepal: shape	ラテラルセパルの正面の 形	観察	1 2 3 4 5 6	狭楕円形 楕円形 卵形 倒卵形 横楕円形 へら形	narrow elliptic elliptic ovate obovate transverse elliptic spatulate	エノビ <sup>ゝ</sup> コマチ シラユキヒメ	
41	41 (*)	QN (+)	ラテラルセパルの 横断面の形	Lateral sepal: cross section	ラテラルセパルの横断 面の形	観察	1 3 5 7 9	極内曲 内曲 平 外反 極外反	strongly concave moderately concave straight moderately convex strongly convex	スターダ <sup>ゝ</sup> スト・チョミ エノビ <sup>ゝ</sup> ハ <sup>ゝ</sup> レート <sup>ゝ</sup> ミルキーウェイ	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42 (*)	QN	ラテラルセパルのねじれの強弱	Lateral sepal: twisting	ラテラルセパルのねじれの程度	観察	1  3 5 7 9	無又は極弱  弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	スターダ <sup>☆</sup> スト・チョミ	
43	43 (*)	QN	ラテラルセパルの周縁の波打ちの強弱	Lateral sepal: undulation of margin	ラテラルセパルの周縁の波打ちの程度	観察	1  3 5 7 9	無又は極弱  弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ウェーブ <sup>☆</sup> ・キング <sup>☆</sup> アケボ <sup>ノ</sup> ビ <sup>°</sup> ンクビ <sup>☆</sup> ユーティ <sup>°</sup> ・クイーン	
44	44 (*)	QL	セパルの色数	Sepal: number of colors	セパルの花色数	観察	1 2 3 4	1 2 3 4以上	one two three more than three	スノー キャップ <sup>°</sup> ラフ <sup>°</sup> ソンク <sup>°</sup>	
45	45 (*)	PQ	セパルの模様	Sepal: color pattern	セパル内側の模様	観察	1 2 3 4 5 6 7 8 9	単色 ぼかし 覆輪 条線 網目 斑点 ぼかしと 条線 ぼかしと 網目 ぼかしと 斑点	self-coloured shaded edged striped netted spotted shaded and striped shaded and netted shaded and spotted	スターダ <sup>☆</sup> スト・チョミ スノー キャップ <sup>°</sup> ラフ <sup>°</sup> ソンク <sup>°</sup> ホーリーナイト <sup>°</sup> ・ユメジ <sup>°</sup>	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	PQ	セパルの主な色	Sepal: main color	セパルの主な色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
47	47	QN	セパルのぼかしの 大きさ(ぼかしのあ る品種に限る。)	<u>Varieties with shaded sepals only</u> ; Sepal: extent of shading	セパルのぼかしの広が りの程度	観察	3 5 7	小 中 大	small medium large	スノー キャップ ラブ ソング	
48	48	PQ	セパルのぼかしの 色(ぼかしのある品 種に限る。)	<u>Varieties with shaded sepals only</u> ; Sepal: color of shading	セパルのぼかしの色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
49	49	PQ	セパルの覆輪の色 (覆輪のある品種 に限る。)	<u>Varieties with edged sepals only</u> ; Sepal: color of edging	セパルの覆輪の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
50	50	PQ	セパルの条線の色 (条線のある品種 に限る。)	<u>Varieties with striped sepals only</u> ; Sepal: color of stripes	セパルの条線の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	51	PQ	セパルの網目の色 (網目のある品種に限る。)	<u>Varieties with netted sepals only</u> : Sepal: color of netting	セパルの網目の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
52	52	PQ	セパルの斑点の色 (斑点のある品種に限る。)	<u>Varieties with spotted sepals only</u> : Sepal: color of spots	セパルの斑点の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
53	53 (*)	QN	ペタルの縦断面の 形	Petal: curvature of longitudinal axis	ペタルの縦断面の湾曲 の方向	観察	1  3  5 7  9	極内曲  内曲  平 外反  極外反	strongly incurving moderately incurving straight moderately recurving strongly recurving	ラッキーギヤル・エミコ エノビ コマチ シラエキヒメ	
54	54 (*)	QN	ペタルの長さ	Petal: length	ペタルの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	エノビハレート ミルキーウウェイ ウェーブ・キング アケボノ	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55 (*)	QN	ペタルの幅	Petal: width	ペタルの最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エノヒ <sup>°</sup> パ <sup>°</sup> レート <sup>°</sup> ミルキーウウェイ ウェーブ <sup>°</sup> ・キング <sup>°</sup> アケボ <sup>°</sup> ノ	
56	56 (*)	PQ (+)	ペタルの正面の形	Petal: shape	ペタルの正面の形	観察	1  2 3 4 5 6	狭楕円形  楕円形 卵形 倒卵形 横楕円形  へら形	narrow elliptic elliptic ovate obovate transverse elliptic spatulate	スターダ <sup>°</sup> スト・チョミ	
57	57 (*)	QN (+)	ペタルの横断面の形	Petal: shape in cross section	ペタルの横断面の形	観察	1  3  5 7  9	極内曲  内曲  平 外反  極外反	strongly concave moderately concave straight moderately convex strongly convex	エノヒ <sup>°</sup> パ <sup>°</sup> レート <sup>°</sup> ミルキーウウェイ	
58	58 (*)	QN	ペタルのねじれの強弱	Petal: twisting	ペタルのねじれの程度	観察	1  3 5 7	無又は極弱  弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	ヒ <sup>°</sup> ンクヒ <sup>°</sup> エーティ <sup>°</sup> ・クイー <sup>°</sup> ン	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							9	極強	very strong		
59	59 (*)	QN	ペタルの周縁の波 打ちの強弱	Petal: undulation of margin	ペタルの周縁部の波打 ちの程度	観察	1  3 5 7 9	無又は極弱  弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	スターダ`スト・チョミ ウェーブ`キング` アケボ`ノ ビ`ンクビ` ユーティ・クイーン	
60	60 (*)	QL	ペタルの色数	Petal: number of colors	ペタルの花色数	観察	1 2 3 4	1 2 3 4 以上	one two three more than three	ホーリーナイト・ユメジ`	
61	61 (*)	PQ	ペタルの模様	Petal: color pattern	ペタル内側の模様	観察	1 2 3 4 5 6 7 8 9	単色 ぼかし 覆輪 条線 網目 斑点 ぼかしと 条線 ぼ か し と 網目 ぼかしと 斑点	self-coloured shaded edged striped netted spotted shaded and striped shaded and netted shaded and spotted	ホーリーナイト・ユメジ`	
62	62	PQ	ペタルの主な色	Petal: main color	ペタルの主な色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
									number)		
63	63	QN	ペタルのぼかしの 大きさ(ぼかしのあ る品種に限る。)	<u>Varieties with shaded petals only</u> ; Petal: extent of shading	ペタルのぼかしの大き さ	観察	3 5 7	小 中 大	small medium large		
64	64	PQ	ペタルのぼかしの 色(ぼかしのある品 種に限る。)	<u>Varieties with shaded petals only</u> ; Petal: color of shading	ペタルのぼかしの色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
65	65	PQ	ペタルの覆輪の色 (覆輪のある品種 に限る。)	<u>Varieties with edged petals only</u> ; Petal: color of edging	ペタルの覆輪の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
66	66	PQ	ペタルの条線の色 (条線のある品種 に限る。)	<u>Varieties with striped petals only</u> ; Petal: color of stripes	ペタルの条線の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
67	67	PQ	ペタルの網目の色 (網目のある品種 に限る。)	<u>Varieties with netted petals only</u> ; Petal: color of netting	ペタルの網目の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
68	68	PQ	ペタルの斑点の色 (斑点のある品種に限る。)	<u>Varieties with spotted petals only</u> : Petal: color of spots	ペタルの斑点の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
69	69 (*)	QN	リップの長さ	Lip: length	リップの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	エノビ <sup>°</sup> ハ <sup>°</sup> レート <sup>°</sup> ミルキーウエイ ウェーブ <sup>°</sup> ・キング <sup>°</sup> アケボ <sup>°</sup> ノ	
70	70 (*)	QN	リップの幅	Lip: width	リップの最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エノビ <sup>°</sup> ハ <sup>°</sup> レート <sup>°</sup> ミルキーウエイ ヒメサ <sup>°</sup> クラ フジ <sup>°</sup> ツコ ウェーブ <sup>°</sup> ・キング <sup>°</sup> アケボ <sup>°</sup> ノ	
71	71 (*)	QL G	リップの側裂片の 有無	Lip: presence of lateral lobe	リップの側裂片の有無	観察	1 9	無 有	absent present	スターダ <sup>°</sup> スト・チョミ	
72	72 (*)	PQ (+)	リップの形(側裂片 がない品種に限 る。)	<u>Varieties without lateral lobes only</u> : Lip: shape	単純型 リップの形	観察	1 2 3	楕円形 円形 横楕円形	elliptic circular transverse elliptic	スターダ <sup>°</sup> スト・チョミ ピ <sup>°</sup> ンクビ <sup>°</sup> ューティ・クイーン	
73	73 (*)	QL (+)	リップの基部の重 なりの有無(側裂片 がない品種に限 る。)	<u>Varieties without lateral lobes only</u> : Lip: overlapping of basal part	単純型 リップの基部の重なり の有無	観察	1 9	無 有	absent present	スターダ <sup>°</sup> スト・チョミ	



形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
74	74 (*)	PQ (+)	側裂片の形(側裂片のある品種に限る。)	<u>Varieties with lateral lobes only</u> : Lip: shape of lateral lobe	複雑形 リップの側裂片の形	観察	1 2 3 4	三角形 卵形 狭台形 広台形	triangular ovate narrow trapezoid broad trapezoid		
75	75 (*)	PQ (+)	中央裂片の形(側裂片のある品種に限る。)	<u>Varieties with lateral lobes only</u> : Lip: shape of apical lobe	複雑形 リップの中央裂片の形	観察	1 2 3 4	腎臓形 菱形 横楕円形 楕円形	reniform rhombic transverse elliptic elliptic		
76	76 (*)	PQ (+)	リップの湾曲の型	Lip: type of curving	リップの湾曲のタイプ (側裂片のある品種に限る。)	観察	1 2 3 4 5 6 7	I 型 II 型 III 型 IV 型 V 型 VI 型 VII 型	type I type II type III type IV type V type VI type VII		
77	77 (*)	QL G (+)	リップの目の有無	Lip: eye	リップの目の有無	観察	1 9	無 有	absent present	エノビ <sup>6</sup> コマチ シラエキヒメ ファンタジア キンク <sup>6</sup>	
78	78 (*)	PQ (+)	リップの目の型	Lip: shape of eye	リップの目のタイプ	観察	1 2 3 4	I 型 II 型 III 型 IV 型	type I type II type III type IV		

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
79	79 (*)	QL	リップの色数	Lip: number of colors	リップの花色数（目及び喉部を除く。）	観察	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 以上	one two three four five more than five	スノー キャップ ラブ ソング	
80	80 (*)	PQ G	リップの模様	Lip: color pattern (except middle part, eye and throat)	リップ内側の模様 （中央部、目及び喉部を除く。）	観察	1 2 3 4 5 6 7 8 9	単色 ぼかし 覆輪 条線 網目 斑点 ぼかしと 条線 ぼかしと 網目 ぼかしと 斑点	self-coloured shaded edged striped netted spotted shaded and striped shaded and netted shaded and spotted	スノー キャップ ラブ ソング ビソクビユーティ・クイーン	
81	81	QN	リップのぼかしの 大きさ(ぼかしのあ る品種に限る。)	<u>Varieties with shaded lips only:</u> Lip: extent of shading	リップのぼかしの広が りの程度	観察	3 5 7	小 中 大	small medium large	スノー キャップ ラブ ソング	

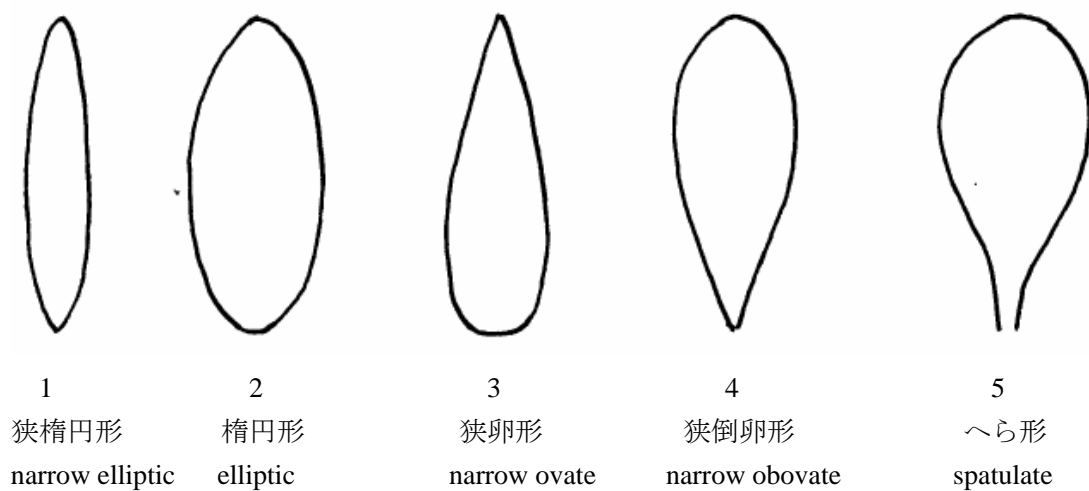
形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
82	82	PQ G (+)	リップの主な色	Lip: main color	リップの主な色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
83	83	PQ (+)	リップの中央部の 色	Lip: color of middle part	リップの目を除く中央 部の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
84	84	PQ	リップのぼかしの 色(ぼかしのある品 種に限る。)	<u>Varieties with shaded lips only:</u> Lip : color of shading	リップのぼかしの色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
85	85	PQ	リップの覆輪の色 (覆輪のある品種 に限る。)	<u>Varieties with edged lips only:</u> Lip: color of edging	リップの覆輪の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
86	86	PQ	リップの条線の色 (条線のある品種 に限る。)	<u>Varieties with striped lips only:</u> Lip: colour of stripes	リップの条線の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
87	87	PQ	リップの網目の色 (網目のある品種 に限る。)	<u>Varieties with netted lips only:</u> Lip: color of netting	リップの網目の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
88	88	PQ	リップの斑点の色 (斑点のある品種に限る。)	<u>Varieties with spotted lips only:</u> Lip: color of spots	リップの斑点の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
89	89	PQ	リップの目の色 (目 のある品種に限る。)	<u>Varieties with eye only:</u> Lip: color of eye	リップの目の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
90	90	PQ	リップの喉部の色	Lip: color of throat	リップの喉部の色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
91	91 (*)	QN	リップのねじれの 強弱	Lip: twisting	リップのねじれの程度	観察	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	エノビ <sup>®</sup> コマチ シラユキヒメ	
92	92 (*)	QN	リップの周縁の波 打ちの強弱	Lip: undulation of margin	リップの周縁の波打ち の程度	観察	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	エノビ <sup>®</sup> ハート <sup>®</sup> ミルキーウェイ スターダ <sup>®</sup> スト・チョミ ピ <sup>®</sup> ンクビ <sup>®</sup> ユーティ・クイーン	
93	93 (*)	QN	リップの周縁の切 れ込みの粗密	Lip: fringing of margin	リップの周縁の切れ込 みの程度	観察	1  3 5 7	無又は極粗  粗 中 密	absent or very coarse coarse medium fine	エノビ <sup>®</sup> コマチ シラユキヒメ	
94	94 (*)	QL	リップのカルスの 有無	Lip: callus	リップのカルス (突起) の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

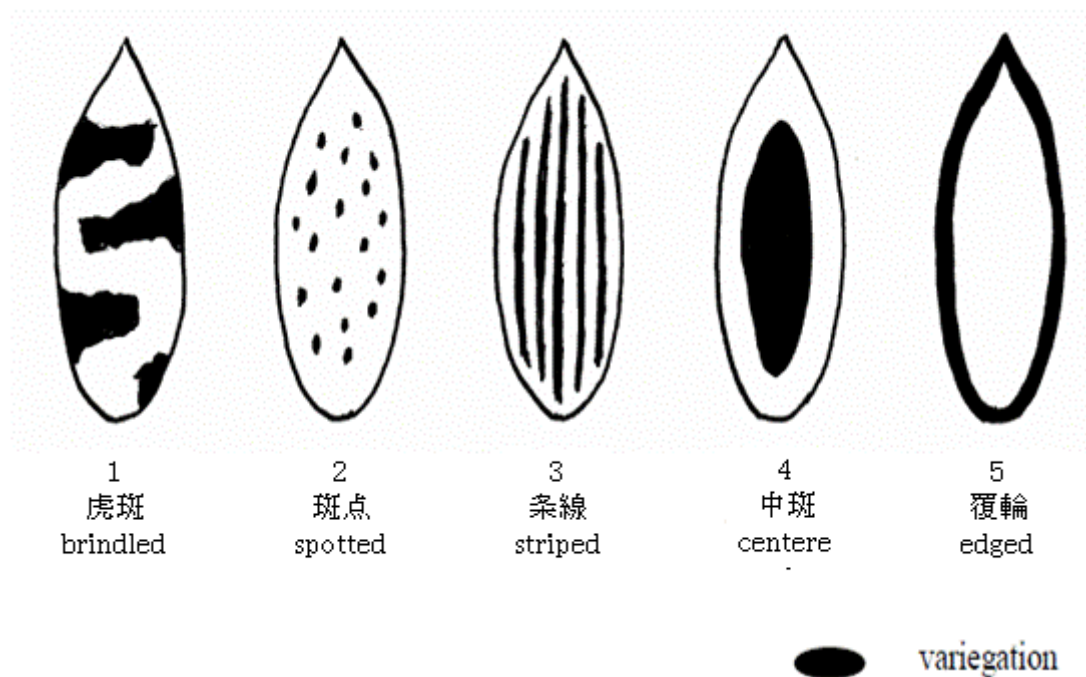
形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
95	95 (*)	QN	リップの毛の多少	Lip: pubescence	リップの毛の程度	観察	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
96	96 (*)	QN	ずい柱の長さ	Column: length	ずい柱の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long		
97	97	PQ	花粉のうの色	Column: color of anther cap	花粉のうの色	観察		RHS カラー チャートの 色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
98	98 (*)	QN	開花期	Time of flowering	開花の早晚	観察	1 2 3 4 5	極晩 早 春 夏 中	very late early spring summer medium		

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 10 葉の形 Char.10 Leaf: shape

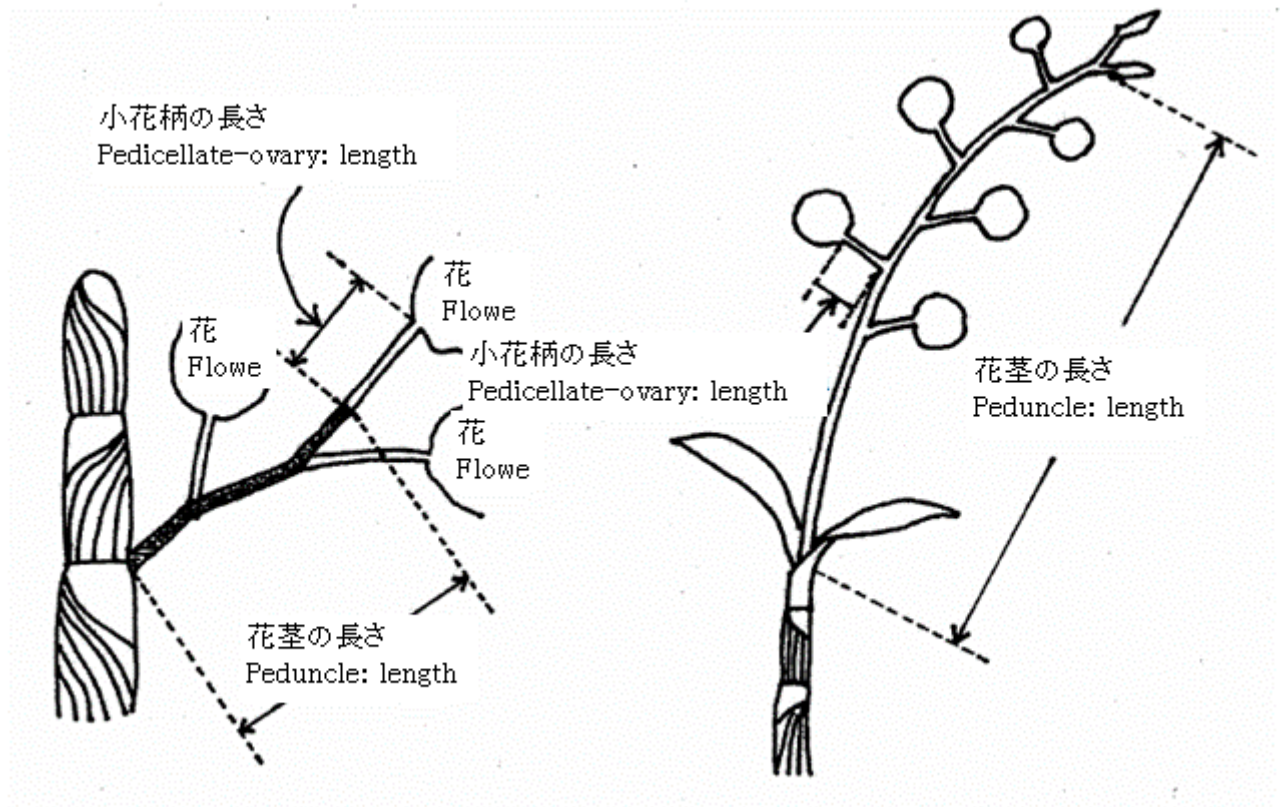


形質 13 葉の斑の模様 Char.13 Leaf: type of variegation



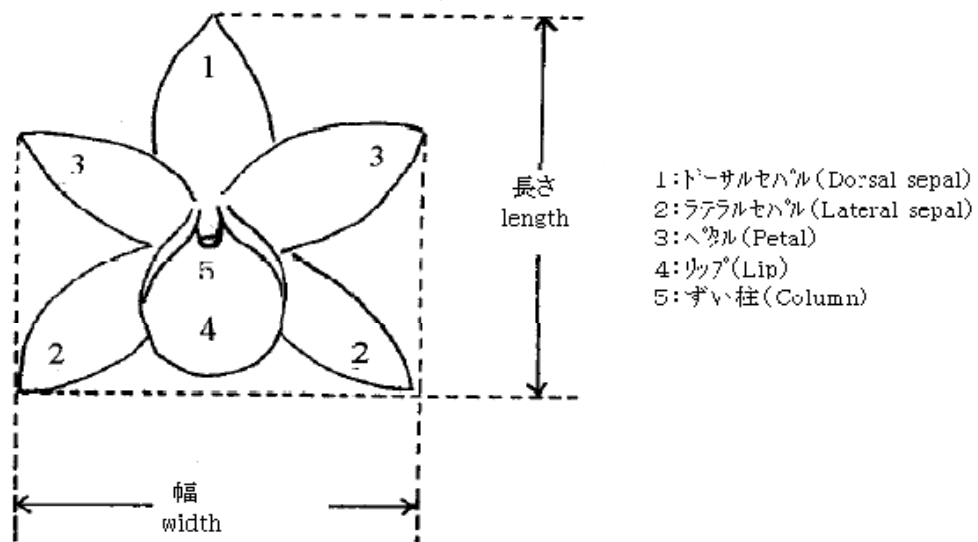
形質 20 花茎の長さ Char.20 Peduncle: length

形質 23 小花柄の長さ Char.23 Pedicellate-ovary: length



形質 27 花の長さ Char.27 Flower: length in front view

形質 28 花の幅 Char.28 Flower: width in front view



形質 33 ドーサルセパルの正面の形 Char.33 Dorsal sepal: shape

形質 40 ラテラルセパルの正面の形 Char.40 Lateral sepal

形質 56 ペタルの正面の形 Char.56 Petal: shape



1  
狭楕円形  
narrow elliptic



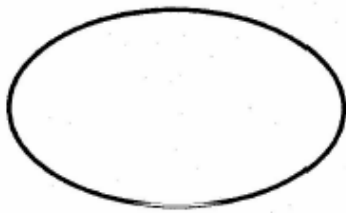
2  
楕円形  
elliptic



3  
卵形  
ovate



4  
倒卵形  
obovate



5  
横楕円形  
transverse elliptic



6  
へら形  
spatulate



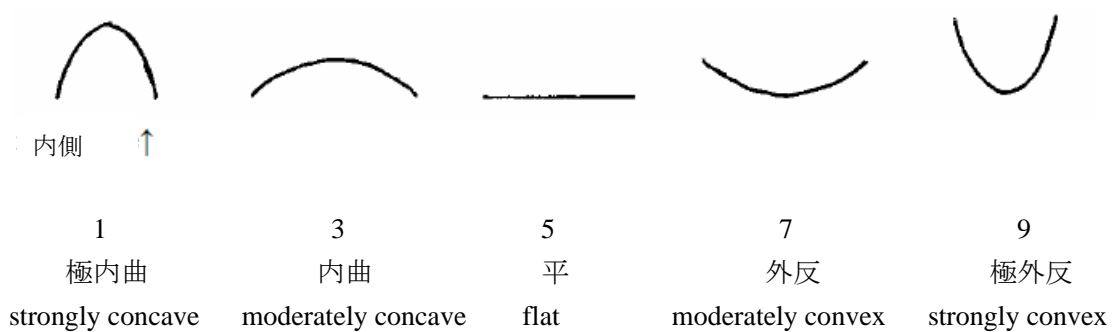
形質 34 ドーサルセパルの横断面の形

Char.34 Dorsal sepal: shape in cross section

形質 41 ラテラルセパルの横断面の形

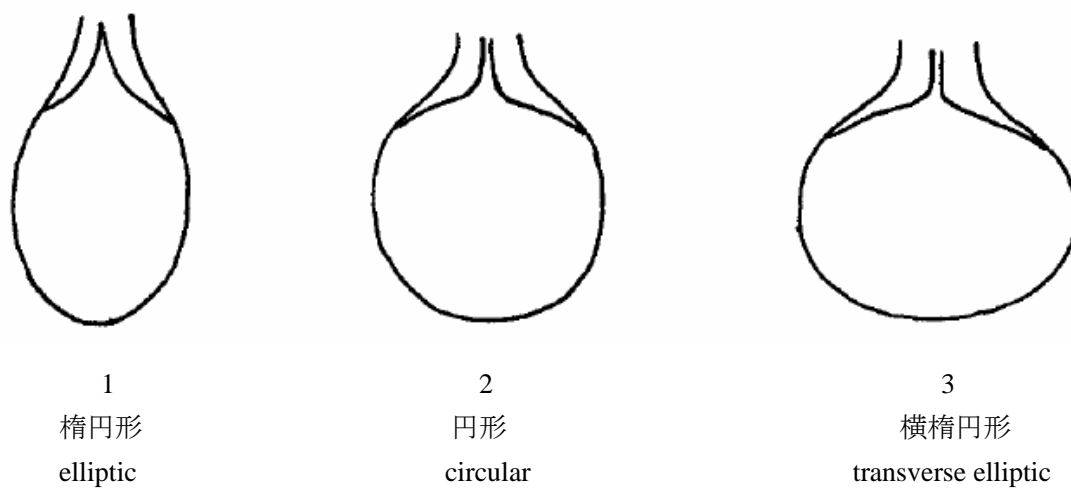
Char.41 Lateral sepal: shape in cross section

形質 57 ペタルの横断面の形 Chara.57 Petal: shape in cross section



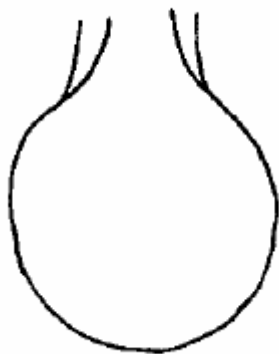
形質 72 リップの形 (側裂片がない品種に限る。)

Char.72 Varieties without lateral lobes only: Lip: shape

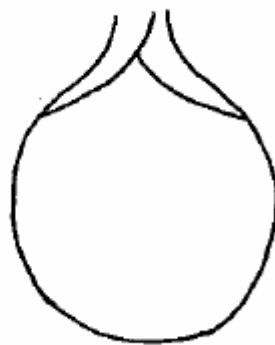


形質 73 リップの基部の重なりの有無（側裂片がない品種に限る。）

Char.73 Varieties without lateral lobes only: Lip: overlapping of basal part



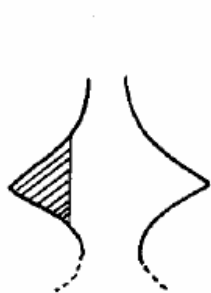
1  
無  
absent



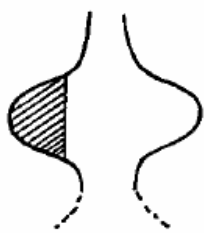
9  
有  
present

形質 74 側裂片の形（側裂片のある品種に限る。）

Char.74 Varieties with lateral lobes only: Lip: shape of lateral lobe



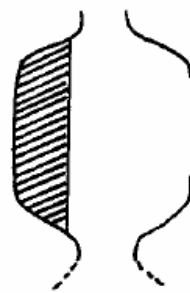
1  
三角形  
Triangular



2  
卵形  
ovate



3  
狭台形  
narrow trapezoid



4  
広台形  
broad trapezoid

形質 75 中央裂片の形（側裂片のある品種に限る。）

Char.75 Varieties with lateral lobes only: Lip: shape of apical lobe



1  
腎臓形  
reniform



2  
菱形  
rhombic

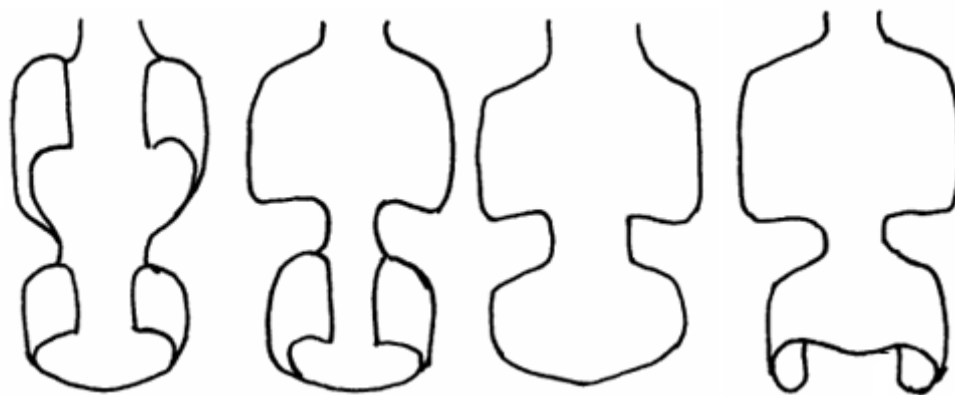


3  
横楕円形  
transverse elliptic



4  
楕円形  
elliptic

形質 76 リップの湾曲の型 Char. 76 Lip type of curving



1  
I 型  
type I

2  
II 型  
type II

3  
III 型  
type III

4  
IV 型  
type IV



5  
V 型  
type V

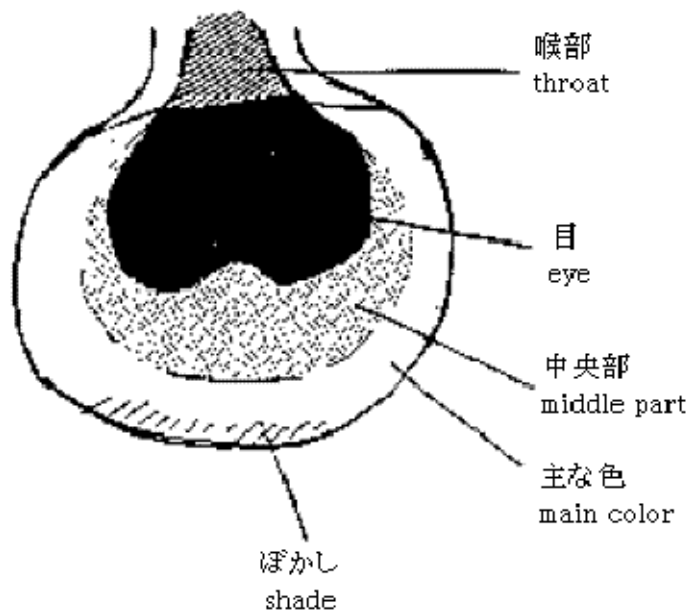
6  
VI 型  
type VI

7  
VII 型  
type VII

形質 77 リップの目の有無 Char.77 Lip: eye

形質 82 リップの主な色 Char.82 Lip: main color

形質 83 リップの中央部の色 Char. 83 Lipe: colour of middle part



形質 78 リップの目の型 Char.78 Lip: shape of eye



1  
I 型  
type I



2  
II 型  
type II



3  
III 型  
type III



4  
IV 型  
type IV